

第九十回
帝國議會
貴族院

帝國憲法改正案特別委員會議事速記録第九號

付託議案

○帝國憲法改正案

昭和二十一年九月十日(火曜日)
午前十時九分開會

○委員長(安倍能成君) ソレデハ
會議ヲ開キマス、昨日牧野サンカ
ラ前文ニ付テ精細ナ字句ニ關スル

御質疑ガアツタノデゴザイマス、
是ハ内容ニモ關係スルコトデアツ
テ、相當重要ナコトデアルト云フ

コトハ認メマスケレドモ、斯ウ云
フ風ニシテヤツテ行キマス、議
事ノ進行上多少差支ガアリハシナ

イカト云フ虞モアリマスカラ、ソ
レデ字句ニ付テ御意見ノアル方ハ
文書ニシテソレヲ差出シテ戴イ

テ、ソレヲ印刷シテ皆サンニ御廻
シシテソレカラ一括シテ後ノ仕上
ノ時ニ十分討議スル、斯ウ云フコ

トニシテ宜カラウト云フ世話人
ノ御意見デアツタノデスガ、御差
支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○牧野英一君 字句ノ問題ノ外ニ
ソレガ内容ニ重要ナ關係ヲ持ツテ

居ルト云フ點ハ一應皆様ノ御考ヲ
伺フ爲ニ此ノ席上ノ問題ニスル所
ノ御許ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、

如何デスカ、單純ト申シマシテハ
濟ミマセヌガ、例ヘバ昨日申上ゲ
マシタヤウナコトハ以下ニ同ジ

デ行キマスガ、例ヘバ第一章ニ付
テ申シマスルト、天皇ノ憲法上ノ
地位ト關聯スルヤウナ實體上ノ關
聯ノアルモノハ御許ヲ願ヒマス

○委員長(安倍能成君) デハ長谷
川委員昨日ノ前文ノ續キデアリ
マス

○長谷川萬次郎君 前文ノ前ノ方
ノ色々字句ノ問題等ニ於テ質問ガ
アツタノデスケレドモ、此ノ前皆

サンノ御質問ニ依ツテ大體了解サ
レマシタノデ略シマスガ、後半ノ
方ノ終ヒカラ二番目ノ項デアリマ

スガ、「われらは、いづれの國家
も、自國のことにみに専念して他
國を無視してはならないのであつ

て、政治道德の法則は、云々」ト
アリマスガ、ドウモ之ヲ讀ンデ見
ルト少シカシイノデスガ、ソレ

ハ自國ノコトノミニ専念シテ他國
ヲ無視スルト云フノハ、是ハ此ノ
憲法ヲ出サナイ前ノ、此ノ憲法草

案ノ作ラレナイ前ノ、詰リ終戰以
前ノ我が國ノ態度デアツタト思フ
ノデス、自國ノコトノミニ専念シ

テ他國ヲ無視スルト云フコトハ、
ソレヲ讀ンデ斯ウ云フ憲法ガ作ラ
レタ譯デアリマス、自國ノコトノ

ガ、英譯ノ方ヲ見マスと云フト、
自分自身ニ對シテ責任ガアルノミ

デナイ、如何ナル人民モ自分自身
ニ對シテノミ責任ガアルノデヤナ
イ、詰リ政治的ノ「モラリディ」

ト云フモノハ「ユニバーサル」ノ
「ロー」デアルカラ、ソレニ如何
ナル國民モ從ハナケレバナラス、

斯ウ云フ風ニ譯サレテ居リマス
ガ、是ハ誤譯カモ知レマセヌガ、
此ノ誤譯ノ方ガ意味ガ徹底スルト

思フ、詰リ我が國ハ自國ノコトノ
ミニ専念シテ他國ヲ無視シタト云
フ態度ヲ改メル爲此ノ憲法ヲ作ル

ノデアリマスガ、此ノ憲法ニ於キ
マシテハ一歩ヲ進メマシテ、自國
民ニ對スル責任ノミデハナク世界

ノ政治道德ニ對スル責任ヲ持タナ
ケレバナラスト云フ風ニ規定シテ
コソ此ノ前文ノ意味ニ適フト思フ

ノデス、既ニ改正シタ、昔ノ法則
ヲ持ツテ來テ斯ウ云フ風ニ、昔ノ
態度ニ對スルコトヲコニ持ツテ

來ルヨリハ一歩進ンデ譯文ニアル
ヤウナ、自國ノ人民ニ對シテノミ
責任ヲ持ツモノデナイト云フ所カ

ラ、唯自國ヲ前ノ封建的ナ體制ヲ
改メテサウシテ平和ノ國ニシタト
云フコトハ、自國民ニ對シテノ責

任ハソレデ果サレルカモ知レマセ
ヌガ、如何ナル人民モ、サウ云フ
點ダケデハイケナイ、詰リ世界ニ

對スル責任ヲ感じテ居ナケレバイ
ケナイト云フ所ニ一歩ヲ進メタノ

ガ此ノ所ノ意味デアツテ然ルベキ
ダト思ヒマスガ、サウナツテ居ラ
ナイノデアリマス、ドウシテ斯ウ

云フ風ナ書方ニナツタカト云フコ
トヲ推測シテ見マスルト、ドウモ
我が國ガ詰リコ、ニ書イテアルヤ

ウナ自國ノコトノミニ専念シテ他
國ヲ無視スルト云フヤウナ態度ノ
爲ニ斯クノ如ク破レタ、然ラバ其

ノ以上ニドウ云フ發展ヲスベキデ
アルカト云フ認識ノ不足ダラウト
思フノデアリマスガ、第一ノ認識

ノ不足ハ斯ウ云フ戰爭ヲ起シタト
云フコトニ對スル責任感ノ不足ダ
ラウト思フ、第二ノ不足ハ、更ニ

サウ云フ責任ヲ持ツモノニ代ル、
サウ云フ責任ノアルナシニ拘ラ
ズ、世界國家ノ責任デ、「ボリテイ

カル・モラリテイ」ト云フモノ
ニ對スル責任ヲ持ツト云フコト
ハ、如何ナル國民ニ取ツテモ譯文

ニアルヤウニ、如何ナル國民ニ對
シテモサウナケレバナラス、サウ
云フ第二段ノ責任ヲ感ズル譯デア

ル、併シ第二段ノ責任ヲ進ミ得ナ
カツタノハ、第一段ノ責任ノ自國
ノ起シタ戰爭ニ付テノ責任ヲ此ノ

憲法ノ起草者ナリ國民ノ多數ナリ
ガ適切ニ感じテ居ラヌコトダト思
フ、詰リ戰爭ヲ起シタノハ今戰犯

其ノ他被告トナリ追放ノ對象ト
ナツテ居ル人々デアアル、我々ハ其

ノ後ヲ引受ケテ日本ノ國家ヲ建直
スノダト云フ風ナ考デアルノデヤ
ナイカト思フ、勿論今働イテ居ラ

レル方ハ戰時中、戰前ニ於キマシ
テモ斯ウ云フ戰爭ノ起ルコトニハ
反對サレタ方ガ多イ、戰時中ニ於

キマシテモソレハ國民トシテ敗ケ
テハナラスト云フ所デ協力ハシマ
シタガ、其ノ程度ノ協力デアリマ

シテ、決シテ戰爭ヲ肯定シテノ協
力デハナカッタ、今現ニ働イテ居
ル方々ハ政府ノ方々ヲ初メ民間ノ

人々ト言ヒ皆サウデアアル、其ノ結
果、何カ自分ダケハ責任ノナイヤ
ウナ氣持ヲ皆持ツニ至ツテ居ルダ

ラウト思フ、チヨツト市中デ話ヲ
聽キマシテモ、何カ戰爭ハ外ノ者
ガヤツテ俺達ハ關係シナカツタ、

引摺リ込マレタノデアルト云フ風
ニ唯感じテ居ラシイ、恐ラク政
府當局モサウ云フ御考デアアル所カ

ラ斯ウ云フ文句ヲ思ハズ挿入シ
テ、サウシテ其ノ先一歩進メタ、
常識デ考ヘテ一歩進ムベキモノト

云フ、此ノ文章ヲ譯スル者ガサウ
云フ誤譯ヲスル程ソレハ常識ノコ
トデアリマス、サウ云フ常識的ノ

コトモ忘レル位國民トシテノ責任
ト云フモノヲ感じナカツタト云フ
コトデハナカツタラウカト思フノ

デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、更ニ戰爭拋棄ノ條項ニ對スル場合ニ政府當局ノ御答ヲ得ヨウト考ヘテ居リマスガ、此ノ前文ニ於キマシテハ、ドウ云フ意味デ日本ノ國家ガ唯、今迄ノ態度ヲシテハナラナイト云フコトヲ避ケテ、サウシテ是等ノ目的ヲ掲ゲルコトヲシナカワカト云フコトニ付テ御答ヲ得タイト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 長谷川委員ノ御質疑ノ點ハ少シ聽キ落シタ點ガアルカモ知レマセヌガ、「われらは、いづれの國家も」ト云フ所カラノ此ノ文章ハ、客觀的ニ眞理ヲ言ヒ現スト云フ態度ヲ採ツテ居リマシテ、日本ガドウ云フ間違ヲシタカ、之ニ對スル自ラ償フ所ノ念慮ガ如何ニ厚イカト云フコトヲハツキリコ、ニハ言ヒ現シテ居リマセヌ、唯一般のナ態度ヲ採ツテ、斯ク々々ノコトガ正シイト思フ、ソレデ斯ク々々スルコトガ各國ノ責務デアラウ、斯ウ客觀描寫ヲシテ居リマス、併シ斯様ナ風ニモノヲ言ヒ現シマス根柢ニ於テ、此ノ憲法全體ガ自ラ反省シテ日本國民ガ本當ニ目醒ムベキデアリ、其ノ目醒ムベキ段階ヲ通り越エ、目醒メテ居ルト云フコトヲ基本トシテ書イテ居リマスル所以デアリマシテ、英譯ト違ツテ居ルトカ仰セニナリマシタガ、左様ナ所ニ特別ナ差ハナイモノト心得テ居リマス

○長谷川萬次郎君 只今ノ御答辯ハ私ノ質問スル所トハ少シ外レテ居ルヤウニ思ハレマスガ、詰リ此ノ憲法ハ私共トシテハ懺悔ノ憲法デハナイノデアリマシテ、モット前進的ノモノダラウト思フノデス、全體ガサウ云フ構成ニナツテ居リマシテ、唯消極的ニ何々シテハナラヌト云フヤウナコトデハナク、寧ロ進ンデ斯ウシナケレバナラヌト云フコトヲ詰リ主ニ規定シテ居ラレト思フデアリマス、其ノ意味カラ申シマス、無論此ノ文句ヲ入レタコトガ惡イト私ハ申シタノデハナク、一歩前進スルト云フ此ノ憲法ノ精神カラ當然人ルベク、如何ナル國家モ世界ニ對シテ責任ヲ負フ所ノ其ノ責任ヲドウシテ御入レニナラナカツタカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマスガ、若シ氣付カレナカツタノナラバサウ云フ文句ヲ御入レニナツテハドウカ、御入レニナルニハ不贊成デアアルカト云フコトニ付テ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 仰セハ能ク分リマシタ、此ノ憲法自身ノ建前ガ兎モアレ日本ノ再興ト云フコトニ立場ヲ置キマシテ、比較的謙抑ナル態度ヲ執ツテ居リマスルガ故ニ、日本以外ノ國ヲ明カニ玆ニ引出シテ、ソレニ強ク或義務ヲ負ハセルヤウナ風ノ規定ヲ避ケタ譯デアリマシテ、常ニ日本ヲ中心トスルト云フ將ノ範圍ニ言葉ヲ

限定致シマシテ、日本ノ現在アル國際的ナ地位ニモ相應シキ形ヲ執ラウ、斯ウ云フ風ノ考ヲ以チマシテ、從ツテ積極性ガ十分デナイト云フ御趣旨モ起リ得ル譯デアリマスルガ、考ヘ方自體ハ左様ナコトデ出来テ居ル譯デゴザイマス

○長谷川萬次郎君 サウ致シマスルト、「いづれの國家も」ト云フコトヲ御制リニナツタ方ガイ、ト考ヘマスルガ、如何デアリマスカ、創ラレタ方ガイアナタノ御趣旨ニ適スルノデヤアリマセヌカ

○國務大臣(金森德次郎君) 徹底ヲスレバ左様ナ考ヘ方モ理由ガ成立ツモノト考ヘテ居リマスルガ、コ、デハ謙抑ナル姿ヲ以テ我ラハ斯ク信ズルト云フ大キナ前提ノ下ニ一ツノ普遍的ナ原理ト考フルモノヲ此ノ程度ニ於テ立證シテ居ル次第デアリマスルカラ、ソコ迄論理ヲ徹底サセナクモイ、ノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○長谷川萬次郎君 併シ「いづれの國家も」ト云フ言葉ガアル以上ハ、斯ウ云フ消極的ナモノバカリデナク、矢張り進ンデ此ノ憲法ノ趣旨ニ適フ所ノ世界ニ對スル國家ノ責任ト云フモノヲ明カニ言ハレタ方ガイ、ト思ヒマスガ、斯ウ云フ問答ヲ何時迄繰返シテ居ツテモ駄目デスカラ、私ノ質問ハ此ノ點ニ關シテハ打切りマス

○委員長(安倍能成君) 是デ前文

ノ質疑ヲ終リマシテ、第一章ニ移ル譯デアリマスガ、第一章ノ質疑ノ仕方ドウ云フ風ニシタラ宜シウゴザイマスカ、色々考ヘラレマス、逐條ニズツト第一條第二條トヤツタ方ガイイト云フ御説モアリマスケレドモ、相當皆關聯シテ居ルヤウナコトデ、關聯質問ト云フヤウナコトニナリマス、折角逐條ニシテモ、ソレダケノ效果ガナイ譯デスカラ、試ミ第一章ニ付テハ御申出ノ順序ニ從ツテ第一章全體ニ付テ御審議ヲシテ戴ク、サウシテ重複ヲ出來ルダケ避ケテ戴ク、斯ウ云フ風ニヤツテ見タラドウカト思ヒマス

○牧野英一君 皆サンニ先立ツテ質疑ヲ申上ゲルコトヲ皆サンニ對シ恐縮ニ存ジマス、各位ノ質疑ヲ伺ツタ上デ附屬的ニ私ガ申上ゲル方ガイ宜カツタカト思ツタ位デゴザイマスルガ、例ニ依ツテ細カイ點ニ付テ色々申上ゲテ見タイコトガゴザイマスルガ、ソレハ各條特ニ個別的ノコトニ讓ルト云フコトニ致シマシテ、天皇ノ憲法上ノ地位ニ關スル點ニ付テ特ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、第一條、ソレカラ第三條、第四條、第七條、之ニ牽聯スルコトデアリマス、第一條ニ「象徴」ト云フ言葉ノアルコトガ前々カラ色々御議論ニナリマシタガ、段々當局ノ御説明ヲ伺ヒ、御苦心ノ存スル所ヲ理解スルコトニナリマシタ、私共ト致

シマシテハ「象徴」ト云フ言葉ヨリモモウ少シ強イ言葉ガ願ハシイノデ、例ヘバ元首ト云フ言葉ヲ用ヒタラドウカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス

〔問エマセヌ〕ト呼フ者アリ

○牧野英一君 高柳委員ヨリ細カイ點ニ互ツテ...

〔問エマセヌ〕ト呼フ者アリ

○委員長(安倍能成君) モウ少シ大キイ聲デ御願ヒ致シマス

○牧野英一君 高柳委員ヨリ細カイ點ニ互ツテノ懇切ナ質疑ガアリマシテ、天皇ハ結局元首デアアル、其ノ實體ニ於テ元首デアルト云フコトニ付テハ金森國務相ニ於テモ御異論ガナカツタヤウニ伺ヒマシタ、ソコデ私トシテハ「元首」ト云フ言葉ヲ御用ヒ下サルコトヲ希望スルノデゴザイマスルケレドモ、此ノ點ハ尙委員各位ノ御考慮ヲ仰グコトニ致シマシテ、セメテ此ノ二ツノ象徴ト云フ文字、ソレノ後ノ方ヲ國民統合の「中心」ト云フヤウナ言葉ヲ用ヒルコトニ願ハレマス、此ノ「中心」ト云フ言葉ヲ用ヒマスルコト云フト、少シ強味ガ着キマス、ソコニ結局問題ガアリマセウガ、ソレニ依ツテ恐ラクハ國民全體トシテハ少クトモ多少、ヨリ満足スルト云フヤウナコトガアリマス、ソレガ第三條ニ直接ニ響イテ參リマス、第三條ニハ「天皇の國事に關するすべての行爲には、内閣の助言と承認

を必要と」スルト云フコトニナツテ居リマスル、助言ト承認ト云フ言葉ガ天皇ノ憲法上ノ地位ヲ示ス言葉トシテ、我々ガ希望シ理解シテ居ル所トドウモ相距タルモノガアルヤウニ思フノデアリマス、是モ當局ノ御苦心ノコトヲ十分拜察シナイ譯デハゴザリマセヌガ、我我トシテハ矢張り天皇ヲ象徵トシ中心トシ、元首トシテ奉ツテ居ルト云フ考ガアルモノデゴザリマスルカラ、「助言」ト云フヤウナ言葉デハ、サモ内閣ノ方ガ天皇ヨリモ上ニ位スルヤウニ、況ンヤ「承認」ト云フ言葉ニナリマスルト、他ノ例デハ國會ガ内閣ノ行爲ヲ承認スルト云フ言葉ガ草案ニ三所現レテ居ルト思ヒマスルガ、如何ニモ物足りナイ心持ガアルノデアリマス、是ハ何トカ御考ヘ直シテ願フ餘地ガナイモノデセウカ、私トシテハ過日「助言」ニ代ヘルノ「進言」ト云フ言葉ヲ以テシタラドウカト云フコトヲ申出マシタ次第デアリマスルガ、「承認」ニ付テハ今日尙私トシテノ成案ヲ得マセヌケレドモ、少クトモ國會ガ内閣ニ對スル承認ノ場合トハ言葉ヲ異ニスルト云フコトニ依ツテ、其處ニ色合ヲ着ケテ戴クト云フ餘地ガナイモノデゴザイマセウカ、サウ云フ心持ハ更ニ第四條ニ及ビマスルノデ、「天皇は、この憲法の定める職務のみを行ひ、政治に關する權能を有しない」、趣旨ハ能ク

私理解出來ルト思ヒマス、ケレドモ、「ドウモ」のみ」ト云フ言葉、「權能を有しない」ト云フ言葉、是ハドウモ我々國民ガ天皇ニ對シテ持つテ居ル感ズラ現ス用語デハナイト思フノデアリマス、私ノ試案ト致シマシテハ、「天皇はこの憲法に依つて國事に關する行爲を行ひ、國政に關與しない」斯ウ云フ風ニ「のみ」ト云フ言葉ヲ省キ、有シナイト云フ言葉ヲ關與シナイト云フ風ニ、權能ヲ有シナイト云フ言葉ヲ關與シナイト云フ位ニ變ヘルコトガ出來ナイカト思フノデアリマス、ソレガ直チニ第七條ニ響イテ參リマスルノデ、第七條ニ於テハ同ジク助言、承認ヲ受ケル規定ニナツテ居リマスルガ、此ノ中味ヲ段々考ヘ合セマスルト云フト、高柳委員ヨリ細カニ御話ニナツタ通り、何處迄モ國家ノ元首タル地位ヲ明カニシタモノデアリマス、殊ニ此ノ中デハ私ノ疑ヲ持つテ居リマスルノハ、衆議院ノ解散ノコトデアリマシテ、解散ノコトハ内閣ノ方ニハ直接ノ明文ニハナイカト心得テ居リマス、第六十一條以降ノ第五章ノ内閣ノ所ニ解散ニ付テノ特別ノ規定ハナイヤウニ思ヒマスル、固ヨリ進言ト承認トニ依ツテ天皇ノ行ハセラル、行爲ニ屬スルノデアリマスルケレドモ、矢張り解散ヲスルコト、解散ノ内容ヲ茲ニ表シテアリマスルノ

デ、解散ヲ認證スルノデモナケレバ、宣言スルノデモナイ、解散其ノモノガ天皇ノ權能ノ中ニ入ツテ居ルト云フコトニナリマスル、斯様ニ考ヘマシテ、天皇ノ憲法上ノ地位ヲ少クトモ先ヅ第一ニハ内閣ニ對シモウ少シ高メラレタコト、高マツタモノデアルト云フコトヲ明カニスルコトノ心遣ヒヲシタラバドウ云フモノデアラウカト思フノデアリマス、結局是等ノ用語ニ依ツテ、將來憲法ヲ理解スル者ガ我々ノ國民生活ノ中心タル天皇ヲ餘リニ低ク見ルト云フコトニナリハシナイデゴザリマセウカ、國會ガ最高ノ機關デアルト云フコト迄ニ手ヲ加ヘル御積リデハゴザイマセヌケレドモ、天皇ニ對スル言葉遣ヒ、從ツテ憲法上ノ地位ニ付テハモウ少シ加減ヲスルコトガ如何カト思フノデアリマスルガ、是ガ當局ニハ尙私ノ思ヒ寄ラヌ御考モ御アリニナルコトト思ヒマスルカラ御釋明ヲ願ヒタウゴザイマス

○國務大臣(金森德次郎君)

委員カラ第一章ノ天皇ニ關シマスル色々ナ文字ノ點ニ付キマシテ御教ヘテ戴キマシタ、仰セノ通りノ考ヘ方ヲ中心トシテ説明ヲスルモノトスレバ、牧野委員ノ仰セニナルコトハ全部左様デアルベキデアルト云フ結論ガ導カレ得ルモノト考ヘテ居リマス、併シ不幸ニシテ私ハ極力此ノ點ニ付キマシテ、原案ヲ御主張申上ゲナケレバナラナイト云フ、私トシテハ誠ニ牧野委員ニ對シテ心苦シキ立場ニ立ツ次第デゴザイマス、最初ニ御質問ノ順序ニ從ツテ申シマスルガ、初メ牧野委員ハ私ガ高柳委員ニ對シテ元首ト云フ言葉ノ御質問ニ對シテ、大體元首ト考フルコトニ異論ナキガ如キ答ヲシタト云フ風ニ御述ニナリマシタガ、是ハ稍々言葉ノ上ニ於キマシテ簡單ニハ考ヘラレナイ所デアリマシテ、私ハ其ノ時ニ言葉ヲ使ヒマスル上ニ相當用意ヲシテ御答ヲシタト思ヒマスガ、決シテ天皇ガ元首デアルト申シタ譯デハアリマセヌ、一口ニ言ヘバ國際關係ノ儀禮ノ上ニ於テ元首ノ如ク扱ハレテ行クコトニナルデアラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、天皇ヲ直チニ元首ト云フ言葉ヲ以テ無條件ニ言ヒ現スコトニ於キマシテハ、明カニ條件ノアルコトヲ申上ゲテ置イタ積リデアリマス、ソレヲ條件ト致シマシテ大體此ノ憲法ノ建前ノ根本ヲ御説明ヲ申上ゲナケレバナリマセヌガ、私共ハ激シイ戰爭ノ經過ヲ取りマシテ、諸般ノ點ニ於テ隨分考メ改メナケレバナリナイ點ガアル譯デアリマス、獨リ是ハ日本ダケノ立場ヲノミ最高ノ原理トシテ考ヘ得ベキモノデハナク、色々ナル、普遍的ナル立場ニ立チツ、事物ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト存ジテ居リマス、過日來申上ゲテ居リマスルヤウニ、國民ノ基本

的ナル心持ト云フモノハ、是ハ法律ノ決メル所デハナイノデアリマス、我々ガ生キテ居ル限リ其ノ心ガ變ラザル限リ持つテ居ルノデアリマスルカラ、國體ハ儼トシテ變ル所ナク存シテ、居ルト云フコトハ明カニ申上ゲテ居リマスルケレドモ、其ノ上ニ建設サルベキ政治機構ノ面ニ於キマシテハ、日本ガ過去ノ色々ナ事實ニ依ツテ經驗致シマシタ所ヲ綜合シテ、又冷厳ナル眞理ニ相應シキ、又國民ニ無用ナル誤解ヲサセナイヤウニ留意ヲシテ規定ヲシテ行カナケレバナラヌト思ヒマシテ、其ノ段階ニ於キマシテ此ノ憲法ニ用ヒマスル文字ガ或ハ不適當デアルト云フ御考ノ出來ル場面モゴザイマセウ、併シ不適當ナル所モ他ノ一面カラ見マシテ又適當ナルモノデアルト云フ意味ヲ持つテ居ルノデアリマシテ、國民ノ誤解ガ其ノ言葉ノ綾ニ依ツテ或程度迄改善セラレ得ルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、其ノ趣旨ニ基イテ憲法ハ幾多ノ文字ノ調節ヲ圖ツタ譯デアリマスルガ、第一條ニ於キマシテ象徵ト云フ言葉ハ牧野委員ハ一應御承認ニナツタヤウデアリマスルガ二ツ目ノ象徵ヲ日本國民ノ統合ノ中心デアツテト云フ風ニシタイト云フ御考デアリマシタ、其ノ根本ニ於テ、國民結合ノ確カニ精神的ナル繋リノ基デアルト云フコトヲ認メラレマス、併シ茲デ考ヘテ居リ

マスノハ、天皇ヲ見レバ日本國民ガ一ツニナツテ居ルト云フ姿ガハツキリ直感的ニ指示シ得ラレル、謂ハバ、表現的ノ意味ニ用ヒマシタ、或時、或意味ニ於テノ表現ト云フ言葉ガ持つ居ル意義ニ用ヒラレマシタ象徵デアリマシテ、其ノ基本ノ所迄踏込ンデ國民精神ノ中ニ迄分解シテ、之ヲ規律スル趣旨デハナカツタデアリマス、何故ソレヲ規律シナイカト言ヘバソレハ嘗テモ申シマシタヤウニ、斯様ナ法律の制度ノ基盤ニ横ハルモノデアツテ、ソレヲ法律世界ニ持テ出スコトニ付テハ諸般ノ立場カシテ考ヘ得ベキ理由ガアルト信ジタカラデアリマス、デアリマシテ、私ノ言葉ハ甚ダマズインデアリマシテ、御得心ヲ得ルコトハ出來ナイカモ知レマセヌガ、茲ハ靜カニ天皇ヲ外カラ仰ギ見タ場合ニ一ツノ法律上ノ地位ヲ書キ現スモノトシテ御承認ヲ願フ譯デアリマス、サウスレバ中心ト云フコトハ、必要ナル心持ニハ規定ノ内容トナルベキコトトハナツテ來ナクテ宜イノデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ次ニ助言ト承認ノ點ニ付ギマシテ色色仰セニナリマシタ、其ノ言葉ガ誠ニ世俗一般ニ用ヒラレテ居ル言葉デアリマスルガ故ニ、在來ノ考カラ天皇ニ對シテ當嵌ルベキ言葉トシテハ、誠ニ感心ナ言葉デアリマイト云フコトハ私共モ心ヨリ了解

シテ居リマス、併シナガラ平易ナ言葉トシテ申上ゲマスルナラバ、矢張り此ノ言葉ガ適當デハナカラウカ、何故カト申シマスレバ、今後世襲ノ天皇トシテ、且又無答責ナル天皇トシテ、而モ國家ノ永久ノ政治ノ上ニ間違ノナイヤウニ行クベキ立場デアラセラレマスル爲ニ、ドウシテモ一般立憲國家ノ君主制ニ伴ツテ居ルヤウナ特殊ナ政治ノ御執リ方デナケレバナラヌ、從來トテモ恐ラクハ左様デアツタデアリマセウ、私共ハ左様デアツタト信ジテ居リマスレドモ、世間ノ見ル所ハ必ズシモサウデハナカツタ、何故カト言ヘバ現憲法ノ文字デ輔弼ト云フヤウナ古イ支那ノ含蓄ノアル特殊ナ感じノアル文字ヲ使ツテ、又之ニ對スル説明ノ仕方ガ何トナク十分デナイ爲ニ、天皇神聖説迄モ生ミ出シタ結果ト信ジテ居リマス、斯様ナ種々ナル考慮カラ致シマシテ、ハツキリ何人モ疑惑ヲ持タナイヤウナ言葉ヲ用ヒタイト思ツタ譯デアリマス、サウシテ茲ニ選ビマシタノガ助言ト承認ト云フ言葉トナツテ來タ、助言ト云フ言葉ハ言葉ノ性質ニ於テ左程御懸念ニナルベキ程卑シイ言葉デハナイト思ツテ居リマス、私ハサウ思ツテ居リマス、是ハ言葉ニ對スル感覺デアリマスカラ、多クノ議論ヲ申上ゲル力ハアリマセヌケレドモ、併シ國務大臣カ、或ハ内閣ガ、天皇ニ對シテ御間違

ノナイヤウニ心血ヲ注イデ御耳ニ達シテ、其ノ御方針ヲ御決シナラ標準トセラレマスルト云フコトニ付テ、如何ニモ適切ニ其ノ内容ヲ現シテ居ル言葉ト思フ譯デアリマス、ムツカシイ言葉ヲ使ツタラ天皇ガ尊クナル譯デモ何デモナイノデアリマシテ、斯様ナ卑俗ナル言葉ハ、私ハ寧ろ卑俗ト云フコトガ却テ適當デナイト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、次ニ承認ト云フ言葉ハ、是ハ成ル程國會ガ内閣ニ對スル場合モ使ハレテ居リマス、併シ事柄ノ實質的意義ガ或關係ニ於テ共通デアラナラバ、又共通ノ言葉ヲ用ヒルコトモ當然デアルト斯ウ云フ風ニ考ヘマス、唯特ニ之ヲ同意ト云フヤウナ言葉デ言ヘバ何トナク素直ニ聞エルカモ知レナイト云フ説モ、私耳ニシタコトモアリマスガ、能ク考ヘテ見マスレバ幾何ノ差モナイト思ヒマス、法律的ニハ色々ナ意味ニ使ハレテ居リマス、必ズシモ一ツノ意味ニ使ハレテ居リマセヌ、茲デ特ニ承認ト申シマシタノハ、内閣ガ此ノ行爲ニ依リ絶大ノ責任ヲ負フ、詰リ其ノ立場デ天皇ニ對シテ意見ヲ申上ゲルノデハナク、基本的ナ心持ヲ成ルベク適切ナ意味デ現シマスル爲ニ承認ト云フ言葉ヲ用ヒタノデアリマシテ、其ノ點ニ於キマシテ同意ナドト云フ輕イ言葉ヨリモ、幾分其ノ責任觀念ノ響ガ餘計出テ來ルヤウニ思ヒマス、

尙牧野先生ハ進言ト云フ言葉ヲ助言ニ變ヘタラドウカト云フコトヲ嘗テ仰セニナリマシタガ、進言ト云フ言葉ハ何トナク建議スル、例ヘバ民間カラ時々政府ニ對シテ建議ヲスル、サウ云フ言葉ヲ稍々飾ツテ言ツタ言葉デ申シマス時ノ進言ト云フコトト違ヒマシテ、茲ニ言フ助言トハビツタリト合ハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論言葉ノコトデアリマスカラ、前後ノ關係モアリマスガ、言葉ダケヲ裸カニシテ論議スルコトハ誤ツテ居ルカモ知レナイト思フノデアリマス、次ニ同じ一ツノ思想ヲ流レテ居ルノデアリマスガ、第四條ニ於テ「權能を有しな」ト云フ言葉ガアルガ、是モ面白クナイ、「有しな」ト云フ代リニ關與セズト云フヤウナ、何カ比較的少シ刺戟ノアル言葉ヲ用ヒタラドウカ、尙ハ他ノ條文ニ對シテモ著シイ影響ガアルト云フヤウナ御示デアリマシタ、其ノ點モ我々ノ在來ノ考カラ申シマスレバ確カニサウデアルト思ツテ居リマスガ、私ハ豫テ斯ウ云フ議論ヲシテ居ルノデアリマス、此ノ場合當嵌ルト思ヒマスガ、現行憲法ノ言葉ハ其ノ言ヒ現シ方ガ眞理ヲ濫リニ言ヒ現シテ居ルノデアリマス、例ヘバ天皇ガ法律ヲ裁可スル、斯ウ書イテアル所ヲ見レバ、國民ハ特ニ法律ヲ研究シナイ者ハ、天皇ガ實際ニ法律ヲ御裁可ニナルト思

ツテ居リマス、或ハ天皇ノ名ニ依ツテ裁判ヲ行フトアルト、誤ツタ裁判ヲ受ケテ、ソレニ對シテ不滿ナ人ハ、裁判官ガ間違ツタト言ハナイデ、天皇ガ斯ウ云フ裁判ヲ以テ我々ヲ壓迫シタト、露骨ニ言ヘバサウ云フ言葉ヲ使ツテ居ルノヲ聞イタコトガアリマス、法律的ニ説明スレバ其ノ考ハ根本的ニ間違ツテ居ルコトハ明瞭デアリマスガ、言葉ノ綾カラ來ル結果トシテサウ云フ錯覺ガ起ツテ來ル、現行憲法ノ各條文ニ於テ殆ド總テガ左様ナ意味ヲ持つテ居リマス、之ヲ一口ニ言ヒマスレバ、言葉ノ現ス所ハ誠ニ美シイ、併シナガラソレハ本當ノ眞實ヲ隱シテ居ル、其ノ眞實ヲ發見シ得マスノハ、相當ノ法律上ノ教養ノアル者ノミガ之ヲ爲シ得ルノデアリマス、國民ヲ二組ニ分ケテ、一組ハ愚カシク憲法ノ文字ヲ信用シテ居ル、他ノ少數ノ一組ハ憲法ヲ文字ト學問デ本當ニ認識シテ居ル、其ノ二組ガ日本國民ヲ構成シテ居ル、サウシテ過去ノ色々ノ悲シムベキ國家ノ事變ヲ生ミ出シテ來タト思ヒマス、此ノ憲法ハサウデナイ、國民全部ガ如實ニ憲法ヲ認メ得ルヤウニシヨウト云フノデアリマス、ソコデドウシテモ裝飾的ナ技巧ガ減ツテ行クコトハ免レ得マセヌ、固ヨリ此ノ憲法ト雖モ徹底的ニ斯様ナ裝飾的ナ技巧ヲ除イテ居ル譯デアリマセヌ、唯ソレヲ最小限度ニ止メ

テ、ドノ邊方宜イカト云フコトハ是ハ認識ノ爭ガ起ツテ參リマセウケレドモ、私共ハ出來ルダケサウ云フニ重解ノ部分ヲ極度ニ制限致シマシテ、國民感情モ尊重致シマスルケレドモ、根本ノ原理ハ冷嚴ナ原理ヲ比較的平凡ナ知識ヲ持ツテ居ル國民ニモ端的ニ知ラシメルヤウニト、斯ウ云フコトニ眼目ヲ置イタノデアリマス、其ノ結果トシテ多クノ規定ガ文字ヲ調節サレテ居リマス、第四條ノ規定ハ文字ダケデ中上ゲマスト殊ニ面白クナイノデアリマス、餘リニ眞實ヲ露骨ニ書イテアルト云フコトガ言ヘルノデアリマス、併シ事實ヲ露骨ニ書イテ強イト云フコトハ本筋ニ於テハナイ、國民感情ヲ適切ニ保護スル限度ニ於テ考慮スベキデアリマスガ、日本國民ガ果シテ何時迄モサウ云フ廻リ諄イ言葉デナケレバ保護シ得ラナイノカト云フト、サウデハナイ、日本國民ハ國體ノ尊嚴ヲ能ク認識シテ居リマスカラ、斯ウ云フ露骨ナ言葉ヲ使ツテモ、ソレヲ使ヘバ使フ程本當ニ國體觀念ヲ意識シ、其ノ上ニ組織ミ立テラレタル政治構想ニ對シテ端的ナル了解ヲ持ツノデハナカラウカ、原案者ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ第四條ニ於キマシテ政府原案ニ於キマシテハ「この憲法の定める國務のみを行ひ、」云々トアリマシタガ、衆議院ニ於キマシテハ更ニ一層ソレヲ

謂ハバ端的ニ言ヒ表ス爲ニ「國事に關する行爲」ト云フ風ニ「國務ヲ改メ、」政治」ト云フノヲ「國政」ニ改メラレタノデアリマス、ソレハ政府ノ考ヘテ居ル考ヘ方ヲ一層現實化サセラレタト云フ見地ニ於テ居同感ヲ申上ゲタノデアリマスガ、斯様ナ意圖ニ基イテ居ルノデアリマシテ、此所ノ邊ノ氣持ハ私ハ英語ガ能ク讀メマセヌノデ、翻譯ノ方ノコトヲ昨日モ御質問ガアリマシタモ十分ニ取扱ヒ兼合ニ翻譯ト對照シテ申シマスルト、第四條ノ所ノ「政治に關する權能を有しない」所ハ、英文ノ方デハ「ネヴァー・シヤル・ビー・ハ・バ・ワ・アース」、斯ウ云フ風ニ「ネヴァー」ト云フ言葉ヲ先ニ出シマシテ、寧ろ翻譯ハ誇張ノ姿ヲ表シテ居ル、即チ此ノ日本文ガ左様ナ強ク言ヒ表ス氣持ヲ語氣ノ中ニ含ンデ居ル、「斯ウ云フ趣旨デ英譯モサウ云フ風ニナツタモノト考ヘテ居リマスガ、左様ナ全體ノ考ヘ方ニ基イテ居ルト云フコトヲ御了解下サイマシテ、ドウゾ御議論モ御修正モ是ハ貴族院ノ御自由デアリマスケレドモ、私共ノ氣持ノアル所ダケハ一ツ一應念頭ニ入レテ戴キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○牧野英一君 冷嚴ナル事實ニ鑑ミテ色々御考慮ニナツタト云フ御心持ノコトハ私トシテモ段々ニ理解出來ルヨウニ思ヒマスルガ、當局ノ御趣旨ハソレト致シマシテ、尙是ハ委員各位ニ於テモソレノ御考ヲ仰グコトガ得レバ幸福ニ存ジマス、ソレニ關聯シマシテ、稍ミ第二義的ノ疑ヒ、是ハ目錄ノ程度デ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、先程解散ノコトヲ申上ゲマシタガ、之ニ付テハ今御答ヲ仰グコトガ出來マセヌデシタ、併シ是ハ内閣ノ規定ト參照シテ見マシテ、矢張り解散ニ付テハ内閣ガ全責任ヲ負フノデ、内閣ガ總テ何ト申シマスカ、發意シ、サウシテ天皇ハ金森國務相ノ述ベラレタ、儀禮的ニ國事ヲ行ハセラレル、斯ウ云フ順序ニナルデアラウト思ヒマスカラ、是ハ文字ノ整理ト云フコトニ或ハナルノデゴザイマセウカ、ソレニ引續キマシテ第七條ノ第六號ニ「大赦、特赦、減刑、刑の執行の免除」ト云フコトガアリマス、是ハ金森國務相ニ於テモ固ヨリ十分心得テオイデニナルコトト思ヒマスルガ、尙是ハ司法大臣ノ御所管ニ屬スルコトデ、特ニ「刑の執行の免除」ト云フモノヲ御加ニナル必要ガアルモノカドウカ、現行ノ恩赦令ニ依レバ、是ハ必要ノナイコトト思ヒマスガ如何ナモノデゴザイマスカ、殊ニ英譯ノ方ヲ見マスト「刑の執行の免除」ト云フコトハ餘程懸ケ離レタ文字ガ使ツテアリマス、英米法ニ於テハサウ云フコトノ意味ヲ爲スモノ

ト考ヘマスルガ、我方國ノ憲法ヲ起草スルト云フ場合ニナツテ參リマスルト、從來ノ恩赦令デ十分足リル、故ニ此ノ語ヲ附加ヘル必要ハナイノデヤナイカト愚考スル次第デアリマス、ソレカラ第八號ノ批准書、是ハ批准ノ問題ニナリマスルガ之ニ付テハ山田先生カラ或ハ尙色々御話ヲ願フコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、是等ノ言葉遣ヒニ付テ多少ノ疑ヲ存シテ居ルコトヲ唯申入レテ置キマス、最後ニ第八條デゴザイマスルガ、是ハ矢張り内容的ニ問題トナリマス、「皇室に財産を譲り渡し」云々ノ規定ガアリマシテ、此ノ全文ノ書キ方ソレ自體ニ付テ尙伺ヒタイコトモアリマスルケレドモ、全體ニ互ル形式ノコトハ姑ク別ニ致シマシテ、差當リ「皇室に財産を譲り渡し」此ノ言葉ガ矢張り私ハ少シ穩ヤカサヲ缺イテ居ルヤウナ心持ガアルノデアリマスルガ、併シ其ノ前ニ實體的ニ御伺ヒ致シタイノハ、「皇室に財産を譲り渡し」ト云フノハドウ云フ御心持ノ趣旨カ、衆議院ニ於ケル議事ノ様子ヲ伺ツテ見マスルト、皇室財産ト云フコトニハ特別ノ意義ガオアリノヤウデ、現ニ八十四條ニ付テスクノ如クヤカマシイ御議論ガアルツタニ付テ、特ニ此ノ八條ノ「皇室に財産を譲り渡し」ト云フコトニ付テハ特別ノ意味ガアルノデハナイカト思ヒマス、其ノ特別ノ意

味次第デハ或ハ「譲り渡し」ト云フ言葉デ差支ナイト、斯ウ云フコトニナルノカト思ヒマスガ、何カソコニ特別ノ意義ガアリマスカ、我々ガ唯平凡ニ皇室ニ財産ヲ献上スルト云フ意味ニ了解シテ宜イノカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○國務大臣(金森德次郎君) 衆議院ヲ解散スルコトニ付テ御答ヲ申シマセヌデシタコトハ、用語ノ一ツノ例トシテ御舉ニナツタトバカリ了解ヲ致シテ居リマシタノデ、用語一般論ノ御答ヲ以テ足レルモノト思ツテ居リマシタガ、其ノ實質的ナル御答ト致シマシテハ、衆議院ヲ解散スルコトハ、實質的ニハ内閣所管ノ權能ト存ジテ居リマス、内閣ハ行政權ヲ行フト云フコトニナリマシテ、斯様ナ衆議院ノ解散ガ狭イ意味ノ行政權デナイコトハ勿論デアリマセウ、併シ立法デモナイ、司法デモナイト云フ趣旨ハ、此處カラ押シ極メテ行ツタ所ノ廣イ意味ノ行政權ニ屬スルモノト考ヘテ居リマシテ、其ノ實體ヲ決メマスルコトハ内閣ノ所管ニ屬スルモノト考ヘテ居リマス、其ノ所管ニ依ツテ決定シタル段階ヲ經テ、其ノ助言ト承認ニ依ツテ最後ノ決定ヲ行ハセラル、ノガ第七條ノ第七號ニ依ツテ行ハセラレル、斯ウ云フコトノ解釋トナルモノト考ヘテ居リマス、次ニ「刑の執行の免除」ニ付テノ御質疑ガアリマシタガ、此ノ點ハ成ル程現在

ノ制度ニ於テハ、刑ノ執行ノ免除ハ他ノ事項、多分特赦デアルト思ヒマスガ、其ノ中ニ含まレテ居ルモノノヤウニ思ヒマスガ、斯様ナ一ツノ形ヲ恩赦ノ機能ノ一ツトシテ特記スルコトハ、決シテ理由ナイコトデハナイト云フヤウニ考ヘテ、原案ヲ斯クノ如ク列ベタノデアリマス、唯、今迄通りデ宜イデアハナイカト言ヘバソレモ勿論デアリマス、併シ斯様ニ一ツノ形ヲハツキリ書クト云フコトモ亦立法ノヤリ方デアラウト考ヘテ居リマス、英語ノ翻譯ガ是ト合フトカ、合ハストカト云フ御話デアリマシタガ、實ハ私ハドウモ同ジヤウナコトヲ繰返シマスルガ、英語ニ付テハ十分ノ理解ヲ持つテ居リマセヌノデ、併シソレハ英文ノ問題デアリマシテ、日本國ノ憲法ヲ起案致シマスル其ノ態度ハ、英文ノ用ヒ方ガ如何様デアラウトモ、必ズシモ重キヲ生ズルコトデハナイト考ヘテ居リマス、尙「レトリック」ト云フ言葉ハドウ云フ意味ヲ以テ居ルカト云フコトハ、法律家ト社會的ナ言葉ノ遺ヒ方トノ間ニ差異ガアルヤウデアリマスガ、必ズシモ無關係ノ意味デハナイヤウニ私ハ聞イテ居リマス、ソレカラ次ニ批准ノコトガアリマシタガ、是ハ主タル御質疑デナイカト思ヒマシタカラ御答ヲ省略シマシテ、第八條ノ規定ニ付テ御答ヲ申シマスルガ、第八條ハ言葉通りニ

私ハ了解シテ居ルノデアリマス、即チ皇族ト申シマスノハ天皇ト皇族トヲ含シタ所ノ一ツノ觀念的ナル存在デアル、ソレヲ集團ト言ツタラ不自然デゴザイマセウ、觀念的ナル存在デゴザイマス、從ツテ其ノ中ニ天皇ト皇族トヲ含シテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、其ノ天皇ト皇族トノ範圍ニ對シマシテ其ノ以外ガ、詰リ皇室ト云フベキモノノ以外カラソコニ財産ヲ譲リ渡スト云フコト、又ハ皇室ガ其ノ以外カラ財産ヲ譲リ受ケラレルト云フコト、ト云フ風ノコトハ國會ノ議決ニ基カナケレバナラナイト云フノデアリマシテ、之ヲ他ノ言葉デ言ヘバ天皇及ビ皇族ヲ含シテ居ル其ノ一ツノ存在、ソレ以外ノ存在トノ間ニハ財産ノ交流ヲ、此ノ八條ノ途ニ依ルノ外、存在シ得シメナイト云フノガ此ノ憲法ノ解釋デアラウト思ヒマス、尙之ヲ八十四條ノ皇室財産ノ關係ニ併セテ御質疑ニナリマシタガ、八十四條ハ皇室財産ト云フ言葉ヲ用ヒテ居リマシテ、是ハ前後ノ關係上、自ラ一定ノ意義ヲ有スルモノト了解シテ居リマシテ、八條ニ言フコトト必ズシモ直接ノ關係ハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、從ツテ八條ノ方ハ其ノ結果トシテ、謂ハバ天皇ノ公有財産ト申シマスガ、八十四條デ申シマスヤウナ所謂皇室財産ニ當候ルヤウナコトモ八條ニ規定セラレ、又天皇

ノ私有財産ニ當候ル場合モ之ニ規定セラレ、皇族各位ノ私有財産ニ當候ル場合モ之ニ規定セラレルト云フ風ニ了解シテ居ル譯デアリマス
○牧野英一君 段々心持ヲ伺ヒマシテ理解ヲ深メルコトガ出來マシタ、最後ニ唯一ツ第八條ノ末文「基かなければならない」ト云フ言葉ガ出シテアル、是ハ單純ナ用語ノ問題ニナリマスガ、此ノ各條ヲ通覽致シマスト云フト、斯ウ云フヤウナ場合ニ、「基くことを要する」ト云フヤウナ形ニ起案サレテ居ル點ガ差當リ氣付キマシタノデモ六箇所ゴザイマス、斯ウ云フ譯デ「なければならぬ」ト言フ言葉ガ、昨日モ御話ニナツタヤウニ極メテ平易デ宜イカ、或ハ稍ミ眞面目ニ「國會の議決に基くことを要する」トシタ方ガ憲法ラシイモノノ言ヒ表シ方ニナルカ、「サレル」ト「セラレル」ト云フヤウナ似寄ツタヤウナ議論ニナリマスガ、併シ「要する」ト云フ書キ方ニ致シマス、現ニ此ノ憲法ノ中ニ今申シマシタ通り、差當リ似寄ツタヤウナ場合ガ六ツアリマス、「要する」、「必要とする」ト云フヤウナ言葉ヲ御使ヒニナツテ居リマスカラ、尙ソレト照シ合セマシテ御詮議ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、是等ノ細カイ點ニ付キマシテハ委員長カラノ御示ノ通り、更ニ私ノ拙カニ考ヘテ居リマス所ヲ書

面ニ認メマシテ差出スコトニ致シマス、私ハ是デ終リマス
○子爵大河内輝耕君 私ハ皇族ノ御地位ニ付テ質問致シタイ、甚ダ質問ノ仕方ガ莫トシタ御尋ネデスカラドウゾ其ノ御積リデ願ヒマス、此ノ憲法ニ依リマシテ皇室ノ問題ハ解決サレマシタト思ヒマス、マダ質問シナケレバ分リマセヌガ、私ノ考ヘル所デハ天皇ハ政治上ニ一切御關係ニナラナイ、唯儀禮ノコトダケ御ヤリニナルト云フコトデゴザイマスカラ、是デ天皇ノ御地位ハ御安泰ニナツタト考ヘマス、ソレカラ、マアソナコトヲ一緒ニスル譯デヤゴザイマセヌガ、皇族ノ地位モ、ア、云フ厄介ナモノガナクナツタノデ、誠ニ社會生活ノ爲ニ喜ブベキコトデ、殊ニ度々申ス通り、家ト云フ制度迄ナクナルノダサウデ、誠ニ二位之方國家ノ爲、社會ノ爲ニナルカト我々喜ンデ居リマスガ、扱、一番御氣毒ナノハ皇族様、是ハモウ何モ手ガ觸レデナイ、ソレデスカラ依然タル地位デ居ラツシヤル、サウシテドウ云フ御地位カト云フト、攝政ニナル御資格モアルシ、ソレカラ皇位繼承ニモ或關係ヲ持つテ御出デニナル、サウ云フ御關係ナンデスカラ、非常ナ苦シイ御立場デ、之ヲ止メテシマツタラ嘸御喜ビダラウト思フノデスカラ、サウ云フ譯ニ參ラス、デ、非常ナ御窮屈ナ地位ニ御置キ申スノ

デ、何トモ恐縮ニ堪ヘナイ、ソレデマア考ヘル所デハ、今後ノ皇族様ノ御地位トシテハ、誠ニ御氣毒様デハゴザイマスガ、皇位繼承ヤ攝政ニ御關係ノアル以上ハ、政治ヤ社會ノコトニハ一切御關係下サラナイヤウニ願ヒタイ、之ガサウ云フモノニ御關係ニナルト云フコトニナルト、サウスルト遂ニ天皇迄モ影響ヲ及シテ來ルト云フヤウナ、惡イ結果ヲ生ジナイト限ラナイ、詰リ或ハ自然科學ノ研究デアルトカ、或ハ音樂デアルトカ、美術デアルトカ、文學デアルトカ云フ方ヘカヲ御注ギニナツテ戴キタイ、誠ニ無理ナ御注文ダケレドモ、是ハ皇族ノ性質トシテ已ムヲ得ナイ、ソレニ付キマシテ只今皇族ノ經費ノ關係モ出マシタガ、私ト致シマシテハ此ノ經費ヲ十分御注意ニナツテ、露骨ニ申セバ、澤山差上ゲテ戴キタイ、世ノ中ヲ愉快ニ御暮シニナル經費ト云フモノハ、存外目ニ見エナイデ掛ルモノデス、我々デモ一ツ道樂ヲ始メルトナカ／＼金ガ掛ル、況ンヤ皇族様デスカラ、御日暮シニハ隨分御困リダト思フシ、餘程ソコノ所ハ政府ノ方デ注意シテ十分ナ御費用ヲ差上ゲルト云フコトニナラナイト、ドウモ兎角危イ、ソレニ皇族ノ御身邊ニ對シテハ、動モスレバ近付イチャ困ルヤウナ人間ガ近付クト云フヤウナコトモ、是モ想像シ得ラレナイコトモナイ、今迄サ

ウ云フコトガアツタト云フ譯ヂヤアリマセヌガ、サウ云フヤウナコトデモアレバ、餘程危イ、何シロ餘程皇族ノ御地位ト云フモノハ、色々ナ點カラ考ヘテ無理ナモノナデス、制度ト云フモノハ無理ナモノナデス、此ノ無理ヲウマクヤツテ行クト云フコトハ餘程ムツカシイコトノヤウニ思ヒマスガ、政府ノソレ等ノ御考ヲ一ツ伺ヒタイ

○國務大臣(金森德次郎君) 今御尋ニナリマシタ皇族ニ關シマスル問題ハ、實際ヲ申シマスレバ、現在研究ノ道程ニアリマシテ、非常ニ堅ク申シマスレバ、政府ガ御答辯ヲスル所迄行ツテ居ナイト、斯ウ御答ヲスベキ譯デアリマスルケレドモ、サウ云ツテシマヘバ實ハ政府ノ考ガ全然ナイト云フコトニナリマスルガ、今私共ガ大凡描イテ居ル考ヘ方ト致シマシテハ、仰セニナリマシタヤウニ皇族ノ御地位ハドウシテモ此ノ憲法ニ依ツテ實質上相當ニ變ツテ來ルト思ヒマス、ト申シマスルノハ、個人生活ノ方面ヲハツキリサセテ來マスル關係上カラ主トシテ來ルノデアリマスルガ、今モ同ジヤウナ皇族ノ範圍宜イカドウカト云フコトガ第一ノ問題ニナツテ來ル譯デアリマス、デ、今回ノ此ノ建前ハ、皇族デアルガ故ニ、皇族デアルト、斯ウ云フ考ヘ方デハナクツテ、皇位ヲ御繼承ニナリ、又ハ攝政ニ御

ナリニナルト云フコトヲ中心トシテ、皇族ノ範圍ヲ考ヘマスルガ故ニ、萬事ガ皇位繼承及ビ攝政デアラセラル、人ノ範圍ト云フモノヲ大凡念頭ニ置キマシテ、其ノ念頭ノ中ニ丁度御含レニナルベキ適當ノ方ダケガ皇族ニ御成リニナル、ソレ以外ノ方ハ必ズシモ皇族デ御アリニナル必要ハナイノデアツテ、ソコニハ然ルベキ働キガアツテ宜カラウ、斯ウ云フ前提ニナツテ來ル譯デアリマス、其ノ點ニ於テ先ヅ一ツノ問題ガ、是ハ私共カラ申上ゲルコトデゴザイマセヌ

ガ、問題トシテハサウ云フヤウニ一ツ起ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ思ヒマス、次ニ皇族トシテハ今仰セニナリマシタヤウニ皇位ヲ御繼承ニナツタリ、或ハ攝政ニ御就任ニナルト云フ關係上、之ニ對シテ「ノビリテイ」ハ十分ニナケレバナラヌ、斯ウ云フコトモ考ヘラレマス、從ツテ「ノビリテイ」ニ反スル御職業等ハ常識カラ考ヘマシテ好マシクナイト云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ政府ノ方デ決メテドウスルト云フ問題デハナクテ、別ノ考ニ依ツテ動イテ行クモノデハナカラウカト存ジテ居ル譯デアリマス、次ニ皇族ノ御經費ヲ補充スル問題デアリマスルガ、是ハ、憲法案案ノ八十四條ニアリマスルヤウニ、皇室ノ經費ハ國ノ方カラ豫算決メテ豫算止ノ支出トシテ之ヲ差出ダ

スト云フコトニナツテ居リマス、其ノ中ニ皇族ニ對スル必要ナル經費ガ計上セラルベキモノト考ヘテ居リマシテ、其ノ經費ノ具體的ノ計算ガ如何ニナルカト云フコトハ私カラマダ申上ゲルベキ段階ニハナツテ居リマセヌケレドモ、國民諸君ノ十分ナ理解ガ存在致シマスルナラバ、誤ツタル方向ヲ迎ルコトハナカラウト實ハ確信致シテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ問題ハソレデ宜シウゴザイマス、次ノ問題ニ移リマス、次ノ問題ニ移ル前ニチヨット伺ヒマス、第一條デゴザイマスガ、此ノ象徵、是ハ先達テ牧野先生カラモ御質問ガアツタノデスガ、是ハ表象ト變ヘルコトハ如何デセウカ、是ダト餘程分リガ易イ、象徵ト云フ字ハ國民學校ノ讀本ニモナイデセウシ、中學ノ教科書ニモナイデセウシ、ナカナカ縁遠イ、表象ナラバアリマスカラ其ノ方ガ餘程通俗的ニナルノデスガ、私ハナンノ意味モナイ、唯通俗ニスル意味ニ於テ其ノ方ガ宜クハナイカ、如何デセウカ

ダ、斯ウ云フヤウナ數ヘモ他カラ受ケタコトモアリマス、併シ表象ト云フ言葉ノ持味ト象徵ト云フ言葉ノ持味ト比較シテデチラガ適切デアラウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、是カラ先ハ言葉ヲ以テ言ヒ現シ得マセヌノデ、各々感ズル所ガ違フト存ジマスケレドモ、矢張り象徵ト云フ言葉ノ方ガ國民意識ニ深イ感覺ヲ與フルノデハアルマイカ、殊ニ表象ト云フ言葉ハ私ハ能ク哲學ノコトハ知リマセヌケレドモ、何カソチラノ方デ他ノ意味デ使ツテ居ル言葉、「フオルステルンク」ト云フ言葉ノ譯語トシテ使ツテ居ルノデハナイカ、象徵ノ方ニナリマス此ノ前佐々木先生ガ、甲ノ意味ガアル、乙ノ意味ガアルト仰セニナリマシタガ、獨リソレダケニ止マラナイ、私ハ今日餘計ナ言葉表現的ト云フヤウナ言葉ヲ使ヒマシタケレドモサウ云フ意味モアルラシイ、凡ソ象徵ト云フ言葉ノ持ツテ居ル正確ナル範圍ハ、ソレハ説明ノ仕方ニ依ツテ違フカモ知レマセヌガ、大體意味ハ一定シテ居ルヤウニ存ジマス、ノミナラズ是カラ先ハ私ノ多少個人的見解ニ近イノデアリマスルケレドモ、天皇ノ御地位ト云フモノハ此ノ憲法ニ書イテ見マスルト、唯冷ヤカナル文字ニ化ケデシマヒマスケレドモ、國民ノ心ノ中ニハ相當重要ナル印象ヲ殘シテ常ニ妾ヲ持ツテ居ナケレバナラヌ、

○國務大臣(金森德次郎君) 表象ト云フノガ普通デアツタノ

サウ云フ風ニ存ジテ居リマス、サウナリマスルト極メテ使ヒ馴ラシタ言葉ヨリモ、場合ニ依リマシテハ少シク或意味ニ於テ耳障リト申シマスカ、印象ノ強イ言葉ノ方ガ、其ノ言葉ニ依ツテ第二ノ意味ガ發生シマシタ象徵ト云フ直チニ天子様ノ總テノ御地位ガ客觀的ニ映ツテ來ル、斯ウ云フヤウナ氣持ニナリマス、其ノ爲ニハサウ云フ言葉ヲ使フ方ガ宜イノデハナカラウカ、斯ウ云フ氣ガシテ居ルノデアリマス、是ハチヨット餘談ニナリマスガ、牧野先生ガ戰爭ノ抛棄ト云フ言葉ニ付テ、戰爭ノ否定ト云フ方ガ宜イノデハナイカト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、私共ハ其ノ場面ニ於キマシテハ、戰爭ノ抛棄ト云フ多少耳障リト云フカ、サウ云フ意味ノ言葉ノ方ガドウモ深イ印象ヲ殘シテ、國民ニスツト了解セシムル上ニ良イ働キヲ持ツノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ點ハ能ク分リマシタ、ソレデ次ニ第一條ニアリマス「主權の存する」ト云フ主權ト云フ意味ハ、矢張り昨日御話ノヤウナ政治力ト云フヤウナ意味ナノデセウカ、是ハ矢張り前文ノ主權ト同ジニ考ヘテ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(金森德次郎君) 仰セノ通り此ノ言葉ハ前文デ、主權ガ何處ニ在ルカ、斯ウ云フ風ニ書イ

テアリマス爲ニ其ノ言葉ヲ受ケマシテ「主權の存する國民」ト言ツタノデ、全然同ジ意味デゴザイマス、其ノ「主權」ト云フ言葉ノ持ツテ居ル意味ハ誠ニ御説明シニクイノデ、昨日御話申上ゲマシタ通りデアリマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ主權ノ意味ハ能ク分リマシタガ、私ハ統治權ノ總攬者ハ何人デアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、主權者ト云フ言葉ハ大變色々ナ意味ガアルノダサウデゴザイマス、統治權ノ總攬者ト同ジヤウニ私ハ假ニ解釋シテ置キタイ、ソレデ統治權ノ總攬者ハ何カト云フト、私此ノ憲法ヲ見タ所デハ兎ニ角最高ノ權力ヲ持ツタ者ガ統治權ノ總攬者デアル、サウ云フコトニナレバ憲法ノ改正權ヲ握ツテ居ル國會ト國民トガ是ガ統治權ノ總攬者デア

ル、憲法モ改正スルコトモ出來レバ何デモ出來マスカラ是ガ一番最高權者デアリ、統治權ノ總攬者デアルト見ルノガ相當ナ考ヘノヤウニ私ハ思ヒマス、併シ又一方カラ見ルト憲法ノ改正ハ暫ク見ナイデ平カニ見マス、サウスルト國會モ入ルコトハ勿論デスガ、其ノ他ニ内閣モ入レバ裁判所モ入レバ天皇モ一部ヲ持ツテ居ラレト云フヤウナコトデ、色々ナコトニナツテ來ル、ソレ等ガ各一部ノ統治權ヲ持ツテ居ル、ソレヲ綜合シタモノガ統治權ノ總攬者デアルガ、

ソレハドウ説明サレルカ、兎ニ角四ツノ機關ガアルト云フヤウニ取ラレ、私ハ素人デドツチガ宜イカ分リマセヌガ、是ハ爭ヒニデモナラウカト思ヒマスカラ政府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイ

○國務大臣(金森德次郎君) 此ノ憲法ハ建前ガ現行ノ憲法ト違ツテ居リマス爲ニ、的確ニ統治權ノ總攬者ト云フ言葉ニ當ルモノハナイト斯ウ御答ヘ申上ゲタ方ガ適當デアラウト思フノデアリマス、併シ統治權ノ總攬者ト云フモノガ具體的ナ姿ノ人デアツテ、而モ最後ノ鍵ヲ握ルト云フ風ニ取リマスナラバ、今仰セニナリマシタヤウニ憲法ヲ改正スル權能ヲ持ツテ居ル國民ト云フヤウニ理解スルコトガビツタリ當ルカドウカ是ハ分リマセヌガ、一番近イ御答ダラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ次ニ第一條ニ關スル法律上ノ效果ヲ伺ヒタイノデス、ナンダカ私ノ言フコトハ分リニクイデセウガ、之ニ依ツテ色々ノ法規モ出テ來マセウシ、又之ニ依ツテ反射作用モアルダラウト思フノデス、ドンナ法規ガ之ニ依ツテ出テ來ルカ、ドンナ反射作用ガ法律上アルモノダラウカ、大要承リタイノデス

○國務大臣(金森德次郎君) 第一條自身ノ意味ハ今御尋ノ範圍デアリマセヌカラシテ御答ヘ申シマセヌ、要スルニ第一條自身ハ天皇ガ國ノ象徵デアル、ソレガ國民ノ總意ニ基ク、ソレダケノ規定デアリマシテ、其ノ本體ニ付キマシテハ、謂ハバ靜カナル天皇ノ御地位、外カラ見レバ天皇ハ國ヲ表ス姿デアル、斯ウ云フノデアリマスカラ、靜カナ規定デアルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ規定ガアルコトノ結果ト致シマシテ、附隨シテ先ヅ大キナ方向ニ於テ二ツノ流れノ制度ガ考ヘラル、ト思ヒマス、一ツハ公平無私デアリ、八面玲瓏デアリ、國ト本質ヲ同ジウスルガ如クニ考ヘラル、御地位デアリマスガ爲ニ、ソレカラシテ所謂無答實ノ規定、即チ刑罰上ノ問題、政治上ノ問題ニ付テ責任ヲ御負ヒニナルコトハナイト云フヤウナ規定ガ生レテ來ルト思フ譯デアリマス、ソレカラ又此ノ御地位ニ伴ヒマシテ、其ノ尊嚴ヲ擁護スベキ規定ト云フ一段ガ考ヘラレテ來ルノデアリマス、ソレハ何カト申シマスルト、例ヘバ天皇ハ如何ナル敬稱ヲ、陛下ト云フ敬稱ヲ御持ニナルカト云フヤウナ種類ノ問題、又天皇ニ對シテ其ノ御名譽ヲ傷ツケタリナドヲ致シマスレバ、外ノモノヨリモ重ク罰シテ然ルベシト云フ原理等モ、此ノ第一條ヲ根據トシテ説明サレテ來ルモノト思フノデアリマス、ソレガ先ヅ一番直近スル規定デアリマス、次ニ又別口ノ考ヘ方ト致シマシテ、既ニ象徵デアルト云フ御地位ガアリ

マスレバ、唯象徵デアルト云フダケデハ是ハ永續的ニ象徵デアラセラレルニ不當デアリマシテ、ドウシテモ其ノ象徵タルニ相應シキ積極的ナ働キヲ行ハセラル、ノデナケレバ、モノハウマク運バナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ象徵タル御地位ニ伴ツテ、誰ガ見テモソレコソ天皇ノ御働キデアルト思ハル、諸般ノ權能ガ之ニ附隨シテ定メラルベキデアリマス、ソレガ此ノ主トシテ第六條、第七條等ニ於テ生ル、モッデアリマスルシ、マア此ノ席上ニ屬シ御質疑ガ出ヨウトシテ其ノ儘ニナツテ居リマスル、國際關係ニ於テ如何ナル扱ヲ御受ケニナルカト云フヤウナコトモ生レテ來ル譯ナノデアリマシテ、大概其ノヤウナ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、次ニ私ハ認證制デ伺ヒタイノデスガ、是ハ高柳先生カラ御質問ニナルコトニナツテ居リマスカラ、其ノ節高柳先生ノ御アトデ必妥ガアツタラ關聯質問デ述べルコトニ致シマス、私ノ質問ハ是デ止メマス

○委員長(安倍能成君) 村上委員長ガ皇室ノ地位ニ付テ御質問ニナリマシタ、次ノ席ノ佐々木委員ハ皇室制度ノ全般ニ互ツテ御質問ニナリヤウニ察セラレマス、私ハ其ノ間ニ立チマシテ、皇室ノ制度ニ關シテ特ニ疑問ニ感ジマスル所ノ若干ニ付テ質問致シタイト思ヒマス、自然右御兩君ノ御質問ト重複スル所ガアラウカト思ヒマスガ、此ノ段ハ豫メ御了承ヲ願ヒマス、皇室ノ制ト申シマスレバ、固ヨリ天皇制ニ牽聯スルモノデアリマシテ、改正憲法ニ於キマシテモ、從前同様ニ重要ナ意義ヲ有スルモノデアルコトハ、申ス迄モアリマセヌ、改メテ申上ゲル迄モナク、皇室ハ天皇ト皇族ノ全員ヲ以テ構成サレマシタ單一ナ集團デアリマス、恰モ一般人民ニ於ケル家ニ相當スルモノデアリマスル、其ノ家ニハ法律上ノ人格ガアリマセヌト同様ニ、皇室モ亦集團トシテ法律上ノ人格ヲ有スルモノデアリマセヌ、ソレ故皇室ト言ヒマスルノハ、實ハ天皇及ビ各皇族ノコトデアリマス、皇室財産ト申シマスルノハ、天皇ノ御所有ニ屬スル財産即チ御料、及ビ各皇族ノ御所有ニ屬スル財産、即チ皇族財産ノ謂ニ外ナラヌノデゴザイマス、扱、皇室制度ハ大別シマシテ、天皇及ビ皇族ノ權利義務ニ關スルモノト、宮内ノ事務ニ關スルモノト二ツノ部門トスルコトガ出來マス、其ノ宮内ノ事務ニ關スルモノト申シマスル中ニハ、宮中機關ノ組織及ビ權限ニ關スル規程ヲ包含スルノデゴザイマスル、現行ノ皇室典範第一增補第七條第一項ニ

「皇族ノ身位其ノ他ノ權義ニ關スル規程ハ此ノ典範ニ定メタルモノ外別ニ之ヲ定ム」ト規定シテアリマスル、茲ニハ單ニ皇族トアルダケデアリマシテ、天皇ト迄ハ申シテアリマセヌガ、皇族ニ付テ然リ、況ンヤ天皇ニ於テヤト解スベキコトハ、疑ヲ容レザル所デゴザイマスル、サウシテ茲ニ「別ニ之ヲ定ム」ト言ヒマスル皇室典範ニ基ク所ノ規程ガ、其ノ形式ニ於キマシテ、先ツ皇室令デアルベキコトハ、公式令第五條第一項ニ規定スル所デアリマス、又宮内ノ事務ニ關スル規程ガ、是亦其ノ形式ニ於キマシテ、先ツ皇室令デアルベキコトハ、同ジク公式令第五條第一項ノ規定スル所デアリマス、此ノヤウナ次第デアリマスルノデ、皇室制度ハ皇室典範及ビ其ノ系統ニ屬スル皇室令以下ノ規程ニ依ツテ規律サレマシテ、其ノ規程ハ帝國憲法及ビ其ノ系統ニ屬スル法律、勅令以下ノ規程ト、形式上截然區別サレテ居リマス、我々ハ通例前者ヲ皇室法規ト稱シ、後者ヲ普通法規ト稱シマスル、普通法規ニ付キマシテハ帝國議會ノ議決ヲ經ルトアリマスルノト異リマシテ、皇室法規ニ付テハ帝國議會ノ議決ヲ經ルコトノナイノガ特色デアリマス、之ヲ我々ハ通例皇室ノ自主權ト稱シテ居リマス、皇室典範ハ形式上帝國憲法ト對等ノ地位ニ立ツモノトモ認メラレマス、此

ノ點ニ付キマシテハ學者間ニ說ガアリマスルガ、今申シマシタヤウナ見解モ認メラレテ居リマシテ、其處ニ國法ノ二元說、二ツノ根源ト云フ說ガ成立スルノデゴザイマス、皇室法規トシマシテ、皇室典範ノ外ニ、現ニ多數ノ皇室令ガ制定サレテ居リマシテ、天皇及ビ皇族ノ權利義務ニ關シテハ、屢々廣イ範圍ニ互ツテ普通法規ガ準用サレテハ居リマスルガ、實體上特殊ナ規定ノ設ケラレタモノモ少クナイノデアリマス、凡ソ斯クノ如キモノガ從前ノ皇室制度ノ組立ノ大體デゴザイマス、是ヨリ質問デゴザイマシテ、先ツ質問ノ第一點デゴザイマスガ、憲法改正案第二條ニ依リマスレバ、新シイ皇室典範ハ國會ノ議決ヲ經ベキモノトサレテ居リマス、國會ノ議決ヲ經マス以上ハ、ソレハ形式ニ於テ法律デアラウト存ジマス、現行ノ皇室典範ハ形式上帝國憲法ト對等ノ地位ニ立ツモノト解スルコトガ出來タノニ反シマシテ、新シイ皇室典範ハ形式上帝國憲法ノ下ノ位ニ就クモノトナリマシテ、明カニ國法ノ一元化、國法ノ根源ハ一ツトナツタト云フコトヲ認メル外ハナイコトトナルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ皇室制度ニ關シ、皇室典範以下ニ設ケラレルベキ規程ハ、如何ナル形式ニ依ルノデアリマスルカ、新憲法ニ於キマシテハ、從前ノ勅令ニ相當スル所ニ政

令ト云フ形式ヲ立テテアリマスルガ、右ノ皇室制度ニ關スル皇室典範ノ次ノ階級ノ規程ニハ、矢張り此ノ政令ノ形式ヲ與ヘラレルノデアリマセウカ、此ノコトハ後ニ述ベマスル宮中機關ノ機構ニ牽聯スル所モゴザイマスルガ、茲ニ先ツ質問ノ第一點トシテ御尋ネ致シマス

○國務大臣(金森德次郎君) 今御質疑ニナリマシタ皇室令ニ當ルベキ事項ハ、今後如何ナルモノニ依ツテ規定セラル、ノデアラウカ、斯ウ云フ御趣旨ト考ヘテ居リマス、ソレハ稍々根本カラ申上ゲナイト正確ナ期シ難イト申シマスルカ、今回ノ改正ニ依リマシテ村上委員ガ仰セニナリマシタヤウニ、國法ノ一元化トモ云フベキ根本ナル原理ガ樹立セラル、コトニナルテ居リマス、即チ憲法ト皇室典範ガ二元的ニ相對立致シマシテ、一方ガ他ト別個ノ權能ニ依リ設ケラレ、又其ノ間ニ特殊ナ連絡以外ニハ直接ノ連絡ガナイ、斯ウ云フ原理ヲ認メズシテ、憲法ガ唯一ノ成文國法ノ根源デアルト云フ考ヘ方ヲ取ツテ居ルノデアリマス、ソコデ皇室典範ハ仰セノ如ク、憲法ニ基ク法律ノ一種トシテ理解サレテ來ルコトニナル譯デアリマス、現在皇室典範ニ依ツテ規定セラレテ居リマスルモノハ、色々ナモノガ含マレテ居ルヤウニ思ハレマシテ、所謂國法一般ノ體系ニ屬スベ

キモノモ、事皇室ニ關係スルトナレバ、皇室典範ニ含マレテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ皇室御一家ニ關スルコトモ、皇室典範ノ中ニ含マレテ居リマス、今回ノ憲法改正案ニ於キマシテハ、天皇御一家ニ互リマスルコトハ、若シソレガ私的關係ト見得ル範圍ニ於キマシテハ、直接ニ國法ノ關與スル所デハナイノデアリマスルガ故ニ、別個ノ範疇ニ其ノ規律ガ屬シテ行クモノト思フノデアリマス、謂ハバ皇室內部ノ御規定トデモ謂フモノニナラウカト思ヒマス、他面國法ノ體系ノ中ニ屬スベキ本來ノ性質ノモノハ、或モノハ皇室典範ト稱スル法律ニ盛込マレルコトト思ツテ居リマス、ソレハ此ノ改正案ヲ認メテ居リマスルガ如ク、皇位繼承、攝政ト云フコト及ビ之ニ關聯ヲ致シマスル諸般ノ重要規定ガ、法律デアアル所ノ皇室典範ニ盛込マレマス、又他ノ一群ノ國法の規定ハ、皇室典範デハナク一般ノ法律ノ中ニ盛込マレルト思フノデアリマス、ソレハ例ヘバ皇族等ニ關シマスル一般ノ法律規定、例ヘバ民法上ノ規定、其ノ他之ニ類スル規定ト云フモノハ、特殊ナル内容ヲ持ツコトハアリ得マセウケレドモ、規定ト致シマシテハ、一般ノ法律ノ中ニ入ツテ來ルモノト考ヘテ居リマス、斯ク考ヘテ來マスト、理論的ニハ皇室ニ關スル制度ガ、若シ法的ノモノデアアルナ

ラバ、政令ノ中ニ入ツテ來ル餘地ハゴザイマセヌ、ト申シマスルノハ國法的ノモノデアレバ、國ノ法律系統ノ中ニ入ツテ來ル、ソレカラ國法のデナイモノデアレバ、皇室ノ謂ハバ内部ノ御定メニナルベキ事項デアアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、併シ法律系統ノ中ニ入ツテ來マスルモノノ中デモ、現實ニハ事稍々細目ニ互ル等ノ爲ニ、皇室典範其ノ他ノ法律ニ直接ニ規定セラレナイモノハ、固ヨリアリ得ルノデアリマシテ、ソレヲ如何ナル形式ノ法律ニ盛込ムカト云フ問題ニナルノデアリマスルガ、是ハマダ正確ニハ定メテ居リマセヌ、大體カラ言ヘバ仰セノ如ク、政令ノ中ニ盛込ムノデアリマス、併シ其ノ外ニモ下級ノ命令ノ形ガ、此ノ憲法デ設ケラレナイ譯デアアリマセヌカラシテ、尙別ノ考慮ヲ致スコトモアリ得ルト思ヒマシテ、今ノ處ハ政令ト考ヘテ居リマス

○村上恭一君 次ノ點ニ入りマス、皇族ハ御身分上、天皇ト特ニ親近ナ關係ニアラセラレル御方デアリマシテ、皇族男子ハ皇位ヲ繼承スル資格ヲ有セラレルモノデアリマス、皇族女子ハ皇位繼承ノ資格ハナイトシマシテモ、皇族男子ノ配偶又ハ直系卑屬デアラセラレマス、サウシテ皇位ノ純潔サハ飽ク迄之ヲ保持セネバナリマセヌ、ソレ故皇族ハ國法上、一般ノ

人民トハ異ツタ地位ヲ有セラル、モノトスルコトガ當然デアリマス、憲法改正案、衆議院修正ノ第十四條第二項ニハ「華族その他の貴族の制度は、これを認めない」ト斯ウ規定シテアリマスガ、皇族ニ於テハ固ヨリ貴族ヲ以テ目スベキ限リデハナイト存ジマス、茲ニ於テ皇族ノ範圍ヲ適當ニ限定スルコトガ必要デアリマス、從前ノ如ク、皇室ニ御生レ遊バサレマシタ御方ハ、嘗テノ天皇ヨリ百世ノ御末裔ニ至リマスル迄モ皇族デアルト云フ、所謂百世皇族ノ原則ハ、皇室ノ繁榮ノ爲ノ原則トシテハ固ヨリ結構デアリマスルガ、茲ニモ亦相當ナ疏通ノ途ガナクテハナラヌト考ヘラレマス、即チ現行皇室典範第一增補第一條及ビ第二條ニ規定シテアリマスル如キ、皇族男子ノ臣籍降下ノ特例ノ必要性ガ認めラレドゴザイマス、サウシテ又同ジク皇室典範增補第六條ニ規定シテアリマスル如ク、一旦皇室ヨリ出デテ、一般人民ノ列ニ入ツタ御方ハ、女子ガ婚姻ニ依ツテ再ビ皇室ニ入ル場合ヲ除クノ外ハ、復皇室ニ戻ラセラレコトヲ得ナイモノトシマシテ、皇室ト一般人民トノ間ノ境ヲ立テテ、其ノ出入リヲ制限スルト云フコトガ必要デアリマス、要スルニ皇族ノ範圍ト云フ課題ニ付キマシテ、政府ハ如何ナル見解ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、尙續イデハ

皇室ニ關スル根本ノ問題デアリマスルガ、將來ソレハ如何ナル見解ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、尙續イデハ皇室ニ關スル根本ノ問題デアリマスルガ、將來ソレハ如何ナル規程ヲ以テ之ヲ定メラレルノデアリマセウカ、私ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、當然新シイ皇室典範ヲ以テ規定サルベキモノト思ハレドゴザイマス、ニモ拘ラズ先ニ當委員會ニ配付ヲ受ケマシタ新シイ皇室典範ノ要目ニハ、唯皇位繼承ノコトト、攝政ノコトトガ擧ゲテアルダケデアリマス、其ノ他ノ事項ハ一切切ゲテアリマセヌ、ソコデ是ガ私ノ疑問トナルノデゴザイマス、以上ノ二點ニ付キマシテ御尋ネ致シマスルトガ私ノ質問ノ第一點デゴザイマス

○國務大臣(金森德次郎君) 皇室ノ範圍ニ付キマシテハ、此ノ問題モ矢張り憲法實施ニ伴ヒマシテ必要ナル事項トシテ、現在臨時法制調査會ニ諮問ヲシテ、各方面ノ方ニ案ヲ練ツテ居ツテ戴キマスノデ、今日の確ナル所見ハ申上グルニ尙時期尙早アルト考ヘテ居リマス、併シナガラ私が抱懷シテ居ル考ヘ方、是ハ決シテ無責任ニ申上グル譯デハアリマセヌガ、假ニ私ノ抱懷シテ居ル考ヘ方ヲ申スコトヲ御許シ下サルナラバ、大體今村上委員カラ仰セニナリマシタヤウナ方法ヲ以テ諸般ノ事項ヲ規定シタイト云フ考ノ下ニ研究ヲ進メテ居リマス、例ヘバ今仰セニナリマシタ百世皇族ト申シマスルカ、ト云フヤウナ考ヘ方ハ必ズシモノト道理ニハ合ハナイノデアリマシテ、之ニ對シマシテ皇位繼承及ビ攝政ノ任ニ當ラセラルベキ適當ナル人々ノ範圍ト云フ見地カラ色々ナ特別ナル考慮ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトモ考ヘテ居リマスルガ、唯現實ニ如何ナル制度ヲ設クベキカト云フコトハ、今日マダ御明言ヲ申上グルコトハ出來マセヌ、併シ大體ニ於テ村上委員ノ仰セニナル所ト實質ニ於テハ、異ル所ハナイト思ツテ居リマス、又一度皇族ノ外ニ出ラレタ方ガ御戻ニナラレルコトハナイト云フ原則ノ如キモ、私ハ當然尊重スベキ原則ト考ヘテ居リマス、次ニ斯様ナ皇室ノ範圍ヲ規定シ、皇族ニ付キマシテノ諸般ノ規程ヲ設ケマスルコトハ、如何ナル形式ノ法ヲ以テ定ムベキカト云フ御質疑デアリマシタガ、是ハ會テ衆議院ノ委員會ニ政府カラ參考トジテ出シマシタ謄寫刷ノ物ノ中ニハ、成ル程仰セノ通り皇位繼承ト攝政ノコトノミシカ掲ゲテハアリマセヌ、ソレハ其ノ場合ニ於キマシテ衆議院ニ於テ持ニ重點ヲ置カレマシタ點ヲ掲ゲタ譯デアルガ故ニ、斯様ナ結果ニナツタノデアリマシテ、今考慮ノ中ニゴザイマスル道行キデ言ヘバ、斯様ナコトハ矢張り皇室典範、今回ノ憲法改正案ニ基ク法律

等ノ地位ヲ御保チニナルコトハ理ノ當然ト考ヘテ居ル次第デアリマス、併シナガラ皇族ハ皇位ノ繼承者デアリ、又攝政デ在ラルベキ方デアリ、又ハソレト密接ナル地位ニ在ラセラル、方デアリマスルガ故ニ、其ノ見地ニ於キマシテ、特別ナル理由ノ下ニ特別ナル法律上ノ取扱ガアツテ然ルベキモノト思ツテ居リマス、從ツテ村上委員ノ仰セラレマシタ所ニ對シマシテハ、原理的ニハ左様デアリマス、御答ヘシテ宜イト思ツテ居リマス、併シ唯特ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、現在ニ於キマシテ皇族ノ方ニ諸般ノ法律ノ上ニ於テ差別ヲ致シテ居リマスル根據ガ、必ズシモ私が今申上ゲマシタ理由トビツタリ當ツテハ居リマセヌ、ソコデ如何ナル部分ニ於テ特別ナル地位ヲ認ムベキカ、如何ナル部分ニ於テ國民一般ト同ジ立場ニ置クベキカト云フコトニ付キマシテハ、此ノ新タナル標準ニ照ラシテ研究ヲ日具體的ニ研究ガ進ミツ、アル次第デゴザイマス

○村上恭一君 次ニ皇室ノ財産關係ニ付テ質問致シマス、憲法改正案、衆議院修正ノ第八十八條ニ依リマスレバ、總テノ皇室ノ財産ハ國有トナリ、總テノ皇室ノ經費ハ國ノ豫算ニ計上シテ國會ノ議決ヲ經ルコトナルノデアリマスル、茲ニ皇室ノ財産トアリマスルノ

ハ、曩ニ申述べマシタ如ク、天皇ノ御所有ニ屬スル御料ト各皇族ノ御所有ニ屬スル皇族財産トヲ包括スルモノデハアリマスルガ、事實上主要ナルモノハ御料デアラウト存ジマスル、古ヨリ君主國デハ、天子ハ國ヲ以テ家ト爲スト云フ觀念ガ行ハレテ居リマスル、此ノ觀念ハ、君主ハ私ニ一物ヲキ所有スルコトナク、其ノ代リ君主ノ必要ナ費用ハ一切國民ガ之ヲ負擔スルト云フコトヲ言フノデアルト私ハ解シマスル、君主ニ取ツテ必要ナ經費ハ全國民ガ喜ンデ之ヲ上納スルト云フコトヲ意味スル點ニ於キマシテ、君主國ノ本來ノ姿ヲ巧ミニ言ヒ表シタモノノヤウニ思ハレマスル、ソレ故本案ノ第八十八條ハ、此ノ君主ハ國ヲ以テ家ト爲スト云フ觀念ニ適合スルモノトシマシテ、趣旨ニ於テハ相當理由ノアルモノト私ハ考ヘマスル、一部ノ人々ハサウナツタ曉ニハ、例ヘバ天皇ノ常ノ御殿ノヤウナ建物モ國有トナル、天皇ガ之ヲ借用サレルト云フ姿トシテ、ソレハ餘リニ畏多イデハナイカト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルノデアリマスル、成ル程其ノ間ノ法律的ノ成リ立チヲ言ヒ究メマスレバ、或ハ貸借借デアルトカ、或ハ使用貸借デアルトカ云フヤウナ契約關係ノ存在ヲ認メラレルコトニナルノデアリマセウガ、國ノ經濟ト皇室ノ經濟トノ間ニハ、本來頗ル溫イ繋リガアル

ノデアリマスルカラ、其ノヤウナ冷ヤカナ法律的ノ論議ハ多ク顧ミ慮ルニハ當ラナイデアラウト私ハ考ヘマスル、處デ、過日衆議院ニ於ケル憲法改正案特別委員會ノ最終ノ日ニ於キマシテ、其ノ委員長ト金森國務大臣トノ間ニ取り交ハサレタ問答ノ一節トシテ傳ヘラレル所ニ依リマスレバ、金森國務大臣ハ天皇ノ御財産ノ中デ、公ケノ資格ニ於ケルモノハ國有トナルガ、私ノ御資格ニ於ケルモノハ依然天皇ノ御財産トシテ存續スル、サウシテ天皇ノ御財産トシテ存續スルモノハ一般ノ人民ノ財産ト同様ノ取扱ヲスルト云フヤウナ趣旨ヲ答辯サレタヤニ聞クノデゴザイマス、果シテサウト致シマスレバ、ソコニ私ノ疑問ガ生レテ來ルノデゴザイマス、元來皇室ノ財産ハ其ノ性格ニ於キマシテハ皇室ノ私有財産デアルト私ハ思ヒマス、ソレ故ニコノ從來皇室法規タル皇室財産令ニ於キマシテ皇室ノ財産ニ付テ御料及ビ皇族財産ニ付キマシテハ頗ル廣イ範圍ニ互ツテ普通法規タル民法第一編乃至第三編商法及ビ附屬法令ガ準用サレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ天皇ノ御財産ノ中ニ更ニ公私ノ御資格ニ依ツテ區別ヲ設クルト云フ其ノ區別ハ果シテ如何ナル標準ニ依ツテ與ヘラレルノデゴザイマセウカ、サウシテ天皇ノ所謂私ノ御資格ニ於ケル財産ハ一般人民ノ財産ト同様

ノ取扱ヲスルコトトシマスレバ、例ヘバ、是ハ極端ノ場合ヲ想像スルノデアリマスルガ、天皇ノ御財産ト一般人民財産トノ間ニ爭ヒヲ生ジ、ソレガ遂ニ民事ノ訴訟トナツタヤウナ場合、此ノ訴訟ハ全然普通ノ手續ニ依ツテ處理サレルノデアリマセウカ、サウトシマスレバ、ソレコソ如何ニモ畏イ次第デアラウト私ハ存ジマスル、此ノコトハ前ニ舉ゲマシタ質問ノ第三點、天皇ノ權利、義務ニ關スル實體的ノ特別規定ノ問題ノ一部分ヲ爲スモノデアリマスルガ、茲ニ特ニ重ネテ質問スル次第デアリマス

○國務大臣(金森澤次郎君) 第一點、第八十四條ニ主トシテ規定シテ居ル所ノ、又第八條トモ關係ヲ持ツテ居リマス所ノ皇室財産ニ付テ御尊ガアリマシタガ、仰セノ通り皇室財産ハ、從來ハ其ノ如何ナルモノタルヲ問ハズ、私有財産ノ如キ考ヲ以テ進マレテ居ツタト云フコトハ正シイ觀方デアラウト思ヒマス、併シ其ノ本質トノ意味ハ公ケニ用ヒルト私ニ御用ヒニナルトノ二ツノ區別ガアツタコト、又公ケニ御用ヒニナル所ノ財源ヲ爲シ、或ハ私ニ御用ヒニナル財源ヲ爲シテ居ル點ガアツタコトハ認メザルヲ得ナイト思フノデアリマス、大體古クカラ發達シテ參リマシタ所ノ此ノ君主政治ノ國ニ於キマシテ、世ノ中ノ轉換ニ從ツテ斯様ニ此ノ憲法ノ考ヘテ居リマスル

ヤウナ財産ノ新タナル解釋ト、之ニ依ツテ生ズル變化ガ起ツテ來ルコトハ自然ノ道行キデアリマシテ、事例ノ多ク示ス所デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、今回ノ此ノ憲法ノ改正案ニ於キマシテモ、過去ノ傳統ヲ踏襲シツ、之ニハツキリ事ノ性質ヲ見定メマシテ、天皇ガ公ケノコトニ御用ヒニナツテ居ル財産、又ハ主トシテ其ノ財源トシテ御用ヒニナツテ居ル財産ト云フモノハ、是ハ天皇ニ私ナシ、國ノコトハ國ノ費用ヲ以テスベキモノデ、天皇ノ御費用ヲ以テ、國費用ヲ御支辨ニナルベキ譯デハナイ、斯ウ云フ見地カラ國ニ移スベキモノトシタノデアリマス、併シ他ノ一面ニ於キマシテ、天皇ニモ全ク我々ト類似スル純粹ノ私生活ガアルノデアリマシテ、其ノ範圍ニ於テ御使用ニナリ、又其ノ範圍ノ財源トセラル、所ノ財產ガアリ得ルノデアリマス、ト云フコトカラシテ天皇ノ私的財産ト云フ觀念ハハツキリ見定メタ譯デアリマス、八十四條ノ言葉ハ誠ニ其ノ複雑ナル内容ヲ言ヒ現スニハ適シテハ居リマセヌケレドモ、前後ノ關係ヲ綜合致シマシテ、左様ニ讀メルト信ジテ、衆議院ノ修正ニモ御同感ヲ申サゲマシタシ、又遡ツテ起案ノ文字モ左様ナ意味ヲ含ンデ居ツタ譯デアリマス、此處迄思想ガ展開ラシテ行キマシテ尙ハツキリ致シマセヌ問題ハ、ソレ

デハ其ノ公的財産ト私的財産ハ現實ニハドウシテ分ケラレルカト、斯ウ云フ問題ガ起ラウト思ヒマス、併シ是ハナカノ簡單ナ議論一片デハ參リ難ネルノデアリマシテ、現在ノ皇室ノ財産ノ動キ方ヲ窺カニ、イヤ違ヒマシタ、傍カラ拜聴致シマス、相當錯雜シタモノデアリマス、之ヲ憲法ノ認メル簡單ナ形ニ組直シマスニハ、ソコニ處分的ナ色々ナ考慮ガ要ルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、兎ニ角其ノヤウナ方針ヲ以テ天皇ノ私的財産ト云フモノハ、ハツキリ浮ビ上ルノデアリマス、ト致シマスト其ノ私的財産ノ中ニハドウ云フモノガアルカト言ヘバ、ハツキリ言ヒ究メラレマスモノハ、御身邊ニアル所ノ、日常私用ニ御用ヒニナル財産ト、斯ウ云フコトニアマ言ヘバ、其ノ部分ハハツキリ致シマス、或ハ國ノ方カラ調出致シマス所ノ御内帑金ノ如キモ或場合ニ蓄積サレマスレバ其ノ方面ノ財産ノ内容トモナリ得ルモノト考ヘテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ斯様ニシテハツキリ天皇ノ私有財産ト云フ觀念ガ樹立致シマスレバ、茲ニ村上委員カラ先程御質疑ニナリマシタ通り、ソレト他ノモノトノ間ニ民法上ノ法律關係ガ起ルノデハナイカ、是ハ御尤デアリマシテ、其ノヤウナ問題ガ起リマシタ時ニハ、之ヲ裁判ニ依ツテ解決スル段階モ現レテ來ル

ト思ヒマス、天皇無答責ノ規定ハ新様ナ場合ニ迄ハ當嵌ラナイモノト考ヘテ居リマス、然ラバ其ノ場合ノ裁判ノ手續、例ヘバ其ノ訴訟手續ヲ現實ニ擔任スル者ハ何人ガ之ニ當ルベキカト云フヤウナ問題ニナリマスルト、是ハ象徴タル御地位ニ顧ミテ、特別ナル留意ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマシテ、今日ソレノ研究ハ進行中デアリマシテ、決シテ恐ラクハ御趣旨ニ反スル方面ニハ向ハナイモノト考ヘテ居リマス

○村上泰一君 只今ノ論點ハ頗ル重要ナモノデアリマスノデ、只今ノ金森國務大臣ノ御説明ニハ私滿幅ノ賛意ヲ表シ難イ所モアリマスルガ、併シ其ノ御答辯ハ一應了承シテ置キマス、次ニ移リマスノデス、明治十八年十二月憲法實施ノ準備工作ノ一ツトシマシテ、宮中ノ機關タル宮内省ガ一般國務機關タル内閣ノ外ニ置カレマシテ、茲ニ所謂宮中府中ノ區別ヲ明カニスル原則ガ確立サレタノデゴザイマス、次ニ此ノ頃聞ク所ニ依リマスレバ、金森國務大臣ハ將來ニハ宮中ノ機關モ亦一種ノ國務機關トナルト云フコトヲ言明サレタト云フコトデゴザイマス、ソレハ言ヒ換ヘレバ宮中府中ノ區別ヲ解消スル趣旨ト解サレルガ、ソレハ果シテ事實デゴザイマセウカ、果シテ事實ナリトスレバ將來宮中ノ機構ハ如何ナル機構トナルノデゴザイ

マセウカ、ソレハ國ノ立法部デモナケレバ司法部デモナイ、行政部ニ屬スル外ハナカラウト思ヒマスルガ、其ノ結果、宮中ノ機關ハ矢張り内閣ニ隸屬スルモノデゴザイマセウカ、宮中ノ最高機關トシテ宮内大臣ガ設ケラレマスレバ、ソレハ内閣ニ列スル一國務大臣トナリマスルノデアリマス、若シ又宮内大臣ヲ設ケナイトシマスレバ、宮中ノ機關ガ内閣總理大臣ノ管理ニ屬スル外局ノ如キモノトナリマシテ、之ニ關スル責任ハ舉ゲテ内閣總理大臣ガ主管大臣トシテ、之ヲ負擔スルノデゴザイマセウカ、是亦事ノ詳細ハ、今日之ヲ明確ニ豫定スルコトハ出來ナイニ違ヒアリマセヌガ、大體ノ構想ニ付キマシテ現政府ノ御見解ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、是ガ私ノ質問ノ第五點デゴザイマス

○國務大臣(金森德次郎君) 御尋ニナリマシタ點ハ、仰セノ通りマダハツキリ政府トシテハ決メテハ居リマセヌ、併シ此ノ憲法ノ建前ト致シマシテ、自ラ歸着スル方向ハ定ツテ居ルモノト考ヘテ居リマス、今日私ハ現在ノ宮内省ノ仕事ヲ詳シクハ存ジマセヌケレドモ、今日宮内大臣ノ所管セラレテ居リマスル事務ハ、恐ラク新シキ憲法ノ立場カラ判斷ヲ致シマスレバ、公ケノ地位ニ於カセラレテ居ル天皇ト、私ノ地位ニ於カセラレテ居ル天皇トノ雙方ニ互ツテ居ルモ

ノト考ヘテ居リマス、其ノ私ノ地位ニ於カセラレテ居ル皇室ノコトニ付キマシテハ、是ハ政府ハ直接關與スル所ハゴザイマセヌ、唯公ケノ立場ニ於テ、即チ國ノ象徴デアラレ、又是ト關聯シテ憲法六條、七條ノ權能ヲ御行使ニナリマスル範圍ニ於キマシテハ、全ク國ノ仕事トシテ諸般ノ附隨事務ヲ執行スベキモノト考ヘテ居リマス、デアリマスカラ其ノ公ケノ方面ニ於キマスル皇室ノ事務ニ於キマシテハ、從前ト面目ヲ一新セザルヲ得ナイ、モノト思ツテ居リマス、マダ茫漠タル考デゴザイマスルガ、左様ナ事務ノ中ニ於キマシテ、純粹ノ一般國務ニ移シテ宜イモノモアルカモ知レヌト思ヒマス、例ヘバ外部ノ御警衛ノ事務ト云クヤウナコトニナリマスルト、是ハ一般ノ行政ノ中ニ融込シテモ宜イカモ知レヌト思ヒマス、サウ云フコトモ問題ニハ供シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ皇室ニ直接關係アル所ノ公ケノ事務ニ付キマシテハ、是ハ御説ノ如ク、何等カ特別ナル行政ノ主宰者ガアルベキ譯デアリマシテ、ソレヲ如何ナル名ニ依ツテナスベキカ、如何ナル組立テノモノニ依ツテナスベキカト云フコトハ、ハツキリ致シマセヌガ、國務大臣デナイコトハ恐ラク自然ノ結果デアラウト思ヒマス、又仕事ガ内閣ニ屬スル、即チ廣イ意味ノ行政ニ屬スルト云フコト

モ、是亦當然ノコトト思ヒマス、ソレヲ擁シテ行キマスルト、内閣ノヤウナ程度ノ高イ、外局ノナモノトシテ、之ヲ構想スルコトガ一番筋ノ通ルモノデハナイカ、現在ノ處デハ左様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、之ヲモツト簡單ニ申シマスルト、皇室ニ關スル事務ハ、一部ハ事ニ依ルト普通ノ國政事務ノ中ニ流レ込ムノデハナイカ、一部ハ純粹ノ皇室ノ御内輪ノ仕事デアラウカ、サウシテ殘ル公ケノ事務ト云フモノニ付キマシテハ、内閣ノ總理大臣ノ所管ニ屬スル、相當ノ高級ナル官廳ガ出來テ、此處ニ於テ擔任セラレルト云フコトニナルノデハナカラウカ、ソレハ國務大臣デハナイ、コンナ御答ニナルト存ジマス

○村上泰一君 其ノ外、皇室ノ制度ニ關シマシテ、疑問ヲ感ズル所ハ多クナイデハアリマセヌガ、斯様ナ具體的ナ個々ノ事項ニ付キマシテ、餘リニ微ニ入り細ニ互ルコトハ此ノ機會ニ於ケル質問トシテハ稍々當ヲ得ナイ嫌ヒガナイデハアリマセヌカラ、私ノ質問ハ一應之ヲ以テ終ト致シマス、金森國務大臣ハ新憲法ニ於ケル天皇ノ御地位ヲ説明シテ、屢々天皇ハ國民ノ心ノ憧レデアルト云フ言葉ヲ用ヒラレマシタ、ソコデ世間デハ取沙汰シテ、此ノ憲法ハ憧レ憲法ナドト申シテ居リマス、果シ斯様ナデ

言ヒ現シヲ以テ、新憲法ニ於ケル天皇制ノ根本義ヲ、國法的ニ十分説明スルコトガ出來ルカドウカ、ソレハ私保障ノ限リデハアリマセヌガ、天皇及ビ其ノ御一家タル皇室ガ、全國民ノ心ノ憧レデアルコトハ間違ヒナイ所デアリマス、正シク國民ト僞リナキ信念ニ於テ飾ル所ナキ情操ニ於テ、紛レモナイ事實デアリマス、從ツテ皇室ノ制ニ關シマシテハ、形式ハ兎モ角モ、實體ニ於テ相當ノ規定ヲ設ケラルベキコトガ、極メテ當然ノ次第デアルト申サネバナリマセヌ、時ノ政府ガ此ノ事ニ付キマシテ、十分ノ用意ヲ以テ最善ノ措置ヲ取ラレムコトヲ、私ハ切ニ希望致シマス、私ハ此ノ希望ヲ申述ベテ、此ノ機會ニ於ケル私ノ質問ヲ結了致シマス

○委員長(安倍能成君) ソレデハ休憩致シマス、一時十分ヨリ再開致シマス
午後零時九分休憩
午後一時二十二分開會
○委員長(安倍能成君) 會議ヲ再開致シマス、佐々木委員、總理ガ丁度豫算委員會ニオイデニナツテ居リマスノデ、掛合ツテハ居マスケレドモ、金森國務大臣ハ御出席ニナツテ居リマス
○佐々木委員 一 我ハ總理大臣ニ御願シタイ部分ガアルト云ツテ置キマシタケレドモ、ソレハ必ズシ

モ總理大臣ノ御答辯ヲ得タイト云フ譯デハナイノデ、金森國務大臣デモ宜イノデス、總理大臣ニ聽イテ裁キタイト思ツタノデス、ソレデ矢張り順序ヲ追ツテヤリマス、第一ト致シマシテハ天皇ニ關スル國家制度ト國民ノ意思、斯ウ云フ風ニ揭ゲテ置キマシタケレドモ、其ノコトニ付テ又色々質問ヲ分ツテ御尋シタイノデスガ、第一ノ質問ノ點ハ天皇ニ關スル國家制度ト國民ノ意思、斯ウ云フ風ニ題シテアリマス、其ノ題ノ意味ニ色々點ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、其ノ一ツト致シマシテ、金森國務相ガ先日來色々機會ニ於テ御答辯ト申シマスカ、御説明ヲナサイマシタ中ニ、現行憲法ニ依ツテ定ツテ居リマスル所ノ天皇ノ地位ト云フモノニ關シテ、從來ハ神秘性デアアル、或非現實性デアツタ、ソレヲ今度改メテ神秘性ヲ何ト申シマスカ、無クシ、又現實性ヲ明カニスルト云フヤウナコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、ソレデ私ハ先ヅ第一ニ其ノ所ヲ意味ハ能ク分ラナイケレドモ、從來ト云フヨリモ、今日マダアル憲法デアリマスガ、今日アル憲法ニ於テ天皇ガ御持チニナツテ居ル、或ハ又憲法ノ方ガ、法制ガ定メテ居リマス所ノ天皇ノ地位迄神秘性ダトカ、非現實性ダトカ云フコトハ、一體ドウ云フコトヲ言フノデアアルカ、其ノコトヲ一ツ御尋シタイト

思ヒマス、私自身ノ考ヲ先ニ申シマスレバ、決シテ神秘性ダトカ非現實ダトカ云フヤウナコトデハナイト思ツテ居リマスカラ、ソレヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

○國務大臣(金森樸次郎君) 私ガ前ニ御説明ヲ申上ゲテ居リマシタノハ、今日ノ天皇ニ對スル基本的ナ原理ガ神秘性ニ基イテ居ルト言ツタ覺エハアリマセヌ、神秘性ヲ含ンデ居ル考ヘ方、ソレカラ現實的ナ考ヘ方ニ依ルモノト二ツノ思想ノ流レガアツテ、過去ニ於テハ神秘的ナ考ヘ方ニ依ルモノノ方ガ強カツタノデアリマス、又ソレガ或場合ニハ殆ド全部デアアルカノ如キ妄ヲ生ジタ、斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス、ソコデ其ノ御質疑ニ當リマスル神秘性ト云フヤウナコトヲ申シマシタ私ノ心持ヲ申シマスルト、天皇ガ統治權ノ總攬者デ御アリニナルコトハ固ヨリ憲法ニ決ツテ居リマス、而シテ何故ニ斯クアルカ、何故ニ是ガ國民ヲ其ノ文字ノ内容ニ從ツテ拘束スルカト云フコトノ根源トナル考ヘ方ガ結局神勅トカ、或ハ之ヲ取園ンデ居ル所ノ神話トカ云フモノニ對スル國民ノ考及ビ其ノ考ヲ利用シテノ説キ方ガ根據ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ申シタノデアリマス

アルト、サウ云フ意味デ理解シテ御尋シタノデアリマス、處ガ私ノ考ニ依リマス、今日天皇ガ統治權ノ總攬者トシテ御持チニナツテ居ル地位、ソレニ從ツテ我々ガ天皇ノ御行爲ト云フモノニ、我々ノ行爲ノ法的羈絆力ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、實ハ私ノ考ニ依リマスレバ、神勅ニ依ルトカ、サウ云フコトデハナイト私ハ思ヒマス、殆ド其ノ神勅ナルモノヲ思ツテ居ル人モ何モナイノデアリマシテ、今日ハ唯私ガ我が國家ノ制度上天皇ガサウ云フ地位ヲ御持チニナツテ居ル、サウシテサウ云フ位置ニ於テ我々ニ色々命令ト申シマスカ、或ハ又指揮ヲナサイマスルトカ、詰リ我々ガ天皇ノ意思ニ從フト云フコトノ根源デアツテ、ソレガ神勅ニ依ルトカ何トカ云フコトハソレハ固ヨリサウ云フ風ニ説明スル人モアリマセウシ、又サウ云フヤウナ事柄デ説明ヲシテ歷史的ニ言ツテモ宜イト思ヒマスガ、併シナガラ其ノ天皇ガ統治權ノ總攬者トシテ我々ニ仰シヤルコトガ我我ヲ拘束スル、其ノ根據ガサウ云フ神勅ニ依ツテ居ルノダト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルト云フコトハ、我々トシテハ當然理解出來ナイ、固ヨリ色々歴史ヤ何カデ、神勅ナドヲ説明セラレルコトハアリマセウケレドモ、私ハ一般國民ハサウ云フ神勅ニ依ルノダトカ、サウ云フヤウナコトカラ天皇ノ意

思ニ從ツテ居ルト云フヤウナ思想ハナイト私ハ思ヒマスガ、併シソコノ所ハサウダト言ヘバソレ迄ノコトデアリマスケレドモ、私ハサウハ思ハナイ、ソレデ第二點ニソレハ支障アリマセヌガ私ハサウデナイト思フケレドモ、第二點ニ御尋ネ致シマスノハ、天皇ガ統治權ノ總攬者トシテ、我々ノ行動ヲ規定セラレルヤウナ、サウ云フ御力ヲ御持チニナツテ居ルト云フコト、ソレハ即チ制度デスガ、ソレハ矢張り制度ニ據ツテ居ルノデアツテ、其ノ制度ト云フモノハ、何モ帝國憲法ト云フ成文法規ト云フ意味デハ固ヨリアリマセヌガ、要スルニ我々國ノ古來カラアル、サウシテ今日帝國憲法ト云フ成文トシテ現ハレタ、サウ云フ制度ニ據ツテ居ルノデアアルガ、元來此ノ制度ト云フモノガ制度一般トシテ見テ、我々國民ガ之ヲ據ツテ居ルカラ存續シテ居ル、ソレデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテハ天皇ノ統治權總攬者トシテ、制度ニ依ツテ定マツテ居ルト云フモノ、結局ハ國民ノ意思ニ據ツテ居ルノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ解釋シテ居ルノデスガ、ソコデサウ云フ解釋ハ誤ツテ居ルカドウカト云フコトヲ、第二點トシテ御尋ネ致シタイノデス、其ノコトニ付テチヨット私ノ考ヲ一言言ハシテ戴キマスガ、私ノ考ニ依リマスレバ、凡ソ國家ノ制度ハ如何ナル内容ノモノ

デアリマシテモ、國民ガ之ヲ據ツテ居ルト云フ言葉ヲ私ハ豫テ使ツテ居リマス、之ヲ據ツテ居ルカラシテ存在シテ居ル、又之ヲ據ツテ居ル限リニ於キマシテ存續スルノデアリマス、從ツテ國民ガ其ノ制度ヲ擔ハナイヤウニナツタラ、其ノ制度ト云フモノハ結局廢滅ニ歸スル、其ノ廢滅ニ歸スルト云フハ立法的、成文法的ノ手續ニ依ルト云フヤウナコトヲ必ズシモ言フノデアリマセヌガ、サウ云フ制度ハ何時カ立法的ニ廢止サレルヨリ外ハナイノデアアルシ、又廢止サレナクテモ結局皆ガ從ハヌト云フ意味ニ於テ廢滅ニ歸スル、此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ國家ノ制度ハ、常ニ國民ノ意思ト云フモノガ其ノ存續ノ基礎ダト、斯ウ云フ言葉ヲ平常カラ使ツテ居ルノデアリマス、ソコデ國家制度ノ國民的基礎ト云フヤウナ言葉ヲ私ハ使ツテ居リマスガ、ソレハ憲法ダラウガ、他ノ民法、商法ダラウガ同ジコトデアアル、從ツテドウ云フ制度ガドウ云フ規定ヲ設ケテ居ルト云フ、規定ノ内容トハ無關係デアリマシテ、凡ソ一般ノ制度ハサウ云フモノダト思ヒマスガ故ニ、天皇ト云フ制度デモ矢張りソレガ存續スルト云フコトノ爲ニハ、其ノ天皇ト云フ制度ヲ擔ツテ居リマスル所ノ我々國民ガ、擔ハナクナツツテ居ル者デアリマス、併シサウ

云フ風ニ考ヘルコトハ金森國務大臣ノ御考デハ御賛成デアリマゼヌデセウカ、或ハ餘程違フテ居リマセウカ、ソレダケノコトヲチヨツト……

○國務大臣(金森德次郎君) 擔フト云フ比喩的ナ言葉ヲ御使ヒニナリマシタカラ、尙多少先ノ發展ヲ懸念シテ居リマスルケレドモ、今迄伺ヒマシタ範圍ニ於テハ私モ左様ニ考ヘテ居リマス

○佐々木惣一君 サウデアリマスカ、擔フト云フコトハ私モ文字ニ甚ダ困ツテ居ルノデスガ、只今私ノ申上ゲマシタコトデ大體分ルト思ヒマスケレドモ、ソレハ國家制度ノ内容タル規定其ノモノトハ關係ナイコトデアリマスカラ、ソコデ斯ウ云フ風ニ考ヘマス、ソレハ天皇ガ、今、現ニ統治權ノ總攬者デアルト云フヤウニ制度トシテハナツテ居ルト云フヤウナコト、ソレカラ又今度ソレヲ變ヘマシテ、サウシテ或一人ノ方ガ天皇タル位置ニ即カレルト云フコトガ、國民ノ意思ニ基クト云フヤウナコトデ、サウ云フコトハ全然關係ガナイコトデアル、内容トハ無關係デアル、ソレデ其ノ意味ニ於キマシテ、今回ノヤウニ或御一人ガ天皇ト云フ地位ニ即カレルトコトガ、國民ノ總意ニ依ルト云フコトハ、是ハ矢張り制度ナンデスカラ、サウ云フ制度ニスルコトモ、或ハ又從來ノヤウニ天皇ガ別ニ國民ノ意

思ニ依ツテ、サウ云フ總攬者ノ地位ニ即カレルトデハナイ、當然ニ、法ニ依ツテサウ云フ御血統ニ出デラレテ居ルト云フガ故ニ、

天皇ノ地位ニ即カレルト云フコトモ、同ジク國民ノ意思ト云フモノト制度トシテ繋ガツテ居ルノデア、其ノ點ハ何ニモ差異ガナイ、ソレデサウ云フ國民ノ意思ト云フモノト何等繋ガリナシニ從來ノモガアツタ、國民ノ總意ト云フヤウナモノト無關係ニアツタト云フヤウナコトカラシテ、何カ私先刻申シマシタ神祕性ト言ツテハイケナイノカドウカ知リマセヌガ、神祕的ナモノ、非現實的ノモノデアルト云フヤウナ見地カラシテ、今回ノ憲法ガ、現實的ニ或ハ神祕性ヲ剝イダト云フヤウナコトデアラナラバ、ソレハ詰リ凡ソ制度ハ之ヲ擔フ國民ノ意思ト云フモノトノ關係ニ關スルドウモ誤解ノヤウニモ私ハ思フノデアリマスカ、ソレデ此ノ間以來伺ツテ居リマスト云フト、我が國ノ天皇ガ所謂皇祖皇宗ノ後裔トシテ、其ノ御家デアルガ故ニ、天皇ノ地位ニ當然ニ御即キニナルト云フヤウナコトガ、今日迄ハソレ自身國民ノ意思ニナツテ居ル、ソレデアリマスルカラ何ニモ國民ノ意思ト云フモノト繋ガリガ無イト云フヤウナコトデハナイト私ハ思フノデアリマスカ、其ノ點ハドウデアリマセウカ、サウキ申シマシタ意味ニ於テ矢張り國

民ノ意思ト繋ツテ居ルノデアリマセヌカ

○國務大臣(金森德次郎君) 左様ニ思ヒマス

○佐々木惣一君 サウスルト云フト、此ノ間以來屢ニ伺フノデアリマスガ、所謂神權說トカ、神授トカ、神話トカ云フヤウナモノニ、思想的ナ基礎ガアルトカドウトカ云フヤウナコトハ、ドウモ私ハ現行ノ憲法ヲドウ改正スルカト云フコトハ別デアリマスケレドモ、現行憲法ガ我々國民ノ意思ヲ羈束致シテ居リマスルコトニ付テハ全然當ラヌヤウニ思ハレマスガ、神權說トカ、神話トカ、神授トカ云フコトハ、斯ウ云フ言葉ハ、神話デモ何デモナイ、神權說デモ何デモナイ、詰リ今申シマシタヤウナ、サウ云フ御家ニ御出ニナツテ居ル方デアルカラシテ、單ニソレ故ニ我々之ヲ君主ト仰イデ居ルト云フコトハ、神話デモ神權デモ、神授デモ何デモナイ、我々ノ意思其ノモノデアルト考ヘテ、私ハ斯ウ云フトコトヲ伺フノデアリマスガ、今日私ハドウモ從來ノ憲法ヲ廢シマシテ、次ノ憲法ニナル、其ノ善イ惡イヲ言フノデアリマセヌガ、其ノコトノ爲ニ從來ノ憲法ガ何カ神話トカ、神授トカ、神權說ト云フヤウナ……神權說トナリマスト君主ノ地位ニ關シテデアリマスガ、サウ云フヤウナコトヲ附加ヘテ説明スルコトハ、ドウモ私ハ却

テ社會ノ誤解ヲ招キハシナイカ、從來ノ憲法ニ付テモ、誤解ヲ招キハシナイカト斯ウ云フ感ジガアルノデアリマシテ、此ノ間頻リニ此ノ言葉ガ出テ居リマスノデ一言致シマスガ、神權說トカ何トカ云フコトハ、元來日本ノ天皇ノ地位ト云フヤウナコトニ付テノ説明ニハ別ニ當ラヌノデ、唯穂積先生ガサウ云フ説明ヲ爲サツタコトガアリマスケレドモ、是ハ國家ガ、或ハ君主デモ宜シウゴザイマスガ、此ノ時ニハ國民ニ對シマシテ、國民ハ何ト申シマシテモ自由ヲ喜ビマスカラ、人ノ權力ノ下ニ束縛サレルト云フコトハ好ミマセヌ、ソレニモ拘ラズ國家或ハ又ソレヲ表現シマスル所ノ君主ノ權力ニ依リマシテ、自由ヲ束縛サレルト云フヤウナコトハ、一體ドウ云フヤウナ意味デアルカ、詰リドウ云フ根據ニ依ツテ、サウ云フコトヲ説明スルコトガ出來ルカト云フ時ニ、是ハ御存ジデアリマセウケレドモ、一概我々ハ宗教上、世界ヲ宗教的ニ支配シテ居ル所ノ絕對者ガアル、ソレヲ神ト謂フ、其ノ神ノ命令ニハ從ハナケレバナラヌ、私共ハ矢張り多少宗教的デアリマシテ、サウ云フ絕對者ガアルカドウカハ別ト致シマシテ、サウ云フ絕對者ニ從ハナケレバナラヌト云フ感ジヲ持ツテ居リマス、處ガ君主ト云フモノガ、或ハ國家デモ宜シウゴザイマスガ、君主ト云フモノ

ガ、所謂宗教的ノ意味ノ權力者ト云フモノカラ我々國民ヲ支配スルト云フ、サウ云フ力ヲ授カツタノデアルカ、即チ我々ガサウ云フ絕對的ノ神様ノヤウナ、サウ云フ絕對者ニ從フト云フノデアアルナラバ、サウ云フコトヲ認メルモノデアラナラバ、即チ論理的ニ、其ノ絕對ノ神ノ神權ト云フモノヲ授カツテ、其ノ神權トシテ我々ヲ支配シテ居ルト云フ、サウ云フ君主ト云フモノノ權力ヲ認メザル得ナイ、サウ云フ君主又ハ國家ノ我々ヲ拘束シマスル其ノ根據ノ説明トシテ神權トカ何ントカ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマシテ、決シテ我が國ノ天照皇大神宮、アレヲ神様ト言フカラシテ、其ノ子孫ガ詰リ君主ノ位ニ即クト云フヤウナコトヲ説明スルヤウナ場合ニ當嵌メルベキ學說デヤナイト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、元來我が國ニ於ケル天照皇大神宮ヲ神様トカ何トカト云フコトハ、ソレハ我が國ダケデ云フ神様デアリマシテ、絕對的ノ、宗教的意味ノ世界ヲ支配スルト云フヤウナ意味ニ於テ言ハレテ居ルモノデナイト私ハ思ヒマスカラ、ソコデ多少意見ノヤウニナリマシタケレドモ、大臣モ時々仰セラレタノデアリマスケレドモ、從來我が國ノ天皇ト云フモノニ對シテ我々ガ持ツテ居ツタ思想ガ、所謂神權說ト云フヤウナモノト、何カ關係ガアル、或ハソレ

ニ似テ居ルト云フヤウナコトハ私ハドウモ當ラヌト思フノデアリマ
スガ、如何ナモノデアリマセウ
カ、是ハ特別ニ御答辯ヲ願フ程ノ
コトデハナイガ、私ハ要スルニ此
ノ神權説ト云フヤウナコトハ我が
國ノコトトハ關係ガナイ、是ハ何
故ニサウ云フコトヲ申シマスルカ
ト云フト、斯ウ云フ神權説トカナ
ントカ云フコトヲ言フト、之ヲド
ウ説明致シマシテモ、將來ノ即チ
國民統合ノ象徵トカナントカ云フ
ヤウナコトガ却テサウ云フ神權説
ミタイナコトニナツテシマツテ、
斯ウ云フ説明ヲ以テ行クト、却テ
新憲法ニ於キマスル所ノ天皇ノ地
位モ何ンダカ神祕的ノモノヲ少ク
トモ外國人ニハ思ハシムルヤウニ
ナリハセヌカト思フノデスカラ、
マア我が國ノ神權説トカナントカ
云フモノハ將來ハ勿論ノコト、現
在モソナヤウナコトニハ關係ナ
イヤウニ説明シタラドウカト、斯
ウ云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマ
ス、之ニ付テハ別ニ、御答辯ヲ煩ハ
ス程ノコトモアリマセヌガ、是ガ
即チ私ノ意見デアリマス、ソレカ
ラソレニ關聯シマシテ、從ツテ
天皇ガ統治權ノ總攬者デアリマス
カラ、詰リ此ノ統治權ノ總攬者デ
アルト云フコト自體ガ、今申シマ
シタヤウニ、我々國民ノ意思ト云
フモノデ之ヲ擔ツテ居ル、國民ノ
意思ニ基クト言フト工合ガ惡イノ
デスガ、國民ノ意思デ擔ツテ居ル、

我が國トシテハサウアルベキモノ
ダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ從ツテ
居ツタト、斯ウ云フ風ニ私ハナル
ノデアリマスガ、併シナガラ國民
ノ意思、我々ガサウ云フ風ニ考ヘ
テ居ツタノダト云フコト、今度
新憲法ニ依リマシテ、詰リ國民統
合ノ象徵デアルト、サウ云フヤウ
ナ地位ヲ天皇ガ御持チニナルコト
ハ、國民ノ總意ニ基クト云フノ
ト、私ノ所謂國家ノ制度ヲ以テ擔
ツテ居ルト云フコトノ意思ハ全然
違ツテ居ルノデアリマシテ、同ジ
意思ハ意思デアリマスケレドモ、
基クト云フノハ、現實ニ其ノ地位
ニ御即キニナツテ居ル其ノ方々ガ
皆國民カラサウ云フ力ヲ授ケラレ
タト云フコトガ基クト云フ意味デ
アルカト思フノデアリマス、私共
ノ言フ國家ノ制度ガ、國民ノ意思
ガソレヲ擔ツテ居ルト云フノハ、
サウ云フ制度其ノモノガ國民ノ意
思ニ依ルト、斯ウ云フコトデアリ
マスルカラ、私共ノ考ニ依リマス
ルト云フト、内容ノ如何ニ拘ラ
ズ、結局國民ノ意思ガ之ヲ擔ツテ
居ルト云フコトニナルノデアリマ
ス、サウ云フ立場ニ致シマスルト
云フト、私ノ考デハ、此處デ御尋
ヲ致シタイノデアリマスルガ、將
來ハ知りマセヌデス、今日天皇ガ
ア、云フ意味ニ於テ統治權ノ總攬
者デアツテ、サウシテア、云フ御
家ニオイデニナルト云フコト其ノ
コトカラ我々ガ統治權ノ總攬者ト

シテ仰イデ居ルト云フ、サウ云フ
制度ニナツテ居ルト云フ我々ノ意
思ガドウシテ今日ナクナツタト認
定出來ルカト、斯ウ云フコトデア
リマス、之ヲ新憲法デ申シマスル
ト云フト、今日ア、云フノデナシ
ニ、其ノ時々々天皇ガ總テ其ノ地
位ヲ、直接ニ我々國民ノ意思ニ依
ツテサウ云フ地位ヲ得ラレタノダ
ト、國民カラ言ヘバ、サウ云フ地
位ヲ我々國民ノ意思ガ授ケテ居ル
ノダト、サウ云フヤウナ意識デス
ナ、是ハサウ云フ制度ニセナケレ
バナラヌト云フ意識デス、制度ヲ
擔フ意識デアリマスガ、サウ云フ
意識ガ國民ノ方ニ今日アルト云フ
コト、認識ガアルト云フコトガド
ウシテ言ヘルカト、斯ウ云フコト
デアリマスガ、ソレヲ何カ御説明
ガ出來レバ一番宜イト思フノデ
ス、モウ少シ之ヲ申シマスルト、
矢張り國民ノ傳統的感情ト云フモ
ノ、或ハ傳統的意識ト申シマスル
カ、是ハドウモ尊重シナケレバナ
ラヌ、ソコデ凡ソ國家ノ制度ヲ定
メマスル時ニ、殊ニ斯ウ云フ憲法
ヲ定メテ、サウシテ天皇ノサウ云
フ地位ト云フヤウナコトヲ定メル
ヤウナ時ニハ、是ハ立法者、我々
自身デアリマスルガ、サウ云フ國
家ノ機關トシテノ立法者ハ、自己
ノ個人的ノ感情ト云フモノニ捉ハ
レナイデ、即チ其ノ時ニ現ニ存在
シテ居リマスル所ノ傳統的ノ國民
感情ト云フモノハ、是ハ客觀的ニ

觀テ行カナケレバナラヌ、從ツテ
私ガ假ニ天皇ハ厭ダ、天皇制度ト
云フモノハ詰ラヌト思ツテモ、我
ガ國ノ國民ガ一般的ニ天皇ト天皇
制度ト云フモノヲマダ維持シテ居
ルト云フ風ニ考ヘラレル限リニ於
キマシテハ、自己ノ感情ハ別ニシ
テ、一般國民ノ傳統的ノ感情ト云
フモノヲ尊重スルノガ制度ノ建前
ナンド、私自身ガ如何ニ天皇ト云
フモノヲ尊重スル、天皇制度ヲ尊
重スルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居
リマシテモ、併シナガラ國民的感
情ガ既ニ傳統的ノ感情ト云フモノ
ヲ棄テ、皆モウ天皇制度ト云フモ
ノハ詰ラヌ、天皇ハ詰ラヌモノダ
ト、斯ウ思ツテ居ルト云フ風ニ客
觀的ニ考ヘラレル限リニ於キマシ
テハ、自分トシテハ天皇制度ガ宜
イト思ツテモ、國家ノ制度トシテ
ハ社會、國民ノ客觀的ノ意識ト云
フモノニ從ツテ行カナケレバナラ
ヌ、從ツテ天皇制度止ト云フコト
ニドウシテモナラナケレバナラヌ
ト、斯ウ云フ風ニ考ヘマスガ、斯
ホ云フ制度ヲ立テル時ニハ、サウ
云フ點カラ見マシテ、今日我が國
ノ一般國民ガ從來、タツタ此ノ間
迄傳統意識ダ、傳統意識ダト言ツ
テ居ツタモノガ全部ナクナツテ、
サウシテ天皇制度ト云フモノハモウ
棄テ、シマフト云フヤウナ、サウ
云フ一般の意識ト云フモノガアル
ト、斯ウ云フ風ニ認識シテ宜イノ
デアリマセウカ、ソレダケノコト

ヲチョット御尋シテ見タイト思フ
ノデアリマス
○國務大臣(金森德次郎君) チョ
ット初ニ遡リマシテ、擔フト云フ
言葉ニ付キマシテ私ハ非常ナ疑ヲ
持ツツ、御贊同ヲ申上ゲマシタケ
レドモ、段々言葉ガ深ク入ツテ來
ルニ從ヒマシテ、私ノ了解スル意
味ト、佐々木委員ノ了解シテ居ル
意味トハ、今ノ處デハ毫末ノ違ヒ
ハアリマセヌガ、將來違フヤウニ
發展スルト思ヒマスガ、一應申上
ゲテ置キマス、私ハ改正憲法第一
條ニ於キマシテ、基クト云フコト
ハ授ケルト云フヤウナ意味ニ御説
明ヲ申上ゲマシタコトハ一遍モア
リマセヌ、基クハ基クデアリ、授
ケルハ授ケルデアツテ言葉ノ持ツ
テ居ル内容ハ相當違ツテ居リマ
ス、私ハ此ノ重大ナル言葉ヲ説明
致シマスルニ際シテ、決シテ、基
クニ授ケルト云フヤウナ意味ヲ含
マセタコトハ、恐ラク絶對ニナイ
ト信ジテ居リマス、ソコデ擔フト
仰セニナリマシタ言葉ハ、私ハ此
ノ基クト云フ言葉ト同ジヤカナ御
趣旨デハナカラウカト思ツテ御贊
同申上ゲタノデアリマシテ、若シ
先デ違フナラバ、私ノ贊同ハ始カ
ラ取消スト云フコトニナリマス
シ、此ノ言葉ト同ジ意味デアルナ
ラバ、飽ク迄御贊成ト云フコトニ
ナルヤウニ御了解ヲ願ヒタイト
思ヒマス、次ニ今御尋ニナリマシ
タ本問題ニ入りマシテ、國民ハ果

シテ、此ノ憲法ノ第一條ノ國民ノ總意ト云フヤウナ段階ニ來ツテ居ルノデアラウカ、若シ國民ガ、サウ云フ段階ニ來ツテ居ナイノデアラナラバ、此ノ機關タル立法府ハ、ソレヲ其ノ通りニ解釋スベキモノデアリ、ソレ以上ノ方法ヲ採ルベキモノデハナイデハナイカト云フヤウナ御氣持デ御質疑ニナツタト思ツテ居リマス、私ハ國民諸君ガ、恐ラク此ノ憲法改正案ニ對シテ、大體ノ方向ニ於テ賛成シテ居ラル、ノデヤナイカト、斯ウ信ジテ居リマス、ソレハ今迄ノ衆議院其ノ他ノ新段階及ビソレヲ中心トシテ、アチヲコチヲ起ツタ空氣、新聞其ノ他ノ言論機關ノ現ハレモアリマス、サウ云フモノヲ綜合シテ考ヘテ見マシテ、恐ラクスウ云フ處ニ來テ居ルモノト私ハ思ツテ居リマス、併シナガラ、縱ンバ、此處迄來テ居ナクテモ、私獨カニ考ヘマスルニ、此ノ議會ノ諸友、即チ國民ヲ代表セラレテ居ル方々ハ、右ノ如ク固ツテ居ル國民ヲ代表セラレテ居ルノデハナクテ、生生發展シテ行ク處ノ國民ヲ代表セラレテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ國民ハ今眠ツテ居ルニシテモ、皆様方ノ頭ノ中ニ、若シモ其ノ伸展スル氣持ヲ持ツテ御判斷ニナルナラバ、即チ生ケル國民ヲ代表シテ居ラレル次第デハナカラウカト私ハ考ヘテ居リマス、從ツテ國民ノ各個ハ彙ニモ申

シマシタヤウニ、實際此ノ段階迄大筋ニ於テハ來テ居ル、細カイコトヲ總テノ人ガ知ツテ居ル譯デハアリマセヌ、直感ノ又ハ荒筋ニ於テ理解シテ居ルコトハ、疑アリマセヌガ、縱ンバソコ迄周到ニ行カナクテモ、此處ニ御集リノ方ノ、謂ハバ總說のナルト申シマスカ、總說のナル御判斷ニ依ツテ、國民ノ總說のナル氣持ヲ御代表ニナルコトガ然ルベキ筋合ノヤウニ僭越ナガラ考ヘテ居リマス

○佐々木惣一君 只今國務大臣ノ御説明ノコトハ能ク分リマシタ、ソコノ所ハ大分違フノデスガ、詰リ斯ウ云フ問題ニ對シテ、國民ノ傳統的の感情、傳統的の意識ト云フモノハ尊重スベキデアルト云フコトニハ御賛成ノヤウニ見受ケマスガ如何デスカ、唯今日ハ、サウ云フ國民ノ傳統的の感情ナリ、意識ト云フモノガ既ニ變ツテ、新憲法ニ於ケルガ如キ狀況ニナツタト云フ風ニ御認識ニナルノデスカラ、此處ノ處ハ仕様ガナイト思ヒマスガ、私ノ考ヘル處デハ、此ノ憲法ガ、實際ハ國民ニ少クトモ能ク分ツテ居ナカッタノデアリマシテ、何日デシタカ、衆議院ノ方デ拜聴シタノデスガ、或ハ速記録ヲ讀ミマシタカ、此ノ憲法ガ始ニ斯ナコトニナルト云フコトガ國民ニ知ラレテ居ツタナラバ、我々代議士ハ大半ハ當選出來ナカッタダラウト言フタ人モアリマスカラ、私ハ

ドウモ傳統的ノ國民感情ガ、此ノ新憲法ニ於テ盛ラレムトシテ居ル、サウ云フ天皇ノ地位ノ根據ニ關シテ、其ノ傳統的の感情ガ、サウ云フ風ニナツテシマツタト云フ風ニハドウモ考ヘラレナイノデスケレドモ、併シ唯茲ニ國民ノ傳統的の精神ト云フモノノ如何ニ拘ラズ、兎ニ角法ヲ作ツテサウ云フ方向ニ國民ノ意識、感情ト云フモノヲ向ケテ行クト云フ御説明ナラバ私ハ分ル、其ノコトニ賛成スルトセストハ別ニシテ分ルノデアリマスケレドモ、サウデナシニ、唯國民ノ傳統的の意識、感情ト云フモノガ此ノ内容ニナツテ居ルト云フ風ニナルノデ、是ハ國民意識ノ感情ノ判斷ノ實際デアリマスカラ致シ方ナイ、其ノ基クト云フノハ授ケルト申シマシタケレドモ、授ケルト云フ其ノ法的の意味ノサウ云フ行為ガアルト云フコトデハアリマセヌ、要スルニサウ云フ地位ニ就カセテ居ルト云フ國民ノ意思作用、意思組織ト云フモノガアルト云フコトヲ言フノデアリマシテ、寧ロ授ケルト云フ特別ノ行為ガアルコトハ疑ヒナイコトデアリマス、ソレダケハチヨット御説明申上ゲマス、併シ是ハドウモ何ト言フテモ仕様ガナイコトデモアリマシテ、私モ勿論凡ソ法制ノ役目ト致シマシテ國民のニ既ニ存在シテ居ル所ノ意識、感情ノ如何ニ拘ラズ法ノ方ガ先ニ進ンデ、國民の

意識、感情ヲ即チ導イテ行クト云フコトノ必要ガアルコトハ固ヨリ認メマス、唯併シナガラ我々國民ニ關スル統治權ノ總攬者ノ地位ヲドウシテ決メルカト云フヤウナコトニ相成リマスルト、少クトモ我が國ニ於キマシテハ矢張り國民ノ傳統的の感情ト云フモノヲ尊重シテ、從ツテソレガドウデアルカ、ドウ變ツタカト云フコトハ極メテ客觀的ニ、制定ノコトニ當ル者ノ個人的ノ主觀的ノ意思感情トハ離レテ、從ツテ自分ノ主觀的、個人的意識ト別ノ内容ヲ持ツタ法制ヲモ作ラナケレバナラヌト云フ考ヲ持ツテ居リマシタモノデスカラ、其ノコトヲ御尋シタノデス、ソレ以上ハ此ノ點ニ關シテハドウモ仕様ガアリマセヌカラ、サウ致シマシテ、ソコデ今度ハ大變重ナルヤウデ相濟ミマセヌケレドモ、此ノ機會ニ言ハシテ戴キタイコトハ、言葉ノ問題デアリマスガ、今ノコトト直接ニハ關係ナイコトデアリマスケレドモ、先日來國體ト云フ言葉ガ頻リニ使ハレテ居リマスガ、御存ジノヤウニ其ノ國體論ヲ此處デ再ビ繰返スノデハ決シテアリマセヌ、唯國體々々ト言フテ居リマスモノノ中ニ、言フ迄モナク言葉デスカラ、其ノ言葉ガ先日來アリマス通りニ茲デ國家制度ト言ヒマスカ、詰リ國家ノ制度ニ於ケル或技術ヲ言ツテ居ル場合ト、國家ノ或狀態ニ付テ言ツテ居ル精神

的ノ、從ツテ倫理的ノ道德的ノ狀態ニ於テノ國柄、國家ノ制度、精神トカト云フコトデハナシニ、國柄ト云フコトヲ言ツテ居ル場合トニツアルト云フコトハ、此ノ國體ノ意義ガ、是ハ昔カラ少シデモ其ノ方ノコトヲヤツテ居ル者ハ皆言ツテ居ルコトデアリマシテ、此ノ國體ノ、サウ云フ言葉ノ使ヒ方、ソレカラサウ云フ國體ト云フコトニ付テノ議論モ色々アリマシタコトハ、私嘗テ書物ニ書イテ居リマスカラ、金森サン暇ナ時ニデモ御覽下サレバ大變有難イデスガ、併シ此處デ言ツテ居ルノハ即チ國家ノ制度ニ於テ天皇ガドウ云フ地位ヲ御有チニナツテ居ルカト云フ、サウ云フ點ニ著眼シテノ國ノ姿ヲ國體ト言ツテ論ジタコトハ是ハ疑ヒナイ、唯併シソレトハ別ニ凡ソ國家ノ精神のノ姿ト云フモノヲ國體ト云フ言葉デ言ツテ居ル者モアルコトハ、是ハ當然ノコトト私モ書イテ居リマスガ、當然ノコトデアルノデスネ、其ノコトヲ再ビ申上ゲルノデヤアリマセヌガ、ソコデ國務大臣ノ仰シヤル心ノ繫リトカ、國民ノ心ノ繫リトカ何ト云フコトハ、是ハ即チ精神的ノ、或ハ倫理的ノ、道德的ノ國ノ姿ト云フモノヲ觀タ、サウ云フ方面ノ國體ト云フ言葉デアルト云フコトハドウモ疑ヘナイト考ヘマス、ダカラ、サウ云フ方面カラ觀ルコトガ惡イト云フノデヤアリマセヌヨ、

サウデアアル、ソコデ一ツ御尋シテ見タイノデアリマスルガ、一體サウ云フ心ノ繫リトカ、憶レノ中心ニナルトカ、サウ云フヤウナコトハ、サウ云フ國家ノ基本的名義ト云フモノハ天皇ノ國家ノ政治上ノ面ニ於テ、ドウ云フ地位ヲ御持チニナツテ居ルカト云フコトト無關係ニシナケレバナラヌモノデアアルカドウカト云フコトヲ、チョツト御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス、モツト具體的ニ申シマスレバ、詰リ天皇ガ統治權ノ總攬者ト云フ地位ヲ御持チニナツテ居ルト云フ、サウ云フコトガナクナツテシマツタナラバ、從來カラ他ノ面ニ於テ天皇ガ、詰リ我が國ニ於テハ、我が國ノ委託云フモノハ道德的ニ、精神のニ、倫理的ニ特殊ノ性格ヲ持ツテ居ルヤウナ國ノ委託アリマスルガ、其ノ道德的ニ、精神的ニ特殊ノ一ツノ委託ヲ持ツテ居ルト云フ、其ノ委託ガ實ハ國家ノ政治的ノ委託無關係ニハアリ得ナイ、詰リ天皇ガ統治權ノ總攬者デアラレテ、サウシテ色々國家ノ爲ニモ一生懸命ニ御盡シ下サツテ居ル、今日色々ノ御話モ出マシタガ、天皇ニ私生活ナシト云フヤウナ、サウ云フ其ノ政治ヲ爲サル天皇ノ統治權ノ總攬者トシテアリ方ト云フモノヲ含ンデ、國ノ精神的、道德的ノ委託云フモノガ、私ハ出ルト思フ、言ヒ換ヘテ見マスレバ、天皇ガ統治權ノ總攬者デアルト云フ

狀態ガ一遍失ハレテシマツテ、是ハ今ハ我々ハ階性ヲ持ツテ居リマスレドモ、段々ト此ノ狀態ガズツト長ク續キマシタナラバ、其ノ結果我が國ノ所謂他ノ意味ニ於ケル國ノ委託、即チ精神的、道德的ト云フヤウナ、サウ云フ國ノ委託モノガ變ツテ來ハシナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ツノデアリマス、ソコデ概念的ニハサウ云フ政治ノ面カラ觀タ國ノ委託、ソレカラ政治ノ面デナシニ、道德トカ倫理トカ總テ有ラユル方面カラ觀マシタ國ノ委託云フモノハ、無論概念的ニハ別ノ觀念トカ内容ヲ持ツタ委託アリマスルケレドモ、併シナガラ全面的ニ精神的ノ國ノ委託云フモノ其ノモノガ、實ハ政治的ノ國ノ委託ニモ影響ガアルト斯ウ私ハ思フノデス、デ天皇ガ是迄ノヤウニ統治權ノ總攬者デアルト云フ地位ヲナクセラレタト云フコトニナリマスルト云フト、今ハ知りマセヌケレドモ、段々ト我國ノ所謂精神的委託ナル意味ニ於ケル我が國ノ國體モ變ツテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスルガ、ソレデサウ云フ點ニ付テハ大臣ノ御考ヲチョツト實ハ御尋シテ見タイノデス

○國務大臣(金森健次郎君) 御質疑ノ點ハ一面ニ於テ肯定スルト共ニ、一面ニ於テ否定ヲ申上ゲタイト思ツテ居リマス、其ノ意味デ此ノ二ツノモノガ現實ノ世界ニ於テ相當ノ關係ヲ持ツテ居ルト云フコトハ疑フベクモナイト思ヒマス、併シナガラ其ノ關係ハドウ云フ割合デ來ルモノカト云フ數量的ナ計算ト云フモノハ餘程困難デアリマシテ、日本ノ過去ノ歴史ニ付キマシテモ、皇室ノ御權能ノ幅ハ時ト共ニ變ツテ居リマスレドモ、併シ之ニ對スル國民ハ愛敬ノ念ノ深サト云フモノハ必ズシモ其ノ分量ト比例ハシテ居ナイト思ツテ居リマス、ソコデ斯様ナコトヲ御答ト致シマス

○佐々木惣一君 イヤ、ソレハ能ク分リマスガ、私ハ統治權ノ總攬者ト云フコトノ、個々ノ場合ニ天皇ガ權能ヲ御發動ニナル、個々ノ場合ノ事例ナドヲ言フノデハアリマセヌガ、例ヘバ先般來屢々御話ノ出テ居リマシタ、詰リ近クハ徳川時代、其ノ前ニ遡ツテハ其ノ時代ノ幕府デアルト云フヤウナ時デモ、兎ニ角ソレハ天皇ハ殆ド實際ノ政治ノ事實ハヤラレナカツタノデアリマス、總テ將軍ノ方ニ、幕府ノ方ガシテ居ツタト思ヒマスケレドモ、併シナガラソレハ天皇ガ統治權ノ總攬者トシテ、サウシテ其ノ實際ノ政治ヲ行フト云フコトヲ委ネラレタノダト、斯ウ云フ觀念カラ出テ居ツタト思ヒマス、昔ノ歴史ノコトハ詳シクハ知ラヌケレドモ、併シ少クトモ維新ノ時ニ於キマスル、即チ慶喜將軍ノ天皇ニ所謂大政ヲ奉還セラレタト云フ

コトノ中ニ、是迄ハ天皇ガ政權ヲ委任セラレテ居ツタト云フ、委任ト云フ言葉ヲハツキリ書イテアル、天皇ノ御委任ニ依ツテ其ノ政治ヲ行ツテ居ツタノダケレドモ、是カラハ其ノ委任ヲ解イテ裁イテ、政治ヲ陛下ニ奉還スルト、斯ウ云フ風ニ申シテ居リマスカラ、ソコデ大臣ガ今仰シヤツタヤウニ、政治ノ行ハレル實際ニ於テハ幅ガアルニ違ヒナイケレドモ、併シ幅ガ狭イ幅ノ儘ニ、ソレハ結局統治權ノ總攬者タル天皇ノ御地位ト云フモノカラ我々ニ授ツタモノダト云フ思想ハ、其ノ將軍連中自身ニ、天皇ヲ蔑ロシテ居ルケレドモ、併シナガラ蔑ロシテ居リナガラ、サウ云フ思想ガアツタト云フコトハ、ドウモ是ハ疑ヒナイ、古い歴史ハ知りマセヌケレドモ、少クトモ維新ノ歴史ニ付テソレヲ言ヘバ、ハツキリソレガ言ヘルノデアアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、私ハ今金森國務大臣ノ仰シヤツタ其ノ沿革ハ分ラヌコトハアリマセヌケレドモ、併シ將來天皇ノ統治權ノ總攬者タル地位ガ段々ナクナツテシマツテ、本當ヲ言ヘバ空ノヤウニナリマス、段々國民ノ精神ト云フモノガ變ツテ、或ハ虞ル、幾十年ノ後ニハ天皇ニ對スル金森國務大臣ノ仰シヤル心ノ憶レ自體ガナクナリハシナイカト、斯ウ云フ憂ヒヲ持ツノデアリマス、金森國務大臣ノ仰シヤル心ノ憶レト云フコトガ分ラヌデハナイケレドモ、サウ云フモノガ政治的ノ地位ト無關係ノ、心ノ憶レト云フモノガ永久續クト云フ御考ニ私ハ疑問ヲ持ツテ居ルノデスガ、斯ウ云フ點ニ付テ、若シ大臣ノ何かチヨツトデモ御意見ヲ伺フコトガ出來レバ幸ヒデスレドモ、無理ニ言ヒハセカ言ツテ呉レマセヌカ、(笑聲)ソレデヤ宜イ、ソレデハ次ノ點ニ移リマシテ、第二ト致シマシテ、皇位繼承ノ資格ト云フ點ニ付テ、論點ヲ今度ハ少シ具體的ニ、法理的ノコトニナリマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(安倍能成君) 成ルベク簡單ニ……

○佐々木惣一君 ソレデ第二ノ問題ト致シマシテ皇位繼承ノ資格ト云フコトニ付テ御尋ネ申上ゲタイノデス、是ハ私ハ皇位繼承ト云フコトヲチョツトドウ云フ意味、是ハ今ノ法典ガアリマスカラ、マアソレハ宜イデス、止メテ置カウ、其ノ中ノ一點トシテ皇位繼承ノ資格ト云フモノニ付キマシテハ、今回ノ憲法草案ニハ實質的ニ何ノ規定モナイノデスネ、「皇室典範」の定めるところにより」トハアリマスノデス、固ヨリソレハアルケレドモ、併シナガラ「世襲」のものであつて、國會の議決した皇室典範

の定めるところにより「トアルノデスガ、ソコデ先ヅ世襲ノモノノアルト云フコトハ一體ドシナモノデセウ、ドウ云フ意味ナンデセウカ、所謂今日ノ現行憲法ニ於ケル萬世一系ト云フノト違フノデアリマセウカ、違ハナイノデアルカ、是ハ細カナヤウナコトデスガ大事ナコトデスカラドウカ」

○國務大臣(金森德次郎君) 本質的ニハ現行ノ憲法ト異ナル所ハナイト考ヘテ居リマラス、唯現行憲法ハ萬世一系ト云フガ如キ多少比喩的ナ文言ヲ使ツテ居リマシテ、現實的ナル言葉デハアリマセヌ、ソレヲ現實世界ノ素朴ナル言葉ニ表ハスト云フコトガ主眼トナツテ居リマス

○佐々木惣一君 比喩的ト仰シヤルノハ私ニハ分ラヌノデスケレドモ、萬世一系ト云フノハ此ノ帝國憲法デ始メテ出來タ言葉デハナクシテ、ソレ以前カラ使ツテアル、ソレニハ實質ガ入ツテ居ル、即チドノ系統、ドノ家ノ方ト云フ、所謂皇祖皇宗、祖宗ノ皇統ニ屬スルト云フコトハ、萬世一系ト云フ文字ニ入ツテ居ル、單ニ世襲ト云フコトデハナイ、萬世一系ト云フノハドノ系統ニ屬スルカト云フヤウナコトト無關係デ、唯世襲トアルノデアリマセウカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、世襲ト言ツテモ祖宗ノ皇統ニ屬スル所ノ其ノ世襲ト云フ意味デアルカ、萬世一系

ト云フノハチヤント實質ガ入ツテ居ル、帝國憲法ニ於テ始メテ出來タ文字デハ實際ハアリマセヌ、ソレハ重キヲ置ケモノカラ言ヘバ非常ニ重大ナ所デス、ソレハマアソレデ宜イト致シマシテ、ソレカラモウ一ツノ點ハ「世襲のものであつて」、「皇室典範の定めるところにより」ト申シマスルガ、ソレナラバ世襲ノモノデアルト云フコト、是ハ議論ニモ何ニモナリマセヌ、サウダト仰シヤレバサウデア、男系ノ男子ト云フノハ男子デナクトモ宜イカト云フコトデス、皇室典範サヘ決マレバ問題デモ何デモアリマセヌ

○國務大臣(金森德次郎君) 男系ノ男子ト云フコトハ第二條ニハ限定シテアリマセヌ、其ノ趣旨ハ根本ニ於テ異ナルモノアリトハ考ヘマセヌケレドモ、併シ時代々々ノ研究ニ應ジテ或ハ部分的ニ異ナリ得ル場面ガアツテモ宜イト申シマス、サウ云フ餘地ガアリ得ルト云フ譯デ斯様ナ言葉ニナツテ居リマス

○佐々木惣一君 要スルニ其ノ時時ノ事情ニ應ジテ皇室典範デ總テ定メサセル、斯ウ云フ意味デアリマス

○國務大臣(金森德次郎君) 左様デゴザイマス

○佐々木惣一君 其ノ點ニ付キマシテハ私ハ意見ヲ言フノチヤアリマセヌ、チヤサウ解釋致シマシ

テ、唯此ノ憲法ニモモウ少シ實質的ノモノガ入ツテ宜イデヤナイカト思ヒマスケレドモ、例ヘバ男子ト云フヤウナモノ以外ニ女子ト云フモノヲ認メルカ認メヌカト云フヤウナコトハ、是ハドウモ或ハ大臣ノ仰シヤルヤウニ其ノ時々ノ事情ニ依ツテ皇室典範デ決メテモ宜イト云フコト、實ハ私自身モ其ノ意見デスガ、併シ男系カ女系カト云フコト位ハ、是ハ皇室典範デ自由ニ定メ得ルト云フコトハ餘リ廣イカト思ヒマスケレドモ、ソレハ御趣旨ハ分リマシタカラソレデ宜シウゴザイマスガ、ソコデ三點ニナリマスケレドモ、皇室典範ノ性質ト云フコトヲチョツト御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレデ御存ジノヤウニ國務大臣ノ從來ノ御説明デスツカリ分ツテ居リマスカラ、私ハ非常ニ有難イノデス、皇室典範ハ皇室ノ私法デナク、國家ノ國法ダト云フコトガハツキリ憲法デモ御説明デモ出テ居リマス、此ノ問題ニ付テハ私自身モ皇室ノ私法的ノモノデナク、國家ノ國法ダト云フコトカラ或有力ナ學者ノヒドイ反駁ヲ受ケテ居ル位デアリマスカラ、併シ此ノ點ニ付テハ私ハハツキリシタ金森サンノ御説明ニ満足ラシテ居ルノデス、處ガソレハソレデ宜イノデアリマスガ、御尋ネ致シタイノハ、皇室典範ト云フノハ矢張りサウ云フ特別ノ形式ナノデアリマス、唯普通ノ法

律ト同ジヤウナモノデアルカ、ソレナラバ別ニ「皇室典範の定めるところにより」ト云フヤウニ憲法ニ規定シナイデモ、別ニ法律ヲ拵ヘテ、皇位繼承等ニ關シテ法律第何號ナリ、或ハ其ノ法律ノ名稱ヲ皇室典範法ト、斯ウ云フ風ニ決メテモ宜イト思ヒマスガ、兎ニ角皇室典範ハ議會ノ議決ニ依ルノダケレドモ、皇室典範ト云フ、何カサウ云フ特殊ノ法ガアルカノ如ク思ハレルノハ、此ノ憲法ノ規定デハサウデハナイノデセウネ

○國務大臣(金森德次郎君) 仰セノ如ク皇室典範ヲ法律學的ナ見地カラ申シマスレバ、一般ノ法律ト毫末ニ異ル所ハアリマセヌ、唯内容ノ特殊ナル所ニ顧ミマシテ、形式ハ、法律トシテハ他ノモノト同ジデアリマスルケレドモ、特ニ是ニハ憲法上特別ナル名稱ヲ付與シタト云フダケナデス

○佐々木惣一君 サウスルト、詰リ皇室ニマア關シマシテ、皇位繼承トカ攝政ニナルコトハ、斯ウニ解釋出來マスデセウネ、皇室典範ト稱スル法律以外ノ法律デハ規定出來ナイ、是ハ明カデゴザイマセウカ、ソコデ、マアソレハ宜イデスガ、ソコデ、憲法ガサウ云フ皇室典範ヲ、特ニ名ヲ附ケテ、サウ云フ「皇室典範の定めるところにより」ト申シマシタノハ、サウ致シマスドウ云フ風ニ解釋致シマセウカ、憲法デ「定める」ト

云フノハ、サウ云フ憲法ト云フモノガ、ソレガ皇室典範ト云フ別種ノサウ云フ法規ニ、皇位繼承ナリ、攝政ナリノコトヲ定ムル權限ヲ委任シタト云フノデアリマセウカ、サウデナシニ、皇室典範ト云フモノハ、憲法ノ委任ニ依ツテ出來得ルノデハナシニ、皇室典範ト云フ別ノ法律ト云フモノガ、直接ニ憲法ニ依ツテアルンダト、斯ウ云フ風ニ言フノデアリマセウカ、何レニシテモ國法デハアルンダケレドモ……

○國務大臣(金森德次郎君) 御尋ノ趣旨ガ私ニハマダハツキリ吞込メマセヌガ、斯ウ云フ風ニ申上ゲタラ御分リニナルカト存ジマス、其ノ、此處ニ示シデアリマスル皇位繼承ノコトハ、此ノ憲法自體デ書ケルコトデア、併シナガラ憲法自ラハ之ヲ直接ニ規定シナイデ、皇室典範ト云フ法律ガ之ヲ規定スルコトヲ豫定スル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、從ツテ現在ノ秩序ニ於ケルガ如キ憲法ト皇室典範ト相並ンデ對立スルト云フ考ヘ方トハ違ヒマシテ、上級下級ト云フヤウナ風ニ系統付ケラレテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○佐々木惣一君 分リマシタ、サウスルト云フト、將來トモ此ノ皇室典範デ規定スベキ事項ト今御考ヘニナツテ居ルヤウナ事項ハ、憲法其ノモノニ於テハ規定スルコトハ出來ナイコトニナリマスネ、ソ

レデ宜シウゴザイマスネ、詰リ攝政トカソレカラシテ皇位繼承ニ關スルヤウナコトハ、帝國憲法ハ規定出來マスズスカ、出來マセヌデスカ將來...

○國務大臣(金森德次郎君) 若シ憲法ガ規定シヨウト思ヘバ規定出來ルノデゴザイマス

○佐々木惣一君 ア、サウデスカ、分リマシタ、ソレデヤソレデ宜イデス、ソレカラドウモ...

○委員長(安倍能成君) ソレデヤサウ云フコトニ致シマス

○佐々木惣一君 私ハソレデハ通告シテアル質問ハ澤山アリマスケレドモ、外ノ方ノ御迷惑ニナルトイケマセヌカラ、茲デ止メマス、併シソレハ質問ヲ留保シテ置クノデスカラ、サウ云フ意味デ...

○澤田牛麿君 私ハ議事進行ニ關シテデスガ、佐々木サンガ質問ガ殘ツテ居ルノナラバ、ズツト御ヤリニナツタ方ガ宜クハアリマセヌカ、ソレニ依ツテ一應終ツタ方ガ宜クハアリマセヌカ

○佐々木惣一君 ソレデヤヤラシハ戴キマス

○子爵織田信恒君 矢張り外ノ方

ハ隨分待ツテ居ラレマスカラ、ソレヲ進メテ、マア折角佐々木先生モ自分カラサウ仰シヤツタンデスカラ...

○子爵織田信恒君 先生憎マレルトイケマセヌカラネ

○佐々木惣一君 イヤ是以上憎マレハ堪マラナイ

○子爵織田信恒君 外ノ方ノ質問ヲシテ戴イタ方ガ宜イト思ヒマス

○佐々木惣一君 私ハドチラデモ宜イデス

○委員長(安倍能成君) 留保ト云フノハ必ズ御ヤリニナルデスカ

○佐々木惣一君 エ、ヤリマス他日何時カハヤリマス、何時デモ宜シウゴザイマス、ソコデ第一章ニ關スル質問ヲ皆サンガオヤリニナツタ最後デ宜シウゴザイマス、サウシタラ宜イデセウ、ソレデモ今ヤレト云フナラ今デモヤリマスヨ

○澤田牛麿君 議事進行ニ關シテ申上ゲマス、是ハ矢張り時間ガ掛ツテモナンデモ、順序ガアツテ其ノ方ガヤリ始メタラ途中デ切ラズニオヤリニナルベキガ正當デアルト思ヒマス

○佐々木惣一君 ソレデハ委員長ノ御説ニ依ツテ...

○委員長(安倍能成君) ソレデハ出來ルダケ簡單ニ一ツ御願ヒ致シマス

○佐々木惣一君 ソレデハヤラシ

テ戴キマス、今度ハ出來ルダケ簡單ニ一ツ申上ゲマス、ソレデハ今度ハ第三ニナリマシテ天皇ノ職務ト云フコトニナルノデアリマスガ、ソコデ天皇ノ職務ト云フトロカシイヤウナ言葉デアリマスケレドモ、現行ノ憲法ニ於キマンデハ御存ジノヤウニ天皇ノ職務ノ最モ本質的ノモノハ統治權ノ總攬者デアル、統治權ヲ總攬シテオイデニナルト云フコトデアリマシテ、其ノ職務ト云フモノガ個々ノ場合ニ現レマスルト云フト、憲法ノ範圍内ニ於キマシテ色々ノ具體的ノ事項ニ付テノ仕事ヲナサルト、斯ウマア二ツノモノデアルコトハ疑ヒナイデノアリマスルガ、併シ其ノ中デ統治權ヲ總攬ナサイマシテ、サウシテ我が國家ヲ統治シテオイデニナルト云フ此ノ事ガ天皇ノ御職務、私ハ天職ト云ツテ居リマスガ、天皇ノ職務ノ本質デアリマス、其ノ本質ノコトヲ帝國憲法デハ免ニモ角ニモ現ハシテ居リマスガ、新憲法ニ依リマススト云フト天皇ノ職務ノ本質ト云フモノハ職務トシテハチツトモ示サレテ居ナイ、固ヨリ國家ノ象徵デアルトカ、國民統合ノ象徵デアルト云フコトハ書イテアリマスケレドモ、併シソレハドウモ天皇ノ職務ト云フベキモノデヤナイノデアリマス、ソコデ何時カモ大臣ニ御尋ネ申上ゲマシタガ、是ハ別ニ此ノ事自體ハ法的ノ意味ハナイ、要スルニ是ハ

天皇ガ國家ニ於テ斯ウ云フコトハ言ハナクテモ、當然ニ性質上判斷出來ル事柄ガ唯説明シテアルトシカ取レヌ、假ニ斯ウ云フ天皇ガ國民統合ノ象徵デアルト云フヤウナコトガナイニシマシテモ、今日ノ我が國ノ狀態ヲ性質的ニ見テ象徵ト云フ言葉デ示サレルヤウナ狀態デアルコトハ疑ヒナイ、デアリマスカラ是ハ決シテ天皇ノ職務ト云フヤウナモノデヤナイト云フトハ疑ヒナイト斯ウ思ヒマスルガ、サウスルト云フト新憲法ニハ天皇ノ御職務ノ本質的ノモノハ何モ示サレテ居ナイ、此ノ新憲法デハ斯ウ云フコトニナリマシテ、現憲法ニ於ケル所ノ即チ統治權ノ總攬者、統治權、個々ノ場合ニ行使セラレテ居ル統治權ノ總攬ト統治權ノ行使トハ全然違フノデアリマシテ、統治權ヲ行使セラレテ居ル所ノ天皇ガ個々ノ場合ニ於テ行使セラレル其ノ個々ノ行使ニ付テ規定シテアルコトハ疑ヒナイ、併シソレハ現行憲法ニ依レバ決シテ天皇ノ本質デアリナイ、デアリマスカラサウ云フコトニ付テハ何モ新憲法デハ規定シテナイノデアリマスガ、天皇ノ御職務ト云フモノハ新憲法ニ付テ何モ規定シテナクシテモ、勿論言葉デ説明スルコトハ出來マスケレドモ、新憲法ニ於ケル天皇ノ職務如何、茲ニ一ツ假ニ學生デモ採用スル爲ニ、是カラ文官ノ試験ヲ金森サンガオヤリニナツテ、天

皇ノ新憲法ニ於ケル職務如何、斯ウ云フ風ニ出シタナラバ、ソレニ對シテドウ云フヤウナ答ヲシテ宜イカ、ドウモ此ノ點ガ統合ト云ツテモ職務ニナラヌト思ヒマス、ソレデ若シ何カ教ヘテ戴ケレバ大變結構ト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) ドウモ法律試験ニハ合格シサウモゴザイマセヌガ、第一章ノ中ニ御職務ニ關シマスル規定ガ列舉サレテアリマシテ、ソレガ御職務デアルト考ヘテ居リマス

○佐々木惣一君 サウ云フ列舉的ナコトヲ言ツタノデアリマセヌガ、マア宜シウゴザイマス、ソコデ國務大臣ガ仰セラレタコトデアリマスガ、統治ト云フトヲ權力、ソナコトハナイト仰ツシヤレバソレ迄デスガ、ドウモアツタヤウニ思ヒマスガ、處ガ私ノ理解スル所ニ依リマスレバ、伊藤公ナドノ御書キニナツテ居ル所ニ依リマスレバ、統治ト云フノハソナカ、即チ昔カラアル我が國「シラス」コトデアアル、斯ウ云フ風ニ教ツテ居ルノデアリマスガ、從ツテ其ノ天皇ハ、是ハ詰リ日本人全體ノ共同生活トシテアルベキヤウニ努力セラレ、又個々ノ人間ハ其ノ所ヲ得セシメルヤウニ、今日デ言ヘバ生活保障ナラ生活保障デ宜イヤウナモノデアリマスガ、サウ云フ風ナコトヲナサル、是ガ即

チ統治デアル、「シラス」ト云フコトデアル、サウ云フ職務ヲ天皇ハ實ニ御持チニナツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ統治ノ爲ニハ、併シナガラハ天皇ガ努力ナサル目標デス、其ノ天皇ガ努力ナサル目標ガ努力セラレハ爲ニ行フ力ガ必要ナノデアリマスカラ、其ノ力ノ爲ニ國家ノ統治權ト云フコトヲ行ツテ行クコトニナルノデアリマスカラ、是デ天皇ノ其ノ職務ガ國家ヲ統治スルノデアル、斯ウ云フ風ニ我々ハ伺ツテ居ルノデアリマスカラ、從ツテハハ權カヲ行使スルトカ人ヲ抑ヘ付ケルト云フモノデナイ、ソレデアリマスカラ、教育モ統治デアル、教育ハ決シテ權力ヲ使ヒマセヌ、慈善デ人ニ惠ムノモ統治デアル、時ニ併シナガラ權力ヲ使ツテ租稅ヲ取ル、兵隊ニ取ル、警察ニ入レル、是皆統治デア、權力ヲ使フトカ權力ヲ使ハナイト云フ、サウ云フ手段ノ問題デナイ、統治ト云フノハ國家ヲ「シラス」ト云フ古言ニアル通りノ言葉デアルト云フコトヲ、是ハ私ガ言フノデアリマセヌ、即チ我々ノ先覺者ガサウ云フ風ニ説明シテ居ルノデアリマスカラ、詰リサウ云フ國家ヲ統治セラレルト云フ、サウ云フ天皇ノ御職務ト云フモノガ、今後ハドウモハツキリトシテ居ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレマスカラ、サウ云フ風ニ理解スルコトハ誤リデゴザイマセウカ

○國務大臣(金森德次郎君) 廣イ

意味ノ統治ト云フ言葉ガ權力ヲ當然含ムモノデナクシテ、唯權力ヲ含ミ得ルヤウニ働クノダト云フコトハ、斯ウ云フ御趣旨ハ私モ御同感ト申上ゲテ居リマス、唯世間デ統治ト云フ言葉ハ必ズシモサウ云フ廣イ意味ニ使ハレテ居リマセヌノデ、無條件ニ指揮命令シ得ル力ト云フ風ニ定義ガ置カレテ居リマス、私ハ世俗の用法ニ從ツテ言葉ヲ使ツタ譯デアリマス、次ニ御示シニナリマシタノハ、此ノ憲法ニ於テハ天皇ノ御職務ニ關スル規定ガ理論的ニハツキリ充實シタモノデナイ、詰リ「シラス」ト云フヤウナコトニ該當スル充實シタ規定ガナイト云フヤウナ點ヲ御主眼トシテ御質疑ニナツタト存ジマスルガ、全ク左様ニ出來テ居リマス、其ノコトハ度々繰返シテ恐縮デアリマスルケレドモ、時代ノ姿ニ順ミマシテ、又過去ノ我々ノ經驗ニ顧ミマシテ、天皇ニ不測ノ禍ノ生ズルコトノナイヤウニ、御安泰ナル皇室制度ヲ樹立致シマスル爲ニハ、斯様ナ考ヘ方ガ一番妥當デア、假令權力ヲ持タナイデモ、現實ノ政治ニ權威ヲ以テ御働キニナルト云フコトニナレバ、ソレヨリ生ズル政治責任ト云フモノモ起リマセウシ、輔弼宜シキヲ失スレバ、怖ルベキ國ノ禍モ起リ得ルト思フノデアリマス、ソレ等ヲ考ヘマシレバ、天皇ガ此ノ權力ノ外ニ

立タレルコトガ望マシモノト存

○佐々木惣一君 ソレハ何デスケ

レドモ、ソレデサウ云フ天皇ガ統治ヲナサルヤウナ御地位ガアツテモ、其ノ力ヲ自ラ個々ノ場合ニ於テ發現シテ行ハセラレルト云フノデヤナイノダカラ、ソコデ從來ノ言葉デハ、輔弼機關トカ協力機關トカ、方法、機關ト云フモノガアリマスカラ、是ハ私ハ今ハ廣イ言葉デ協力機關、天皇ニ、協力スル機關、デアリマスカラ、私モ今ノ考デハ、天皇ノ協力機關ト云フモノガ誤ツテ居タノデアルカラシテ、其ノ協力機關ノ作り方ナリ、或ハ天皇ヘノ協力、サウシテ其ノ詰リ天皇ヲ協力スル所ノ其ノ方法ト云フモノニ徹底的ニ、是ハモウ私ハ外ノ方ヨリモ却テ急進的ニナルト思ヒマスルケレドモ、其ノ内容ヲ言ハナケレバナリマセヌガ、徹底的ニ改革ヲ加ヘレバ宜イノデアツテ、決シテ天皇ノ統治權ノ總攬者ト云フ地位其ノモノヲナクスルト云フ必要ハナイト云フノガ、私共ノ根本ノ立場デアリマスカラ、其ノ立場ハ、固ヨリ新憲法ノ制定及ビ之ニ關スル政府ノ方々ノ御説明ヲ伺ツテ、無論自分ノ考ヘ方ガ誤ツテ居ルカドウカハ、始終ソレコソ反省シテ居リマスルケレドモ、ドウモ其ノ考ヘ方ガ此ノ新憲法ヲ見テモ、誤ツテ居ルト考ヘラレナイモノデアリマスカラ、ソレデ斯

ウ云フ御尋ヲスル、飽ク迄モ私ハ、要スルニ天皇ガ統治權ノ總攬者デアルト云フ其ノ地位ヲ奪ツテシマフト云フ必要ハ毛頭ナイ、從來ノ過チヲ繰返サザル爲ニモ、唯協力機關ノ構成及ビ方法態度ト云フモノヲ徹底的ニ革新スベキダト、斯ウ云フ議論デアアルノミナラズ、モウ一ツ、ソレハ天皇ガ統治權ノ總攬者デアルト云フ、サウ云フ地位ヲ御持チニナツテ居ルコトガ、時ニ必要ガアルコトガアル、日本ノ爲ニ宜イコトガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ減多ニ天皇ガ統治權ノ總攬者タル地位ヲ或個々ノ場合ニ具體的ニ發現セラレテ、御自分デ命令ナサルコトハ無論イケヌ、イケヌケレドモ、併シ協力者ガドウシテモ協力出來ナイト云フ狀態ヲ示シタナラバ、ドウモ仕様ガナイ、昨年ノ終戰ト云フコトハ、實ハ天皇ノ統治權ノ總攬者トシテ御持チニナツテ居ル所ノ其ノ地位ト云フモノガ、アノ個々ノ場合ニアノ力トナツテ、命令トナツテ發動シタノデアリマス、之ヲ若シ今後、ア、云フヤウナ戰爭デハナイニ致シマシテモ、ドンナニ國家的ノ動亂ガ起ルカ分リマセヌガ、其ノ時ニ是ハ協力スル所ノ機關ト云フモノガ如何トモ能ウシナイト云フコトヲ觀念的ニ一應想像シテ御覽ナサイ、事實ハナイトシテモ、サウ云フ時ニハ、此ノ終戰當時ニ於テ天皇ガア、云

フヤウナ御聖斷ヲ御下シニナツタト云フコトヲ必要トセヌトモ限ラヌ、斯ウ云フヤウナ、單ニ私ノハ、協力機關其ノモノヲ徹底的ニ改造シタラ宜イノデアツテ、天皇ノ總攬者タル地位ヲ廢メテシマフ必要ハナイト申シマシタガ、單ニ必要ハナイト云フ消極的ノ意味ノミナラズ、時ニハ天皇ガ自ラサウ云フ行動ニ才出ニナルコトノ必要ガアルカモ知レマセヌ、一般國民ニ假ニ協力機關ト云フ國家ノ制度上天皇ニ協力スル所ノ内閣其ノ他ノ色々ノモノガ、ドウモ何トモ協力シ得ナイト云フヤウナ狀況ニナツタナラバ、却テ國民ノ力ガ：：協力機關ガ何トモ能ウセヌト云フ時ニハ、國民ノ方カラ、天皇ノ非常ナル御迷惑デアリナガラ、發動ヲ御願スルト云フコトガナイトモ限ラナイ、サウ云フ必要ハアルト斯ウ云フヤウナ考カラ私ハ積極：：極メデ稀ナ、アツテハナラヌ、從ツテ稀ニアルニシテモ、去年ノ終戰ノ如キハサウダ、天皇ガ統治權ノ總攬者トシテ御持チニナツテ居ル力ヲ、極メデ稀デアルケレドモ、時ニ現實ニ發動セラレナケレバナラヌヤウナ場合ガアリハセヌカ、唯空論的ニ言フノデハナイ、去年ノ終戰ノ事實ニ付テ考ヘル、サウ云フコトハ天皇ガ新憲法ニ依ツテ絕對ニ出來ナイノデアルガ、即チ統治權ノ總攬者ト云フ地位ヲ天皇ニ殘シテ置クト云

ト云フノハヲカシイガ、殘シテ置ク方ガ宜イノデハナイカト云フ考デアリマス、サウ云フ點ニ付テ國務大臣ノ御考ガアリマセヌデスカ

○國務大臣(金森德次郎君) 統治權ノ總攬者ノ規定ヲ省キマシタコトハ、是ハ民主主義ノ政治ヲ徹底致シマスル見地カラ言ヘバ、固ヨリ總攬者ガアツテモ民主政治ハ出來ルニ相違アリマセヌケレドモ、併シ民主政治ヲ徹底スルト云フ見地カラ申シマスレバ、總攬者ト云フ考ヘ方ヲ棄テル方ガ合理的デモアリ、且總攬者ト云フ考ヘ方ガ殘ツテ居リマスル限り、天皇制ノ御安泰ヲ確保スルニハ顧念スベキ點ガ殘ツテ居ルト存ジテ居リマス、尙非常ノ場合ニ、非常ノ措置ガ考ヘラレルトハ、是ハ事實當然ノコトデアリマシテ、此ノ新シキ秩序ガ行ハル、ト致シマスレバ、又其ノ時ニ應ズル非常ノ措置モ、如何ナル方法デアルカハ、ソレハ分リマセヌケレドモ、時ニ應ジテ日本國民ノ榮エル力ガ殘ツテ居ル限り、然レベキ方法ガ湧キ出シ得ルコトト思ツテ居ルノデアリマス

○佐々木惣一君 ソレハ其ノ點ハ御説明ヲ伺ヘバ宜シウゴザイマスカラ、何ト致シマシテ、今度ハ第四點ニナリマシテ、天皇ノ國事ニ關スル行爲委任ト云フコトガアリマシテ、是ノ趣旨ヲチヨット御尋ナシタイ、新憲法第四條、「天皇は、法律の定めるところにより、

その國事に關する行爲を委任することができる」とアリマシテ、是ハ意見デモ何デモアリマセヌ、此ノ「國事に關する行爲を委任する」と云フノハドウ云フコトヲ言フノデアリマセウカ、要スルニ第七條ナド、其ノ他ノ規定ニ於テ天皇ガナサレ得ルトシテアル其ノ個々ノ行爲ヲ委任スルコトガ出來ルト云フダケノコトデアリマス

○國務大臣(金森德次郎君) 「國事に關する行爲を委任する」と云フコトハ、必ズシモ個々ノ行爲ニ限ツテノミ委任スルト云フ趣旨デハゴザイマセヌノデ、大凡此ノヤウナ規定、即チ委任ヲ許容スル規定ニ於テ爲シ得ル有ラユル意味ニ於テヲ委任ガ致シ含マレルト考ヘテ居リマス、從ツテ全部ノ委任スルト云フコトハ是ハ考ヘラレマセヌ、併シ個々ノコトヲ委任スルト云フノモ一ツノ方法デアリマセウシ、又全部ノ委任ヲ或限ラレタ短カイ期間ニ於テ委任スルト云フコトモ考ヘラレルト思ツテ居リマス

○佐々木惣一君 サウスルト云フト、詰リ今天皇ガ憲法ニ於テ御持チニナツテ居リマスル天皇ニ屬スル行爲一般ヲ、或場合ニ誰カニ全般的ニ委任スルト云フコトモ出來ルコトニモナル譯デアリマスナ、サウスルト、ソレハ丁度幕府見タヤウナモノデアリマス、唯是ハ行爲ガ限ラレテ居ルカラ宜イガ、詰リ天皇ガ爲サレ得ル行爲ヲ全般的ニ見ル、ソレデ幕府ガサウデアツタカラ、唯モツト色々ナコトガ出來タト云フコトダケデ、サウ解シテ宜シイデアリマセウカ

○國務大臣(金森德次郎君) 幕府ト云フ例ハ此ノ場合ニ當嵌リニクイト存ジマスガ、要スルニ斯様ナ委任規定ハ、此ノ規定ガ極度ニ、考ヘ得ベキ最極度ニ活用サレタ場合ヲ豫想シマスレバ、幾多ノ議論ガ起リ得ルト思ヒマス、併シ斯様ナ規定ハ大凡或妥當ナ範圍内ニ於テ行ハレルモノト考ヘテ居リマス、此處デ普通ニ豫想シテ居リマスノハ、極ク瑣末ナト云ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 此ノ規定ハ左様ナ所迄ハ特ニ深入リシテ考ヘテ居リマセヌ、「法律の定めるところにより」と云フ條件ガ入ツテ居リマスルガ故ニ、ソレニ依ツテ法律的ニハ制約サレマスルカラ、容易ニ今假ニ御定メニナツタ場合ノ如キハ起リ得ナイモノト存ジテ居リマス

○佐々木惣一君 起リ得ナイノデスケレドモ、併シ法理論トシテハ許サレルト云フ風ニ解釋シナケレバナリマセヌノデスガ、法律ガ定メレバ、○國務大臣(金森德次郎君) ソコ迄私ハ念慮ヲ付ケテ居リマセヌノデス、マアサウ云フコトハ豫想モシテ居リマセヌ、併シ理論的ニ仰

セニナレバ出來ナイト云フコトハ御答ヘ出來マセヌデス

○佐々木惣一君 大變法律論的ニ言ツテ甚ダ皆サン御迷惑デスケレドモ、我々法律ヲヤツテ居ル者カラ見レバ、色々ノ事柄ヲ想定シマシテ、解釋ダケハ明ニシタイト云フ意味デアリマス、唯ソレダケニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラシテ今度ハ第五ニ、天皇ト内閣トノ關係ト云フコトニ付テ御尋ネ申上ダタイノデスケレドモ、是ハ内閣ノコトハ本章ノミデナシニ、後デ内閣ト云フ事柄ガ特ニ出テ居リマスカラ、其ノ時ニ又寧ロ御尋ネシタ方ガ宜イト思フ、唯茲デハ本章ニ規定シテアル内閣ト云フコトノ事柄ヲ説明スル爲ニノミ唯申上

○國務大臣(金森德次郎君) 大體ノ考ヘ方ハ、輔弼ト云フコトト同ジコトニ歸著スルト存ジマス、併シナガラ現在ノ輔弼ト云フ言葉ハ甚ダ解釋ニ幅ガアリマシテ、人ニ依ツテ恐ラク中身ニ付テ意義ヲ異

ニシテ居ルト存ジマス、デ此ノ憲法ハ斯様ニ具體的ナル文字ヲ用ヒマシタガ故ニ、ハツキリシタ姿ヲ持チ來ツタモノト存ジテ居リマス

○佐々木惣一君 サウスルト何デゴザイマスカ、色シナコトヲ御尋ネスルヤウデスケレドモ、内閣以外ノモノノ承認ハ別デスケレドモ、助言ハ差支ナイト云フコトニナルノデセウカナラヌノデセウカ

○國務大臣(金森德次郎君) 其ノ御質疑ニ對シマスル御答ガドウ云フ所ニ意義ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトヲ私ハ承知致シマセヌガ故ニ、稍ニ芒漠タル立場ニ置カレマシテ、然リトモ否トモ御答ヘシ兼ネル次第デゴザイマス、事實行爲トシテノ助言ガ個人關係ニ於テアリ得ルコトハ、是ハ何ノ不思議モナイト思ヒマス、併シ憲法上ノ效力ノアル意味ニ於キマシテハ、ソレハアリ得ナイコトノヤウニ思ツテ居リマス

○國務大臣(金森德次郎君) 天皇ガ個人タル御立場ニ於テ知識ヲ吸收サレル爲デアアルナラバ、差支ナイト考ヘマス

○國務大臣(金森德次郎君) 天皇變化的アルカト云フヤウナ御趣旨ノ御尋デアアルトスレバ、ナクテモ同ジ意味ニ歸着スルモノト考ヘマス

○佐々木惣一君 ハツキリシマシタ、サウスルト、是ハ斯ウ解釋シテ置イデ宜シウゴザイマスネ、是ハ單ニ天皇ノ個人トシテノ知識ト言ヒマスカナ、サウ云フ御德ヲナスト云フヤウナ意味デナシニ、現ニ具體的ノ現實ノ國家ノ國務ヲドウシテモ實現シテ戴キタイト云フ意味ノ助言ダト、斯ウ云フ風ニ理解シテ宜シウゴザイマスネ、現實ニ……

○國務大臣(金森德次郎君) 左様デゴザイマス

○佐々木惣一君 ハツキリト致シマシテ、大變有難イデス、本當ニ……ソレカラ此處デ御尋ネ申上ガタイノハ、第七條デスガ「天皇ハ、内閣の助言と承認により、國民のために、左の國事に關する行爲を行ふ」トアルノデスガ、言葉各メヲスルヤウデ大變苦シイノデスケレドモ、此ノ「國民のために」ト云フノハドウ云フ意味デアリマセウカ、此ノ七條ニ於ケル「國民のために」ト云フノハデスネ

○國務大臣(金森德次郎君) 「國民のために」ト云フコトハ特ニ御質疑ヲ下サル程ノ疑ノアル字トハ考ヘマセヌ、讀シテ字ノ如キモノト思フノデアリマス、唯法律的ニ、是ガナカツタナラバドウ云フ變化ガアルカト云フヤウナ御趣旨ノ御尋デアアルトスレバ、ナクテモ同ジ意味ニ歸着スルモノト考ヘマス

○佐々木惣一君 ソレハネ、實ハ私ハ非常ニ知識ノ恐ラク不足カラ致シマシタト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ、モウサウ云フ御言葉デ宜シイ、サウデセウガ、併シ私ノ御尋ネ申上ガマシタノハ、唯サウ云フ意味デヤナイ、「國民のために」ト云フノハ謂ハバ國民ニ代ツテトカ、或ハ國民ノ名ニ於テトカ、サウ云フヤウナコトノ時ニ、能ク斯ウ云フ文字ヲ使ヒマス、例ヘバ「アメリカ」政府ガ終戰時ニ於ケル所ノ我が國ノ問合セニ對シテ答ヘテ居リマスル言葉ニ、「アメリカ」政府ハ、詰リ「アメリカ」イギリス「ア、云フ四聯合國ノ政府ノ爲ニ、「ビハーフ」ト云フ文字ヲ使ツテ居リマスガ、サウ致シマスト、其ノ回答ヲシタノハ「アメリカ」政府ダケレドモ、ソレハ實ハ四箇國ノ政府ガ回答シタト云フコトニナルト云フ意味ニ於テ、此ノ四箇國ノ「ビハーフ」ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス、私ハ英語ハ能ク知ラヌノデスケレドモ、大體斯ウ云フ風ニ……サウスルト、此ノ

「國民のために」ト云フ文字ハ、或ハ此ノ翻譯ヲ讀ミマス「ビハーフ」ト使ツテアルカモ知レマセヌ、是ハ私ハ殊更見マセヌノデス、初メ兄タノヲ忘レチヤツタ、サウスルト、是ハ「國民のために」ト云フコトハ、詰リ國民ニ代ツテトカ何トカ云フ意味ニナルカドウカト云フ疑問ナンデシテネ、ソレデ輕イ意味デ御尋ネシタンデヤナイ、私自身ハ……ドウダラウ、ドチラデモ……

○國務大臣(金森德次郎君) 原案者ノ方ノ考ヘ方ハ、「ために」ト云フコトハ全ク其ノ利益ノ爲ニト云フヤウナ言葉ニ似タヤウナ意味デ使ツテ居リマス、代ツテト云フ意味デハナイノデアリマス

○佐々木惣一君 ソレナラソレデ宜イノデスガ……私ハ詰リ意見ヲ言ツテ居ルノデアリマセヌ、ソレナラハツキリ分リマシタ、原案者ノ御趣旨ガ……唯「主權の存する日本國民」ト云フヤウナ文字ガハツキリ出テ來テ居ルモンダカラ、ダカラシテ「國民のために」ト云フノハ詰リ外國文デ「オン・ビハーフ」ト云フ意味ニナリヤシナイカトチヨット疑ツタカラ御尋ネシタノデス、此ノ點ニ付テノ意見デハアリマセヌ、ソレカラ今度ハ第六ト致シマシテ、此ノ天皇ニ依ル任命ト天皇以外ノ機關ニ依ツテ指名サレルト云フコトガアリマス、ト云フノハ、天皇ガ或機關ヲ

御任命ニナル場合ニ、他ノ機關ノ指名ニ基イテト、斯ウアリマス、例ヘバ内閣總理大臣ヲ任命セラレル場合ニハ、國會ノ指名ニ基イテ、或ハ又最高裁判所ノ長タル判事ヲ任命サレル場合ニハ、内閣ノ指名ニ基イテアルノデス、是ハ運用論トシテハソシナコトハアリマスマイケレドモ、法理論トシテ、其ノ指名セラレタモノノイケナイトシテ、ソレヲ任命セラレナイト云フコトハアリ得ルノデスカ

○國務大臣(金森德次郎君) 是ハ寧ロ佐々木先生ニ御伺ヒシタ方ガ適當カト思ヒマスルガ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、憲法ガ持つテ居ル冷ヤカナル法律解釋ト、現實ノ政治ニ於ケル生キタ動キ方ト云フモノトノ間ニ存スル微妙ナ點ヲ此ノ言葉ヲ以テ解決シテ居ルノデアリマシテ、殊更ニ之ヲ法律的ニ説明セヨト仰セラレマシテモ、多少實際ニ於テ有益デナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、政治ハ此ノ通りニ動クベキ筋合ノモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○佐々木惣一君 ソレハソレデ宜イデスガ、要スルニ假ニ斯ウ云フ憲法論ガ出テ、天皇ガ國會ノ指名シタ者ヲ是ハイカヌト言ツテ任命ヲセラレヌト云フ時ニ、天皇ハ憲法違反デアアルカドウカト云フ問題ガ法理的ニ起ルノデスガ、サウ云

又日本デハ一體「インフレ」ト云

○國務大臣(金森德次郎君) 「國

民のために」ト云フコトハ特ニ御質疑ヲ下サル程ノ疑ノアル字トハ考ヘマセヌ、讀シテ字ノ如キモノト思フノデアリマス、唯法律的ニ、是ガナカツタナラバドウ云フ變化ガアルカト云フヤウナ御趣旨ノ御尋デアアルトスレバ、ナクテモ同ジ意味ニ歸着スルモノト考ヘマス

○國務大臣(金森德次郎君) 原案者ノ方ノ考ヘ方ハ、「ために」ト云フコトハ全ク其ノ利益ノ爲ニト云フヤウナ言葉ニ似タヤウナ意味デ使ツテ居リマス、代ツテト云フ意味デハナイノデアリマス

○佐々木惣一君 ソレハソレデ宜イデスガ、要スルニ假ニ斯ウ云フ憲法論ガ出テ、天皇ガ國會ノ指名シタ者ヲ是ハイカヌト言ツテ任命ヲセラレヌト云フ時ニ、天皇ハ憲法違反デアアルカドウカト云フ問題ガ法理的ニ起ルノデスガ、サウ云

フ場合ハドウカト云フノデス、今ノ御説明ハ法理論トシテハ、私ハ満足シマセスケレドモ、併シ御説明ノ趣旨ハハツキリ分リマシタカラ、ソレ以上質問スル氣ハアリマセヌ、ソレカラ是ハ平凡ノコトデアリマスケレドモ、攝政ノ性質ノコトデアリマス、第五條ノ「皇室典範の定めるところにより攝政を置くときは、是ハ宜イノデスケレドモ、攝政ヲ置クト云フ場合ニ付テハ、モウ新憲法デハ全然要件ヲ示サナイト云フ御立場デアリマサルカドウデスカ、サウノヤウデスネ、攝政ヲ置ク場合ハ、皇室典範デ總テ之ヲ規定セシメル、斯ウ云フ御趣旨ガアルカト云フコトデス

攝政ト云フ言葉ハ、君主國ニ於テ用ヒラレテ居リマスル時ニハ、自然ノ限界ト申シマスカ、常識的ニ認メラレテ居ル所ノ限界ハアルト思ヒマス、併シ其ノ限界ノ範圍内ニ於キマシテ、具體的ニ如何ナル條件ヲ當嵌メルカト云フコトハ、今回ノ此ノ草案ニ於キマシテハ、皇室典範ニ委ネラレテ居ル譯デアリマス、從ツテ又現在ノ攝政ニ關シマスル制度ト略々同ジデアラカトハ思ツテ居リマススケレドモ、併シ幾分ノ餘裕ガナイコトハナイト考ヘテ居リマス

スノハ、妙ナコトデスケレドモ、第一ニ、皇室ガ財産ヲ御持チニナルコトガ必要デアアルカト云フ點デス、單ニ法理的ニ財產權ノ主體デモアリ得ルト云フヤウナコトデハナク、皇室ハ財産ヲ御持チニナルト云フコトガ宜イノデアアルカ、イケナイノデアアルカ、サウ云フヤウナ點ニ付テ、強ヒテ何フノハ何デスケレドモ、先刻來、皇室ニハ私生活ナシトカナンカ云フヤウナ言葉ガアリマシテ、ソレヲ表面的ニ徹底スルト、皇室ニハ財產ガナイ方ガ宜イノダト云フヤウナ理論ニナルカト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ見地デ此ノ憲法ガ出來テ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ御尋ネシテ見タイト思フノデス、私ハ念ノ爲ニ、御許シヲ得テ私自身ノ考ヲチヨツト言ハセテ言キタイト思ヒマス、私ハ理念的ニハ、皇室ニ財產ガナイ、言ヒ換ヘテ見レバ、皇室ニハ御財產ガナクテモ宜イト云フヤウナ國家生活狀態ガ宜イト云フコトヲ、理想的ニハ思ツテ居リマス、併シソレハサウ云フ國家生活狀態ガ出來レバ宜イト云フコトデアツテ、常ニサウダト云フコトヲ言フノデヤナイ、サウ云フコトガ實現サレ得ル爲ニ、國家生活、社會生活上ノ或事實上ノ事情ガ前提トサレナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ私ハ、今日ハ皇室ハ財産ヲ御持チニナル建前ノ方ガ宜イト思フ、今日ハデス

ヨ、理想的ニ言ヘバ、皇室ニハ財產ガナイト云フコトデ我々ノ社會生活ガ行ハレル方ガ宜イノダケレドモ、ソレハ理想ヲ言フノデアツテ、ソナナ理想ハ今日デハ出來ナイ、ト云フノハ、皇室典範ノ全般ノ狀況ヲ見テ、矢張り皇室ハ財產ヲ御持チニナツタ方ガ宜イ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、併シ財產デ皇室ガ賄ハレルコトガ宜イト云フノデヤナイ、ソレハ八十四條ハ前ノ政府原案ノ方ガ宜イト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、皇室ハ矢張り我々國民ガ其ノ御經費ヲ獻シシテ、サウシテ皇室ノ御經費ヲ我々ガ賄フト云フ建前ノ方ガ宜イ、併シサウ云フ建前ヲ執ツテモ、今日ノ現狀ハ、皇室ガ財產ヲ御持チニナラヌコトガ事實上宜イト云フ風ナコトヲ言ヒ得ナイ狀況デアルト思ツテ居リマス、理念的ニハ、財產ナシト云フコトデ行クノガ一番宜イガ、今日ノ實情ハ、サウ云フコトハ言ヘナイト思ヒマス、併シ政府ノ方デハ、イヤサウデナイノダ、皇室ニハ財產ガナイ方ガ宜イノダト云フヤウナ建前デスカ、財產權ノ主體トシテハ認メテアルノデスカ、唯政治的ノ考デス、サウ云フコトニ付テ何カ御答ヲ得ラレマスカ、ドウデスカ

現在ノ皇室ノ財產ノ中ニ於キマシテ、特ニ收益財產トモ見ラルベキモノニ付キマシテハ、世上幾多ノ議論ガアリ、又疑惑ノ中心トナツテ居ルノデアリマス、勿論疑惑ト申シマシテモ、大部分ハ國外カラ來ル疑惑デアリマスケレドモ、兎ニ角ソレデアアルコトハ疑ヒナイト存ジテ居ル譯デアリマス、實際現在ノ日本ノ建前ニ於キマシテハ、年々四百五十萬圓ノ皇室費ヲ國ノ方カラ差出スト云フコトニナツテ居リマスルガ、四百五十萬圓デハ皇室ノ公ニ御用ヒニナル費用ト内面ニ於テ御用ヒニナル費用ヲ合算シタモノノ極ク一部分ニシカ當リマセヌノデ、此ノ實情ヲ維持スル限りハ、皇室ニ財產ガナケレバヤツテ行ケナイ、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、斯様ナ姿ニナツテ居ツテ、之ヲ中心トシテ理論的ニ幾多ノ疑惑ガアルバカリデナク、實際的ニ於キマシテハ、皇室ガ色々ナ土地其ノ他ヲ御持チニナリマスルト、ソコニハ國ノ法律ノ働キ方ガ變ツテ參リマシテ、列ヘバ地方稅ハ取レナクナル、國民學校ノ生徒ハドン／＼殖エル、學校ハ維持出來ナイ、斯ウ云フ風ナ羽目ニナリマス、其ノ解決ニ非常ニ困難ナル狀況ヲ生ジマス、又森林警察ノ如キ、一般ノ警察トハ違ツテ特殊ナル警察ガアリ、人家ノ軒ノ所ニ檜ヤ杉ガ森々トシテ繁ツテ居ル、而モ是ガ因ニナツテ

○國務大臣(金森德次郎君) 左様

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 大體

○國務大臣(金森德次郎君) 固ヨ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

○國務大臣(金森德次郎君) 既ニ

或ハ犯罪ナドノコトガ起リ、其ノ怨ミガ皇室ニ屬スルト云フコトモ現實トシテ存在シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ、理論的ニモ、實際的ニモ、支障ノアル制度ヲ何時迄モ守立シテ行ク必要ハナインデアツテ、此ノ際財產ハ基本的ナル財團トシテ方矢張り宜イノデハナカラウカ、其ノ代リ今ノ理論満足ノ結果トシテ、何カ皇室ニ御不便ガ起ル虞ガアツテハナリマセヌカラシテ、之ニ對スル相當ノ用意ヲシタナラバ宜イデハナイカ、其ノ用意ノ仕方ト云フモノガ此ノ皇室ノ私有財產ノ方面ヲ漸次充實サセテ行クコトニ依ツテ決セラルベキモノト考ヘテ居ル譯デアリマス

○佐々木惣一君 政府ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、兎ニ角ハ八十四條トノ關聯デ、私ハ又一般的ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ又CODE條文ノ解釋デスケレドモ、皇室ニ財產ヲ讓リ渡シタリ、皇室カラ財產ヲ讓リ受ケルト云フヤウナ場合ニハ、國會ノ議決ニ基カナケレバナラヌト云フノハ、是ハドウ云フ意味デセウカ、サウ云フ行為ヲ爲ス時ニ、斯ウ云フ行為ヲ爲ス其ノ行為自體ニ對スル働キヲ、斯ウ云フ行為ヲシヨウト思フ時ニ、國會ノ議決ガ必要ダト云フノデアリマスカ、唯意思決定ニハ要ルト云フノデアリマスカ

○國務大臣(金森德次郎君) チヨ

ツト御質疑ノ御言葉ニ追隨シテ、考ガ纏マリ兼ねマスルガ、此ノ意味ハ基本ニ於テ國會ノ議決ガナケレバナラヌト云フノデアリマシテ、ダカラ法律ニ依ツテ原則ヲ決メテ置イテモ宜イ、個々ノ場合ニ議決シテモ宜イト云フノデアリマシテ、基クト云フ言葉ヲ特ニ使ヒマシタノハ、委任ノヤウナコトヲ念頭ニ置キマシテ具體的ニ決メナクテモ、根本ニ於テ國會ノ議決ガアレバ宜イノダト云フノデアリマス

○佐々木惣一君 有難ウゴザイマシタ、實ハソコヲ伺ツタノデアリマスガ、ハツキリ致シマシタ、ソレカラ最後デアリマスガ、二點、天皇ノ無答責ノ規定ガ、私ハ此ノザ法ニ必要デヤナイカ、無イノデ

スガ、是ハ私ハ本會議デ御質問申上ゲタノデスケレドモ、少シ分リニクカツタ、其ノ時ニ申上ゲタ問題トシテ、例ヘバ天皇ガ刑法上犯罪トナルヤウニ行動ヲナサイマシタ時ニハ、ソレニ刑罰ヲ科スルト云フヤウナ、サウ云フヤウナ規定ヲ設ケルコトガ出來ルカト云フコトヲ御尋ネシマシタラバ、チヨツト實ハ暫ク返答ガナカッタヤウニ思ヒマスガ、併シ今日ハ其ノ返答トシテヨリモ、他ノ方ノ御質問ニ對スル御返答ノ中ニソレヲ含ンデ居ルノデアリマスガ、ソレハ即チ象徵デアルト云フコトカラ、私ハ實ハ是ハ法的意味ハナイト、斯ウ

云フ風ニ國務大臣カラハ伺ツテ居ツタノデスケレドモ、今日ハ別ニ變ツタト云フノデアリマセヌケレドモ、大河内子爵ノ御質問ニ御答ニナリマシタ御言葉ノ中ニ、確カ象徵ト云フコトカラ結果スル、其ノ結果ノ一ツトシテ何カ無責任ト云フヤウナコトガ出ルト云フ御話ヲ伺ツタガ、サウシテ例ヘバ或罰ヲ科スルヤウナ規定ハ出來ナイト云フコトヲ伺ヒマシガ、實質的ニハサウカモ知レマセヌガ、私ハドウモ象徵ト云フヤウナコトガサウ云フ或法的效果ヲ當然ニ持チ來スヤウナ、サウ云フ法的意味ヲ持ツタ言葉トハドウモ理解出來ナイ、象徵デアアルカラ無責任ノ規定ヲ設ケナケレバナラヌト云フヤウナコトノ結果ハ生ジマスルケレドモ、政治的、立法的ノ象徵デアルト云フコトヲ言ツテ居ルカラ、當然ニ天皇ハ無答責デアルト云フヤウナコトハ、ドウモ出デ來ナイト

思ヒマス、是ハドウモ仕様ガナインデスケレドモ、ソレデ私ハ矢張り憲法ノ中ニハ、我が國民ガ今日天皇ニ對シテ奉ツテ居ルヤウナ尊嚴ノ觀念ヲ害スルガ如キ方法ニ於テ天皇ノ責任ヲ問フト云フヤウナコトハ出來ナイト云フヤウナ意味ノ規定ヲ憲法ニ設ケタ方ガ宜イト、斯ウ思フノデス、併シソレハ第一條ノ解釋カラ行クト云フナラバソレデ宜イ譯デアリマスガ、併シ此ノ點ハ私ハ可ナリ茲ニ天皇ノ

無答責、即チ天皇御自身以外ノ人間、御自身デハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテモ仕様ガナイ、御自分デ：併シ他ノ方面カラ天皇ノ責任ヲ彼レ此レ言フコトハ出來ナイノデアル、斯ウ云フ風ニ規定ヲ憲法ノ何處カニハツキリトシテ一箇條設ケテ戴キタイ、是ハ解釋ガ異ツテ居ルカラ、從ツテ立法上ノ希望モ違ヒマスカラ已ムヲ得ナイケレドモ、サウ云フ私ノ希望ヲ申上ゲテ、國務大臣ノ、第一條カラサウ云フ天皇無答責ノ結果ハ、當然理上出來ルト云フヤウナ御解釋トハ、遺憾ナガラ解釋ヲ異ニスルト云フコトヲ申上ゲテ、從ツテ特別ニ無答責ノ規定ヲ設ケタラドウカト、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置クノデス、是ハ質問デアリマセヌ、私ノ意見ヲ言ウタダゲデアリマス、之ヲ以テ私ノ質疑ヲ終リマス

○委員長(安倍能成君) 次ノ順底ハ川村委員デゴザイマスガ、川村委員ハ特ニ總理大臣ニ質問ヲシタイト云フ希望デアリマスケレドモ、總理大臣ハモウ既ニ歸ラレタト云フコトデアリマスカラ、長谷川委員ニ御願ヒ致シマス

○長谷川萬次郎君 私ノ質問ハ簡單ナコトデアリマスケレドモ、第一條ニ付テト申上ゲテ置イタト思ヒマスガ、佐々木委員カラ此ノ點ニ付テモ、色々又其ノ他ノ點ニ付テ質問ガアリマシタガ、佐々木君ノ御質問ハ、法理上此ノ憲法ヲ解

釋スルニ付テ是非分ラシテ置カナケレバナラヌト云フ點ヲ刻明ニ舉ゲラレテ、一々質問サレタヤウニ覺エマスカラ、非常ニ長イヤウデアリマシタケレドモ、其ノ一々ノ點ハ、詰リ此ノ憲法ヲ法理的ニ解釋スル上ニ於テ、豫メ心得テ置カナケレバナラヌ點ヲ皆舉ゲラレテ居ル、唯其ノ間ニ少シ長イコトガ入ツテ、質問要領ガ長クナツテ、何ダカ分ラナクナツテ、サウシテ最後ニ斯ウ云フコトヲ質問スルンダト云フコトヲ重ネテ御述ニナラナケレバナラナクナツタノデスガ、最後ニ仰シヤツタコトダケヲ言ハレレバモツト簡單ニ行ツタト思ヒマスガ、併シ色々伺ツテ居ル中ニ我々ハ大イニ學問ヲシタコトニナツタノデアリマス、私ノ質問ハ之ニ反シマシテ、サウ云フ性質ノモノデヤナイ、勿論専門家デアリマセヌカラ、サウ云フ性質ノ質問ガ出來ル譯デアリマセヌガ、私ノハ此ノ憲法ヲ定メタ何ト云フカ、寧ロ國民ガ定メタノデアリマシテ、定メタ國民ノ感情、理性、心理ト云フヤウナモノニ付テ、之ヲ定メタ者ガドレダケノ理解ヲ持つテ居ルカ、又國民ハソレニ對シテドレダケ理解ヲ持テ得ルカ、又現在國民ガ理解ヲシテ居ル所トビツタリ合ツテ居ルカ、或ハ背イテ居ルカト云フ風ナ點ヲ御質問スルノデアリマシテ、解釋學トシテハ或ハ殆ド意味ガナイ質問ニナルカ

モ知レマセヌノデ、金森サンノ御返答ヲ求メルコトハ無理カト思ヒマスガ、首相モオイデニナラヌシ、兎角サウ云フ意味デアルコトヲ申シテ、更ニ此ノ問題ハ私ハ第二章デ質問スル場合ニ申上ゴウト思ヒマスガ、今日ハ簡單ニ申上ガタイト思ヒマス、茲ニ「天皇は、日本國の象徴であり日本國民統合の象徴で」アルト云フ、象徴ト云フ言葉デアルガ、二ツモ象徴ト云フコトヲ言ツテ居ルガ、日本國ノ象徴ト云フ意味ト、日本國民統合ノ象徴デアルト云フコトト確カニ違フカラ二ツ並ベタノデアリマセウ、反復ノ言葉デハナイト思ヒマスガ、サウシマスト先ノ日本國トハ何デアルカ、日本國民統合ト云フノハドウ云フコトデアルカ、法律解釋デナシニ國民ノ常識トシテ問題ニナル譯デアリマス、併シニツ嚴格ニ考ヘマスト常識論デハ間ニ合ハヌトモ考ヘラレマスガ、私共ガ此ノ條文ヲ見テ理解スル所ニ依リマスト、日本國ノ象徴ト云フノハ、日本國民ト云フモノヲ國土ト云フヤウナ意味ニツタノデハナイコトハ、ソレハ明カデアアル、日本ノ自然狀態トカ天象、氣候ト言ツタ譯デハナイト思フ、我々ガ色々飯ヲ食ツタリ仕事ヲシタリスル生活狀態ト云フ、其ノ意味デモナイト思ヒマス、詰リ法律其ノ他ニ於テ言ハレル日本國ト云フ意味デアルトスルト、政治國家ノ意味

デアラウト思フ、政治國家トシテノ日本國ト云フ意味デアルカラ、嚴格ニ言ヘバ國家ト云フ言葉ガ用ヒラレテアルカラ、日本國家ノ象徴デアルト云フコトヲ日本國ト云ハレタ、明確ニ言ツタラ、政治國家ヲ現ハスナラバ日本國家ト云ツタ方ガ宜イト思フ、次ニ日本國民統合ト云フノハ、是ハドウ云フコトカト云フト、日本ノ國民ノ集リノ象徴デアルト云フ風ナ意味ダラウト思ヒマス、日本國民ノ集リト云フト、國民ト云フノハ一體……國民ト云フ言葉ガ憲法ニ頻リニ使ハレテ居ルガ、是ノ觀念ハ當リ前ニ使ハレテ居ルト思フ、國家ノ人民、昔デ言ヘバ「シテイ」、都市ノ市民ト云フコトガ、アレト同ジ意味ニ於テ、國家ノ人民ト云フ意味ト思フ、處方日本人ニハ國家ノ人民トシテノ意味ト、日本ノ社會ニ生キテ居ル人間トノ見方ト二ツアルト思フ、是ハ日本ベカリデハナイ、何處ニモアルト思ヒマスガ、此ノ日本國民ノ統合ト云フ意味ハ、國家ノ國民ノ統合ト云フ意味トスルト、日本國家ノ象徴ト云フ言葉ト重語ニナル、之ヲ別ノ意味ニ於テ茲ニ揭ゲラレタト云フノハドウ云フ意味カト云フノデ、參考ノ爲ニ英譯ヲ讀ンデ見ルト、英語ハ私ニハ能ク分リマセヌガ、アドノ方ニ「ビープル」ノ「ユニテイ」トアル、ソレデ幾ラカ分ツテ來ル、「ビープル」ト云フト、國家ノ

人民ベカリデハナイ、廣ク人民ト云フ意味デ、昔ノ「シテイ」ノ市民ト云フ意味ベカリデナク、國民ト云フ意味ベカリデモナイ、「ビープル」ト云ヘバ、寧ロ日本人ト云ツタ方ガ宜イト思フ、「ビープル」ヲ現ハス適當ノ譯語ハ日本ニハナイ、民ト云フガ、詰リ民ト云フノデモナイ、適當ナ譯語ハ中國語ニモ日本語ニモナイ、唯「ビープル・ユニテイ」ヲ本當ニ解釋スベキ言葉ト言ヘバ、何カソコニ新ナ造語ヲ作ルカ、日本人ノ結合ト云フヤウニ書クカガ、一番正確ナ現ハシ方ト思ヒマス、サウシマスト、ドウ云フ譯デ、斯ウ云フ字ガ出テ來タカ、「ビープル・ユニテイ」トアルベキ處ヲ國民統合ト云ツタノハ、是ハ先程申シマシタ通り、過去ノ日本ノ國民ナリ、國家ナリノ行動ニ對スル反省ガ足りナイト云フ處カラ來タノダラウト思フ、心理的ニ申シマスト後悔シテ居ナイ、後悔ガ足りナイ、ソレハドウ云フ意味カト云フト、何デモ國家ニ持つテ行カウトスル今迄ノ考ヘ方、人間ガ生キルノハ國家ノ爲、家ノ爲ト云フヤウナ、詰リ一種ノ結合體ヲ絕對ト見ル古イ考ヘ方ニ基イタモノデアアル、基イタコトガドウシテモ拔ケ切レナイカラ、人間ト云ヘバ國民ノ結合、國民ノ結合ト云ヘバ直グ結合……統合ト云フノハ統べルト云フ説明ガアツタガ、政治的ノ意味ヲ以テ統

合スルト云フ風ニ思ツテ來ル、サウデナク「ビープル」ノ「ユニテイ」ト云フ意味デ、天皇ハ「ステート」ノ象徴デアルト同時ニ、日本人ト云フ「ビープル」ノ象徴ト云フ意味ト思フ、サウスルト二ツ言葉ヲ持つテ來ルノガハツキリシテ來ル、前々カラ、本會議以來法理學者諸君カラ色々御質問モアリマシタガ、此ノ生活ノ反省、今迄ノ國家的生活、個人的生活ニドレダケ誤ツタ日本人デアツタカト云フコトノ反省ガ、マダ……質問者ニモ、答辯サレル政府者ニモ、サウ云フ反省ガ足りナカツタカラ、其ノ點ニ於テハ兩方共一致シテ居ル、喰ヒ違ヒハ唯些細ナ法理論ダガ、此ノ憲法ガ出ルト云フ必要ヲ何デ持つテ居ルカト云フコトハ、サウ云フ法理論デハナイ、法理上正確ナ民主主義、自由主義ノ憲法ガ出來ヨウト云フノデハナイ、如何ニ日本人ヲ改造スルカ、日本人ノ心理的ノ誤リヲ如何ニ誤ラスヤウニ持チ直スカト云フコトノ問題デアアル、ソレニモ拘ラズ、サウ云フ意思ガナイカラ、直グニ國民統合ト云フヤウナ字ヲ持つテ來ル、ソレハ日本人ガ色々今後モ嫌疑ヲ受ケル理由ニナルト私ハ思ヒマス、此ノ反省ノ足りナイノハ、恐ラク教育ノ誤リデアルガ、或ハ教育ト云ツテモ、國家教育ベカリデナイ、社會一般ノ教育教養ノ方針ガ誤ツテ居ツタト云フカ、方針ノ

誤リベカリデモナイ、國民心理ガサウ云フ處ニ立脚シテ居ツタカラ、教育モ、教養モ、サウ云フ處ニ行ツタノデ、間違ヒハ各個人ノ心掛ケデ、ソレヲ纏メル指導者ノ誤リデアツタト云フカ、第一條ガ既ニサウ云フ誤リヲ表現シテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアリマシテ、私共カラ云フト、折角象徴ト云フ言葉ニ依ツテ、日本ノ天皇ヲ保存シ、天皇ヲ意義アリ、價值アル御地位ニ安全ニ保ツテ置カウト云フ、日本國民ノ意思ナリ、又世界一般ノ好意ガ能ク現ハレテ居ナイト思フ、ソレヲ今迄ノ長イ間ノ此ノ質問應答ニ於テ少シモ指摘サレナカツタト云フコトハ、是ダケ知識ノアル方ガ集ツテ居ツテ色々ノコトヲ言ハレルガ、如何ニ國民トシテ、又國家ヲ擔ツテ居ル方々ノ資格ガ足りナカツタト云フコトヲ證明スル譯デ、今後ノ危險ガ、其處ニ多分ニ潜ンデ居ルト思フノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、私ハ此ノ第一條ハ是非何トカ書直シテ戴キタイト思フ譯デアリマス、書直サレル場合問題トナルノハ、是ハ少シ總論ノ方ヘ戻ツテ恐縮デアリマスガ、總論ノ質問ハ取消シマシタカラ、チョツト補充サシテ戴キタイト思フノハ、此ノ第一條ノ解釋ニ少シク關聯シマスガ、國民統合ト云フノニ見マスト、私ハ政治的ノ意味ガアル、政治的ノ統べルト云フ字ガイケナイト申

シマシタ、ソレハ人民ノ結合デア
ルト申シマシタガ、然ラバ人民ノ
結合ト、政治的ノ結合トハドウ違
フカ、人民ガ結合スレバ政治體ヲ
成スノチヤナイカ、ト云フ疑ヲ生
ズルカモ知レマセヌガ、サウデハ
ナイ、是ハ法理學的ノ範圍ヲ超エ
テ社會學的ノ見地カラ説明サレナ
ケレバナラヌト思ヒマスガ、人民
ノ結合ト云フト、政治以前ノ形
態、政治體以前ノ問題、政治體ノ
根據トナル客體デアリマシテ詰リ
實體デアリマス、人間の結合、ソ
レガ「ユニテ、オプ、ビーブル」
デアアル、ソレカラ國家ト云ス
方ハ、其ノ「ユニテ、オプ、
ビーブル」ガ政治的ニ結合サレテ
國家ヲ成シタ場合ノ即チ國家デア
リマス、此ノ點ニ於キマシテ、「イ
ギリス」ノ社會學者ナドハ上ヲ
「ステート」ト言ヒ、下ヲ「コン
ミュニテ、オプ、ビーブル」ト
言フツテ、「コン
ミュニテ、オプ、ビーブル」トハ
對立スベキ、反對ナ性格ヲ持ツタ
モノデアルト云フコトヲ説イテ居
リマスガ、私ハソレニハ同意致シ
マセヌ、「ステート」ト「コンミュ
ニテ、オプ、ビーブル」ガ對立スルヤウニナ
ツタノハ、詰リ政治ノ性格ガ誤ツ
タカラ、政治ノ性格ガ誤ツタト
言ツテハ語弊ガアリマスガ、「コ
ンミュニテ、オプ、ビーブル」ト對立スルヤウ
ナ形態ヲ執ツタコトガ、「イギリ
ス」ノ社會學者ノ言フ如ク「ス
テート」ト「コンミュニテ、オプ、

ハソレ自身對立スルヤウナ考ヲ持
タセラレタ所以ダト思ヒマス、根
本的ニ考ヘマスト「コム、ユニ
テ、オプ、ビーブル」トハ決シテ對
立スベキモノデハナイ、現ニ二十
世紀ノ今日ニ於キマシテハ、「ス
テート」ト「コンミュニテ、オプ、
ビーブル」ト「ユニテ、オプ、ビー
ブル」ヲ一ツノモノニシヨウト云フノガ
此ノ憲法ノ趣旨デアリ、又各國ノ
精神デモアリマス、其ノ精神ノ主
ナル所ハ何デアアルカト云フト、所
謂政治體トシテノ國家ハ、詰リ人
民ノ結合體、實體ノ結合體ヲ保護
シ、其ノ危險ヲ豫防スルト云フ義
務ガアル、其ノ義務ガ主デアリマ
スカラ、從ツテ「ユニテ、オプ、
ビーブル」ガ互ニ爭ヒテ生ジ
マス、爭ヒテ生ジタ場合ニ、國家
ガ人民ニ代ツテ武力ヲ以テソレヲ
防ガナケレバナラヌト云フコトニ
ナリマスカラ、自ラ國家ノ性格ニ
武力ガ伴フ、軍權ガ伴フト云フコ
トニナル譯デアリマシテ、其ノ意
味カラ申シマスト、國家ト云フモ
ノハ、「コンミュニテ、オプ、ビーブル」ノ平和
ヲ妨ゲラレナイ爲ニ國家ト云フモ
ノニ武力的防禦ヲ委ネルノデアリ
マス、ダカラ「コンミュニテ、オ
プ、ビーブル」ト云フモノノ本質的
ナ性格ハソレ自身平和的ナ性格デア
リマス、國家ト云フモノハ之ニ反シ
テ防禦ノ態勢ヲ執ラナケレバナラ
ヌガ、又場合ニ依ツテハ攻撃ノ態
勢ヲ執ラナケレバナラヌ、從ツテ武
力的デアルト云フコトハ已ムヲ得

ナイト思ヒマス、此ノ頃言ハレマ
ス世界平和ノ觀念ニ依リマスト、
國家モサウ云フ對立ヲ止メナケレ
バナラヌ、武力抗爭ヲ止メナケレ
バナラヌト云フ考ヘ方ガアル、是
ハドウ云フ所カラ生ジタカ、「コ
ンミュニテ、オプ、ビーブル」ト「
ユニテ、オプ、ビーブル」トガ互ニ爭
フ、カラ國家ガソレヲ代表シテ戰
ル「ユニテ、オプ、ビーブル」ト云
フモノガ互ニ世界のニ平
和ニナリサヘスレバ、國家モ武力
ヲ持タズニ済ムト云フ觀念カラ來
テ居ル、デスカラ之ヲ嚴格ニ區別
シテ觀念的ニ考ヘル必要ガアルカ
ラ、「イギリス」人ノヤウニ極端
ニサウ云フ風ニ言ツテハイケナイ
ガ、要スルニ終極ニ於テハ一致ス
ベキモノデアルト考ヘナケレバイ
ケマセヌ、今度ノ憲法デハ、日本
ハ「コンミュニテ、オプ、ビーブル」
ニシヨウ、武力ヲ持タナイ「ユニ
テ、オプ、ビーブル」ト云フ國
家ニシヨウト云フノガ此ノ憲法ノ
本旨デアルト思ヒマス、サウシマ
スト、天皇ハ「ユニテ、オプ、
ビーブル」ノ象徵デアルト云フコ
トガ重大ナ意味ヲ持ツテ來ルノデ
アリマスガ、是ハ日本ノ天皇ノ詰
リ昔カラノ傳統ダツタト思ヒマ
ス、私共ハ日本ノ天皇ハ國家ノ對
立抗爭的、武力的ナ方面ヲ象徵サ
レタモノデナクシテ、絕對平和的
ナ生活結合ヲ象徵サレタモノデア
ルト云フノガ日本ノ天皇ノ性格ダ

ト思ヒマス、其ノ意味カラ言ツテ
モ、日本國家ノ象徵デアルト云フ
ヨリハ、日本國民結合ノ象徵デア
ルト云フコトノ方ガ、天皇ノ性格
ヲ表ハスノニ本質的ニ當ツテ居ル
ト言ハナケレバナラヌト思ハレマ
ス、從ツテ此ノ「ユニテ、オプ、
ビーブル」ト云フヤウナ意味
ニ現ハサウトスルト、ドウシテモ
國民結合ニ統ト云フ字ヲ使フニ使
フコトハ私ハ甚ダイケナイ、サウ
云フ心理的ナ非常ニ「デリケート」
ナコトガ感ゼラレル、所謂感性ガ
足リナイト云フコトガ、今ノ高級
ナ知識階級ノ缺點デアリマスガ、
ソレモ此ノ男女關係トカ、愛情關
係トカ、夫婦關係ト云フコトニナ
リマスト、相當「デリケート」ナ
作用ヲ持ツテ居リマスケレドモ、
公ノ性格ニ於キマスルサウ云フ心
理ノ「デリケート」ナ點ヲ缺イテ
居ルト云フコトガ、日本ノ「イン
テリゲンツイア」ノ缺點ダト思ヒ
マスガ、ソレガ茲ニ現ハレテ斯ウ
云ツタ文字トナツタト思ヒマス、
サウ云フコトヲ申シマスト、恐ラ
ク少數意見トシテ、此ノ憲法ハ此
ノ文字ノ通りニナツテ現ハレルカ
モ知レマセヌガ、其ノ少數意見コ
ソ本當ノ日本人ノ日本ニ、國家ノ
再興ヲ支配スル心理デナケレバナ
ラス、感性デナケレバナラヌ、觀
念デナケレバナラヌト云フ風ニ私
ハ信ジテ居リマス、此ノ少數意見
ガ多クノ日本ノ高級ナ「インテリ

ゲンツイア」ナリ、政府當局者ナリ
ニ理解サレ、背カレルト云フコト
ニナリマシテ、初メテ日本ハ世界
ノ信賴ヲ得ルヤウナ平和國家ニナ
リ得ルノダト思ヒマス、動モスレ
バ斯ウ云フ文字ヲ使ツテ、斯ウ云
フ觀念カラ離レルコトノ出來ナイ
間ハ、此ノ憲法ガ出來マシテモ、
日本ハ各國ノ猜疑ノ的トナルト思
ヒマス、デスカラ自分ト致シマシ
テハドウシテモ此ノ文字ヲ改メテ
戴キタイト考ヘテ居リマスガ、之
ニ對シテ政府トシテハドウ云フ御
考デアリマスカ、伺ヒタイト思ヒ
マス

○國務大臣(金森傳次郎君) 國民
結合ノ象徵ト云フ言葉ヲ持ツテ居
ル基本的ナ意味ニ付キマシテハ、
只今御教ヘテ受ケマシテ、長谷川
委員ノ仰セニナリマシタ方向ニ於
テ政府モ考ヘテ居ル譯デアリマ
ス、唯其ノ思想ヲ國民結合ト云フ
言葉デ現ハシタ方ガ適當デアルカ
適當デナイカト云フコトガ、御意
見ノ中ニ現ハレマシタケレドモ、
其ノ點ニナリマスト、此ノ言葉デ
以テ相當ノ程度迄言ヒ現ハシテ居
ルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居リマス、サウシテ此ノ
憲法ノ建前ガ、從來ハ個人ト國家
ト云フ二ツノ兩端ノミヲ見テ憲法
ヲ規定シテ居ツタト云フノニ對シ
マシテ、ソレデハ不十分デアアル、
茲ニ國民結合ト云フ一ツノ思想ヲ
用フベキ基本的ナ性格ヲ明カニシ

ヨウト、斯ウ云フ考カラ入ツテ居
リマス、偶々文字ガ不十分デア
ト仰セニナリマシタガ、此ノ文
ニ關シマスル心ノ持チ方ガ、人々
ニ依ツテ非常ニ細細ナ動キヲ致
スモノデアリマシテ、私共ハ是デ正
シイト斯ウ申上ゲル外ニ、今ノ處
御答ヘスル途ヲ存ジマセヌ

○長谷川萬次郎君 今ノ御答辯デ

ソチヲ御心持ハ能ク理解シマシ
タガ、私ハ甚ダ危イ御心持デア
ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソ
カラ其ノ裏ニ或ハモツト何か深
イ御考ガ：是モ法理上ノコトデア
リマスガ、此ノ前カラ屢ミアリマ
シタ國體ノ變革ト云フ風ナコトヲ
否定サレル心理ガ矢張りソレニ關
聯シテ、今ノヤウナ御答ガ出ルノ
デヤナイカト思ハレマスガ、是モ
私ハ寧ロ世界ニ對スル日本ノ地位
ヲ明カニスルノモ、國體ヲ變革シ
タト云フコトヲ明カニ言ハレタ方
ガ宜イト思ヒマスシ、又學理上國
家ヲ變革シタト考ヘテ少シモ違ヒ
ハナイト思ヒマスガ、國體ガ變革
シタト考ヘルベキデハナイカト言
ハレタ方々ノ考ヘ方モ今私ガ申シ
マシタ説明ノ點ニ觸レテ居リマセ
ヌ、ト云フノハ、此ノ日本國家ト
云フモノノ性格ガ變ツタコトハ、
國體ノ變革デヤナイカ、ダカラ國
體ノ變革ト云フモ宜イデヤナイ
カ、政府ノ方デハ國體ト云フ言葉
ハ曖昧デアルト云フコトデアリマ
シタガ、「フアンダメンタル・キ

ヤラクター」ト云フヤウナ言葉ガ
出マシタガ、モウ一步進ンデ、學
理上、法理的ノ考ヘ方、社會學的
ノ見地カラ申シマス、差支ヘナ
イコトハ明カデアリマス、詰リ國
體變革ト云フノハ、政治形態ガ、
上ノ方ノ日本國家ノ「ポリティカ
ル・ボディ」トシテノ國家ノ政治
形態ガ變ツタノデアリマスカラ、
下ノ方ノ「ユニティ・オブ・ビー
ブル」ト云フモノハ變ラナイ、實
體ハ變ラナイ、ダカラ國民統合ト
云フ政治的言葉ヲ用ヒナケレバ、
チツトモ國體ノ變革ト云フコトヲ
言ツテモ差支ナイ、之ヲ今ノ法理
學者モ、上ノ國家ノ方バカリデ變
ツタカ變ラヌカト云フコトヲ言フ
ガ、變ツタノハ上ノ國家デア
ル、今日流行ノ粉食デ、小麥「パン」
ヤ餅作りマスガ、小麥ハ「ユニ
ティ・オブ・ビーブル」、電熱器ヤ
何かデ作ツタ「パン」ガ國家、其
ノ「パン」ニハ、フクラシ粉ヲ入
レテフワ／＼ニシタモノガアリ、
搗イテ餅ニシタ固イノモアル、ソ
レガ國家ノ「フアンダメンタル・
キヤラクター」デア
ル、固イノヲ
專制封建的政體ニ譬ヘマスト、軟
カイ、フクラシ粉ヲ入レタ「パン」
ハ民主主義政體デア
ル、併シ小麥
ト云フモノニハ變リハナイ、所謂
「ユニティ・オブ・ビーブル」ハ變
ラナイ、國體ノ變化ト云フモノ
ハ、國民ノ性格ノ變化トハ又別ノ
モノデア
ル、ソレデ何時カ金森サ

シガ國家ノ持續性ガ失ハレル處ガ
アルト云ハレテ、「ソビエート」ノ
例カナンカ言ハレマシタガ、アノ
場合ハ「ソビエート」ハ詭辯ヲ弄
シタノデ、アレハ舊國家ノ債務ナ
ドヲ問題ニサレルト生存ガ出來マ
セヌカラ、生存權ノ問題カラア、
云フ主張ヲサレタトモ言ハレマス
ガ、ア、云フヤウニハ行カナイト
思ヒマス、詰リ「ユニティ・オブ・
ビーブル」ノ實體ガ變ラナケレ
バ、幾ラ名ガ變ツテモ專制封建時
代ノ責任ハ負ハナケレバナラナ
イ、惡人カラ善人ニナツタト云
ツテ、惡人時代ノ責任ヲ負ハナイト
云フコトハ言ヘナイノデ、自由國
家ニナツテモ封建國家時代ノ責任
ヲ負ハナイト云フコトハナイ、國
體ガ變化サレタト云ツテモ、小麥
ハ小麥、フワ／＼ニナツタカ、餅
ニナツタカト云フコトガ「フアン
ダメンタル・キヤラクター」デ、
「フアンダメンタル・キヤクター」
ガ國體デモ、チツトモ「ビーブル・
オブ・ユニティ」ハ變ラナイカラ
國家ノ持續性ガ失ハレルト云フコ
トヲ考ヘルノハ間違ヒガラウト思
フ、サウ云フコトニ危險ヲ感ジマ
シテ、成ルベクソレニ觸レナイヤ
ウニト云フヤウナ考ガアリマス
ガ、私ノ今申上ゲタコトハ、斯ウ
云フ色々ノ煩ハシイ文句ガ出來タ
リ、文字ノ使ヒ方ニナツテ居ル
ガ、要スルニ私ノ意見ハ少數意見
ニ止マリマセウガ、若シ出來得ル

ナラバ此ノ少數意見ニ御賛成下サ
レバ、サウ云フ御心配ハナク國體
ハ變ツタト云フコトヲ言ハレルト
思ヒマス、斯ウ云フ場合ニ、モツ
ト平明ナ、サウ云フ政治的頭ヲ持
タナイ文字ヲ：文字ハ觀念ノ反
映デアリマスカラ、其ノ文字ニ依
ツテ觀念ガ如何ニ變ツテソレガ開
達ツテ居ルカト云フコトガ分ルノ
デアリマス、ソレデモ此ノ文字ヲ
改メラレナイデモ宜イト云フ所
ニ、日本國民トシテノ完成ガマダ
駄目デア
ルト云フコトヲ證據立テ
テ居リマス、ドウカ一ツ長イ間
ニ、長イ間ト云ツテモ此ノ憲法ガ
成立スル迄ノ間ニ御考ヲ願フト有
難イト思ヒマスガ、是ハ希望デア
リマス、モウ是レ以上別ニ御答ヲ
求メルコトハナイノデア
リマスガ、唯字句ノ問題ニナリマスケレ
ドモ、「主權の存する日本國民の
總意に基く」ト云フヨリハ、私ハ
「日本國民の總意に基く」ト云フ
ノデ宜イノダラウト思ヒマス、ト
云フノハ、日本國民ニ主權ガアラ
ウトナカラウト：日本國民ニ主
權ガナイト云フコトハナイガ、何
處ニ主權ガアラウトナカラウト、
其處ニ天皇ノ政治的權力ヲ持チ出
ス必要ハナイ、詰リ「象徵」ト云フ
コトハ、數千年來ノ傳統ヲ保存サ
レル爲ニ茲ニ考ヘラレタコトデア
リマスカラ：國民ニ主權ガナイ
ト云ツタ時代デモサウデア
リマス、主權ガ國民ニ出來タ時代ニ初

メテ天皇ガサウナツタノデヤアリ
マセヌカラ、「主權の存する」ト云
フコトヲ「日本國民の」フ條件ニス
ル必要ハナイト思ヒマスカラ、此
ノ言葉ハ要ラナイト思ヒマスガ、
總テ斯ウ云フ要ラナイ言葉ヲ苦
心サレテ加ヘタリスル所ニ實際
ニ客觀的事實：日本ノ天皇ノ象
徴ト云フ性格ハウマイ表現ト思ヒ
マスルガ、其ノ表現ガ事實日本ノ
歴史ノ上デドウ云フ意義ヲ持ツカ
ト云フコトヲ理解サレナイカラ、
特ニ此ノ「主權の存する」ト云フ
文句ヲ加ヘタノデス、歴史ヲ遠觀
シテサウシテ能ク理解シテ居ラレ
ルナラバ、コンナ言葉ヲ使ツテ行
ク必要ハナイ、日本國民ハ主權ガ
何處ニアラウト、天皇ハ日本國民
ノ象徵デア
ルト云フコトデア
リマス、是等ハ總テ客觀的ナ認識ヲ缺イテ
居ル所カラ來テ居ルノデア
ル、斯
ウ云フ色々ノ煩ハシイ文句ガ出來
タリ、文字ノ使ヒ方ニナツテ居ル
ガ、要スルニ私ノ意見ハ少數意見
ニ止マリマセウガ、若シ出來ルナ
ラバサウ云フヤウニナサレタイト
思ヒマス、「主權の存する」ト云フ
文字ヲ政府ハ初メハオ入レニナラ
ナカツタノダカラ、政府ハソンナ
モノヲ入レナクテモ宜イト思ツテ
居ツタニ違ヒナイノデア
リマス
カラ、此ノ點ニ付テノ質問ト云フヨ
リハ御賛成ヲ申上ゲル次第デア
リマス、是デ質問ヲ打切りマス

○下條康慶君 私ハ若干ノ事項ニ

付キマシテ簡單ニ御尋ネ致シマス、御尋ネシタイ點ノ第一ハ、第一章ニアリマス「助言」ト「承認」ト云フコトヲ實際ニ行フ段取りノコトデアリマスガ、是ハ衆議院ニ於ケル御説明ニ依リマシテ、「助言」ト云フノハ内閣カラ天皇ニ申上ゲル場合デアリマス、「承認」ハ天皇ノ行動ニ對シテ之ヲ承ケテ承認スルト云フ風ニ承知シテ居ルノデアリマスガ、「助言」カ「承認」カ一ツアレバ宜イカト思フノデアリマス、「助言」ト「承認」ト二ツ並ベテアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

或ハ此ノ以外ニ、天皇ノ方カラ直接御發動ニナツテ、サウシテ天皇カラ衆議院ヲ解散スベシト云フ御言葉ガアツテ、ソレニ對シテ承認スルト云フコトガアルノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

テ、佐々木委員ガ前ノ機會ニ能ク言ハレマシタヤウニ、飽ク迄モ此ノヤウナ方針ヲ以テ御行動ヲ願ヒタイト云フ内容ナル主張ヲ含ンデ居ルモノト解シマスルガ故ニ、其ノ主張ヲ含ンダ意味ニ於テ助言ト云フ言葉ヲ御解釋ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、極メテ之ヲ法理的ニ緻密ニ言ツテ、今下條委員カラ御尋ネナリマシタヤウナ場面ハ、法律學ノ教室ニ於テハ固ヨリ論議シナケレバナラヌ問題トハ思ヒマスケレドモ、斯様ナ場合ニハ先ヅ立憲政治ノ常道ニ依ツテ動クモノト考ヘル程度ニ於テ御答ヲ申上ゲタイト存ジテ居リマス

ウ云フヤウニ見ルコトハ無理デアリマシテ、其處ノ所ハ政治的ノ讀ミ方デ行クベキモノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、想ヒ起シマスルガ、衆議院ニ於キマシテ、確カ細道君デアリマシタカ、誰デアツタカハツキリ覺エテ居リマセスガ、天皇無答責ト云フコトノ基本的ナ基礎ガ此ノ憲法ノ中ニアルカト云フ御尋ガアリマシテ、其ノ論旨ハ今御觸レニナリマシタ點ニ就テ居リマシテ思フテ居リマス、詰リ天皇無答責ト云フコトハ天皇ニ過失ガ起リ得ナイト云フコトト並行シテ考ヘナケレバナラヌデヤナイカ、然ルニ此ノ憲法デハ、内閣カラ申上シタコトヲ其ノ通り天皇ハ行ハセラレナケレバナナイト云フハツキリシテ規定ガナイノダカラシテ、斯ウ云フ風ニ書イテモ、是ハ天皇ノ行爲ヲ立憲的ニ規正スルト云フハツキリシテ根據ハナイノデ、昔ノ不可解ナ、ナント申シマスカ、濫用サレタ天皇制ガ是カラ生レテ來ルノデハナイカト、斯ウ云フ風ノ御質疑ガアリマシテ、私ハ其ノ時ニ御答ヲシタト記憶シテ居リマスルガ、其ノ御質問デ摘出セラレタ點ハ、法律的ニ言ヘバ甚ダ鋭ナルモノガアル、併シテ政治的ノ判斷ヲ加ハテ見レバ解釋ハ自カラ明カデ、サウ云フ場合ニハ間違ツタ結論ハ出ル餘地ハナイト云フヤウニ御答ヘシテ置キマシタ、大體ソナ風ニ

○國務大臣(金森德次郎君)「助言」ト「承認」ト云フノハ、觀念的ニ斯様ニ分ケテ譯デアリマスケレドモ、實際ノ行爲ノ現象的ナ姿ニ於キマシテハ、多クノ場合ニ關聯シテ、何處カラ何處迄ガ「助言」デアリ、何處カラ何處迄ガ「承認」デアリカ分ラナイヤウナ形ヲ以テ行ハル、ノデハナカラウカト思フテ居リマス

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○下條康麿君「ソレデ伺ヒタイノハ、例ヘバ今ノ天皇ガ衆議院ヲ解散スベシト仰セラレタ場合、内閣ガ承認スレバ宜シ、シナイ場合ニハソレガ行ハレナイ譯デアリマスルガ、其ノ逆ノ場合デ、内閣カラ衆議院ヲ解散スベシト云フコトヲ申上ゲタ場合ニ於テ、天皇ノ側ニ於テ御取上ゲニナラナイコトガ出來ルノデセウカ、消極的ノ場合ニ」

○下條康麿君「大體金森サンノ御考ハ分リマシタ、ソレカラ次ノ問題ニ移リマシテ、皇位繼承ノ制定手續ニ付テ、實ハ皇位繼承ノ皇室典範ノ制定ノ手續ニ付テ伺フノデアリマス、皇室典範ガ法律ニ依ツテ制定セラレルト云フコトヲ伺ツテ居リマスルガ、其處ニ其ノ内容ガ、或ハ先程モ金森サンカラ御答ガアツタヤウニ、例ヘバ現在男子ノ天皇ノミヲ認メルコトニナツテ居リマスルガ、場合ニ依ツテ將來女帝ト云フコトモ考ヘラレルト云フヤウナコトモ御答ガアツタヤウニ思ヒマス、例ヘバ或機會ニ於キマシテ女帝ヲ置イタ方ガ宜イト云フヤウナコトデ、其ノ皇位ニ即キ得ル内親王ヲ擁立シテ、政黨ト結び付イテ多數ガ過半數デ法律ヲ通シテ豫定ノ天皇ヲ作ルト云フコトモ可能デアルト思ヒマス、元來斯様ナ國ノ大事ガ容易ク法律ノ改廢ニ依ツテ動クヤウナコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデ法律ニ依ルト云フコトハ、此ノ第七條ノ第一號ニハ憲法改正、法律、政令、條約ヲ公布スルト云フ規定ガアリマスガ、此ノ中ニ皇室典範ト云フモノガナイノデ、此ノ全般ノ解釋デハ出來ナイヤウニ思ヒマスルガ、之ヲ假ニ容認致シマシテモ、此ノ改正ノ時ニハ、ナン

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

○國務大臣(金森德次郎君)「民主政治ノ通體ト申シマスカ、立憲政治ノ基本原則ト申シマスカ、斯様ナ場合ニハ自ラ一定ノ解釋ガアルモノト思フノデアリマス、ソレハ助言ト云フ言葉ノ斯ウ云フ場合ノ使ヒ方ノ上ニ含ンデ居ル意味ト致シマシテハ、單ニ言葉ヲ以テ、知識ヲ申上ゲルト云フノデハナク

處ニ多少慎重ナ手續ヲ加ヘルコト
が必要デハナイカ、例ヘバ議決ニ
付キマシテモ、過半数ニ非ズシ
テ、三分ノ二トカ、或ハ三分ノ
二ニ依ルコトヲ憲法ニ規定出來レ
バ結構デアリマスルガ、或ハ近ク
出來ル皇室典範法ノ附則ノ中ニデ
モ置クトカ、此ノ内容ガ國ノ
大事デアルト同時ニ、皇室ノ、天皇
御自身ノ御事ニ關スルコトモ多
イノデアリマスルカラ、或ハ天皇
カラノ發議ニ依ツテ國會ニ掛ケテ
議スルト云フヤウナ、色々ナ慎重
ヲ期スル方法ガアラウト思ヒマ
ス、サウ云フ方法ハ御探リニナル
御考デアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 皇室
典範ニ付キマシテハ、此ノ憲法自
體ニ於テハ、名前ハ違ツテ居リマ
スルガ、性質ハ普通ノ法律デア
ル、故ニ法律一般ノ制定手續ト全
ク同ジ手續ヲ以テ行ハルコト云フ
風ニ考ヘテ居リマス、仰セ迄モナ
ク、皇位ノ繼承ト云フコトハ重大
ナルコトデアアルコトハ固ヨリデア
リマスケレドモ、併シハ法自體ト
對比スル關係ニ於キマシテハ、非
常ニ複雑ナ立法ノ手續ヲ設ケマス
ルヨリモ、普通ノ法律手續ニ隨ツ
テ、之ニ對スル國民ノ緊張シタル
心理ヲ以テ議決セラルコトガ妥
當デアアル、斯ウ云フ解釋デアリマ
ス、尙或一ツノ考ト致シマシテ
ハ、斯様ナ特殊ナ法律ハ、憲法上

ノ手續トシテハ固ヨリ此ノ憲法ノ
豫期スル途ニ依ル外ハゴザイマセ
ヌケレドモ、斯様ナ法律ノ案文ヲ
準備スル前提ニ於テハ、其ノ慎重
ヲ期スル方法ニ付テ研究スベキ場
面ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ
論モアリマシテ、是等ノ點ハ念頭
ニ入レツツ考慮シテ居ル次第デア
リマス

○下條康慶君 皇室典範ノ制定ニ
付キマシテハ慎重ニ御考ヲ戴ケル
ヤウデアリマスルカラ、尙更ニ十
分御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、
シレカラ次ノ問題ハ、第六條ニ
「天皇は、國會の指名に基いて、
内閣總理大臣を任命する。」トア
リ、第二項ニ、衆議院ノ修正ニ依
リマシテ、「天皇は、内閣の指名に
基いて、最高裁判所の長たる裁判
官を任命する。」ト云フ一項ガ加ハ
ツタ譯デアリマス、是ハ金森サン
ノ御説明ニ依ルト、三權ノ一タル
司法權ノ地位高キコトヲ明カニス
ル爲ニ、最高裁判所ノ長タル裁判
官ノ任命ガ加ハツタト云フコトデ
アリマス、ソレデ私ハチヨット疑
問ニ思ヒマスルノハ、同ジ三權分
立ノ一デアアル所ノ國會ノ、衆議院
及參議院ノ議長、副議長ノ任命
モ、當該議院ノ選舉ニ基イテ天皇
ガ任命スルト云フコトガ茲ニアツ
テ宜シイノデハナイカ、サウスル
コトガ此ノ立法機關ノ地位高キコ
トヲ明カニスル所以デモアリ、又
象徵タル天皇ト立法權ノ繋ガリト

云フコトモ愈ミハツキリシテ來ル
ノデアリマシテ、實ハサウ云フ風
ニ願ヒタイト思フノデアリマスル
ガ、茲ニ裁判所ノ方ダケ規定サレ
マシテ、立法權ノ方ノ關係ハ除ケ
テ居ルヤウデスガ、是ハドウ云フ
御趣意デアリマスカ

○國務大臣(金森德次郎君) 衆議
院ト參議院ハ國民代表ノ合議ノ府
デアリマシテ、且又ソレガ此ノ憲
法ノ建前ニ於テハ最高機關ト云フ
コトニナツテ居リマス、ソレ等ノ
趣旨ヲ綜合致シマシテ、是等ハ大
體自治的ナ立場デアリテ自己ヲ組立
テルト云フ方針ヲ執ツテ居リマシ
テ、ソレノ役員等モ自ら定メル、
詰リ他カラ議長等ヲ任命サレナイ
デ、自ら選舉スルト云フ原理ヲ執
ツテ居リマス、斯ク致シマスルコ
トガ國會ノ地位ニ相應シキ行キ方
デハナカラウカト云フ見地ヲ執ツ
テ居リマシテ、現在ノ大權政治ノ
憲法ノ動キ方ト、改正案ニ於キマ
シテノ大權政治ニ依ラザル憲法ノ
動キ方トハ、其ノ點ニ於テ差異ヲ
生ズルコトハ已ムヲ得ザルモノト
考ヘテ居リマス

リマスルカラ、關係ノ法令ハ勅令
デ規定サレテ居リマスルガ、今後
ハ此ノ關係ハ、國民ニ主權ガア
リ、ソレカラ流れ出ル所ノ代表ノ
力ニ依ツテ決定サレルト云フコト
デアリマスカラ、榮典ニ關スル根
本法ト云フノハ、法律デ以テ決メ
ナケレバナラヌト云フヤウニ思フ
ノデアリマスガ、此ノ邊ハ如何ニ
御考ニナツテ居リマスルカ、ソレ
カラ榮典ノ範圍デアリマスルガ、
原案ノ第十三條ノ第三項ニ「榮
譽、勳章その他の榮典の授與は」
トアリマシテ、勳章ノアルコトダ
ケハハツキリシテ居リマスルケレ
ドモ、其ノ他ハドウ云フヤウナ構
想ニ依ツテ之ヲ含マシテ居リマス
ルカ、又モウ一點ハ、現在ノ榮典
ハ現ニ之ヲ有スル者ハ其ノ效力ヲ
有スルト云フ規定ガアリマスル
ガ、ソレハ一應廢セラレマスノカ、
繋ガリヲ以テ續ケラレルモノカ、
サウ云フ現在ノ榮典ト憲法トノ繋
ガリノ關係ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 榮典
ノ制度ニ付キマシテ、之ヲ法律ヲ
以テ規定スベキカ、或ハ法律以
外、例ヘバ政令ヲ以テ規定スベキ
カト云フコトニ付キマシテハ、政
府部内ニ於テモ議論トシテハ兩様
ノ見方ガアリマシテ、目下研究中
デアアル譯デアリマス、榮典ノ内容
トシテ如何ナルモノヲ設ケルカト
云フコトニ付キマシテモ併セテ研
究中デアリマシテ、其ノ基礎タル

規定ヲ何處ニ求メルカト云フコト
ト併セテ答ヲ致シタイト考ヘテ居
リマス、從來ノ既ニ付與セラレテ
居ル榮典ニ付キマシテハ、此ノ憲
法ガ變リマシテモ、其ノ榮典タル
效果ニ於テ變ル所ハナイモノト考
ヘテ居リマス

○下條康慶君 私人質問ヲ終リマ
ス
○子爵織田信恒君 ちヨット後二
三分アリマスガ、次ハ私ノ番デゴ
ザイマスカ
○委員長(安倍能成君) サウデス
○子爵織田信恒君 サウシタラ、
私ハ實ハ質問スルコトガナクナリ
マシタガ、チヨット二三分デ片附
ケテシマヒマス、私ハ皇室典範ニ
付テ御尋ネ致シタイト思ツテ居リ
マシタノデスガ、先刻來委員諸君
ノ御質問ヲ拜聽致シマシテ、私ノ
伺ヒマスコトハナクナリマシタカ
ラ止メヨウト思ヒマスガ、唯一點
マダ下ナタモ觸レテオイデニナラ
ナイ點、且私ガ多少疑問ニ思ツテ
居ル點ヲ一點ダケ簡單ニ伺ヒマ
ス、ソレハ今後皇族ノ範圍ガ非常
ニ狭クナラレルコトデアラウト思
ヒマス、自然婚姻問題ト云フモノ
ガ、矢張り優生學的ノ立場カラ見
テモ、皇族以外ノ國民カラ選バレ
ルト云フヤウナコトガ當然起ツテ
來ルノダラウト思ヒマスガ、其ノ
中デ取り分ケ皇后若クハ將來皇后
トナラレルヤウナ女性ヲ選バレル
ト云フヤウナコトハ、是ハ皇室典

範ノ中ニ入ルモノデアリマセウカ、ソレハ矢張り皇室若クハ皇族ノ私事トシテ、其ノ外ニアルノデゴザイマセウカ、此ノ事柄ハ、皇后ノ選定ト云フヤウオコトハ、性質カラ見マストナカ、重大ナモノデアリマシテ、日本ノ女性ハ矢張り日本ノ女性ノ象徴トシテ皇后ヲ仰ギマスシ、又將來ノ天皇ノ母トナラレル方デ、清ラカサ、溫カサト云フモノガ望マレル譯デアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトガ皇室典範ノ中ニ入リマスノデスカ、ソレトモ私事トシテ外ニ出ルモノデアリマスカ、チョットソレダケ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(金森德次郎君) 織田

委員カラノ御尋ノ點ハ、實ハ非常ニ重大ナル問題デゴザイマシテ、單リ今仰セニナリマシタ點バカリデナク、婚姻ニ依ツテ皇族ノ中ニオ加ハリニナル一切ノ立場ヲ併セテ考ヘナケレバナラナイト思ツテ居リマス、先ヅ平タク申シマスレバ、婚姻ハ個人ノ立場カラ言ヘバ、私事デアルト云フコトハ言ヘルト思ヒマス、從ツテ一般ノ民法的ナル規定ニ依ツテ規律シテ宜イト存ジテ居リマスガ、併シ此ノ特殊ノ場合ニ付テ考ヘテ見マスルト、皇族ノ範圍ト云フコトハ即チ皇位繼承ノ範圍デアリ、攝政就任ノ範圍デアリマシテ、非常ニ重大デアリマス、ツレニ對スル國ノ秩序トシテハ餘程能ク考ヘナケレバ

ナリマセヌ、現ニ問題トシテ居リマスル一端ヲ言ヘバ、例ヘバ嫡出子トカ庶子トカ云フヤウナコト迄モ公ノ關係ガアルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、サウスルト、婚姻ノ關係カラ皇族ノ中ニ於ケル特殊ノ地位ヲ保持チニナル場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ相當ニ注意周到ニ規定ヲ考ヘナケレバナラヌデヤナイカ、斯ウ云フ論ガ起リマシテ目下研究中デゴザイマス

○子爵織田信恒君 私ノ質問ハ是

デ終リマス

○委員長(安倍能成君) ソレデハ

今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 安倍 能成君
副委員長 伯爵橋本 實斐君
委員 公爵岩倉 具榮君
侯爵細川 護立君
侯爵中山 輔親君
侯爵淺野 長武君
三土 忠造君
子爵大河内輝耕君
大谷 正男君
男爵白根 松介君
子爵織田 信恒君
子爵三島 通陽君
子爵松平 親義君
山田 三良君
平塚 廣義君

國務大臣	牧野 英一君
內閣總理大臣	佐々木惣一君
兼外務大臣	松村眞一郎君
國務大臣	村上 恭一君
國務大臣	男爵飯田精太郎君
國務大臣	霜山 精一君
國務大臣	下條 康賢君
國務大臣	川村 竹治君
國務大臣	岩田 宙造君
國務大臣	高柳 賢三君
國務大臣	南原 繁君
國務大臣	男爵松田 正之君
國務大臣	男爵中御門經民君
國務大臣	男爵渡邊 修二君
國務大臣	男爵松平 齊光君
國務大臣	田所 美治君
國務大臣	野村 嘉六君
國務大臣	澤田 牛麿君
國務大臣	松本 學君
國務大臣	宮澤 俊義君
國務大臣	結城 安次君
國務大臣	瀧川 儀作君
國務大臣	小山 完吾君
國務大臣	長谷川萬次郎君
國務大臣	淺井 清君
國務大臣	渡邊 甚吉君
國務大臣	吉田 茂君
國務大臣	國務大臣男爵幣原喜重郎君
國務大臣	文部大臣 田中耕太郎君
國務大臣	齋藤 隆夫君
國務大臣	植原悦二郎君
國務大臣	金森德次郎君

政府委員
法制局長官 入江 俊郎君
法制局次長 佐藤 達夫君
外務事務官 大野 勝己君